

# メッセージ別項目一覧

(各メッセージ毎の階層構造、および項目の内容について)

基本形 Ver\_2.2

## 一覧の説明

(発注、出荷、出荷梱包(紐付けあり)、出荷梱包(紐付けなし)、受領、受領訂正、返品、請求、支払、返品受領、出荷荷姿、集計表作成データ(発注)、集計表作成データ(出荷)、集計表作成データ(出荷梱包紐付けあり)、集計表作成データ(受領)、値札、発注予定、納品提案、POS売上、在庫補充勧告、在庫予定、在庫確定、在庫報告、請求鑑、値引・値引依頼)

見出し	項目の意味や参照先など	備考
連番	各メッセージ(発注から支払いまで)中での、データ項目に対する連番	
メッセージ項目番号	メッセージ引継項目一覧のメッセージ項目番号対応する番号	
分類	データ項目の分類	
項目名1/2/3/4	データ項目。項目名1/2/3/4はデータ階層を示す。データ階層については、別冊の「運用ガイドライン」を参照。	
必須/任意	必須項目か任意項目かの区別	
タイプ	データ項目のタイプ	
XMLデータ型	Amount: 金額。少数でもよい。通貨単位をつけられる。 Code: 物事の性質等を短い文字列であらわすコード。 Date Time: 日付、時刻。記述方法はISO8601に準拠。Date、Timeそれぞれだけでもよい。 Identifier: 具体的な事物を一意に特定するための識別子(ID) Numeric: 単位の付かない数値。 Quantity: 金額以外の数量。少数でもよい。単位がつけられる(個、ダース、箱など)。 Text: 文字列(名前や説明文等)	
桁数	データ項目の桁数。例)8:8桁全部をセットする。MAX13:1から最大13桁までセット可能。	
引継項目	どのメッセージから引き継ぐ項目かを示す。	
項目の意味	データ項目の意味	
コードリスト	「○」は、コードリストが存在することを示す。コードリストの意味は、Ver1.0番号と対応しているコードリストを参照。	
現行入力しているデータ項目		項目一覧の下段参照

(1)発注メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコップを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコップを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを を入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なる会社コードが入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれで異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
			<直接納品先>											
24	27	登場人物：小売		直接納品先コード		任意*3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
25	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		任意*3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
26	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
27	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<最終納品先>											
28	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
29	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
30	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
31	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
			<計上部署>											
32	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
33	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定			
34	37	登場人物：小売		計上部署名称(カナ)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<陳列場所>											
35	38	登場人物：小売		陳列場所コード		任意*3	数字	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
36	39	登場人物：小売		陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
37	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
			<請求取引先>											
38	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード、仕入先コード		
39	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
40	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
41	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引先>											
42	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
43	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
44	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(1)発注メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 ＊2	コード リスト	商材 ＊4
45	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
46	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けられる場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
47	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けを必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
				< 物流関連指示 >										
48	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN		任意＊3	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入商業務を行う際に、この項目と、センター納品番番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
49	175	各種区分（物流）		納品経路		任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、O0:無指定、O1:店舗直納、O2:センター納品	○	
50	176	各種区分（物流）		便No		任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、O0:無指定、O1～O9:1～9便 等	○	
51	177	各種区分（物流）		通過在庫区分		任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品後、卸、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	O0:無指定、O1:TC、O2:預りDC、O3:買取DC	○	
52	178	各種区分（物流）		納品区分		任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	O0:無指定、O1:総量納品、O2:店別納品	○	
53	65	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		指定納品時刻		任意	数字	Time	6		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
				< 物流関連印字内容 >										
54	66	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		バーコード情報		任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類（大）、商品分類（中）		
55	67	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称1（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大）名称、商品分類（中）名称		
56	68	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称2（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大）名称、商品分類（中）名称		
57	69	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		最終納品先略称（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
58	233	コメント		ラベル自由使用欄（印字用）		任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門（売場）名称、発注区分名称、配送温度名称		
59	234	コメント		ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目（半角カナ）。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	個口数、ラベル発行日、部門（売場）コード、商品コード（発注先）、商品コード（取引先）、商品名、商品分類コード（小）、直接納品日、売出日、入荷許容日、賞味期限、製造日、入数、詰合、便No、出荷日、取引先連絡先（TEL）		
				< 取引内容 >										
60	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(O3:青果、O4:水産、O5:食肉 等)		
61	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
62	101	日付関連		発注日		必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
63	102	日付関連		直接納品先納品日		任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日		
64	103	日付関連		最終納品先納品日		必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店舗納品日、納品指定日		
65	106	日付関連		計上日		任意	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
66	107	日付関連		販促開始日		任意	数字	Date	8		小売店舗の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が種包（SCMラベル等）に表記して納品。	売出開始日、売出日		
67	108	日付関連		販促終了日		任意	数字	Date	8		小売店舗の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が種包（SCMラベル等）に表記して納品。			
68	110	日付関連		取引（発注・返品）データ有効日		任意	数字	Date	8		この取引（発注・返品）の有効年月日。この日までに卸／メーカー側から出荷がされ、小売側に納品がない場合は発注自体を無効となる。			
69	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2		定番(プロパ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（O1:定番、O2:準特価、O3:特売（チラシ））	○	
70	172	各種区分（発注）		発注区分		任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等）	○	
71	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分		任意	数字	Code	2		小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	O1:出荷データ作成要、O2:出荷データ作成不要	○	
72	333	各種区分 発注		取引番号区分		任意	数字	Code	2		取引タイプと発番基準を表す区分。		○	生鮮
73	181	各種区分（商品）		PB区分		任意	数字	Code	2		当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	O1:PB商品、O2:PB商品以外	○	
74	182	各種区分（商品）		配送温度区分		任意	数字	Code	2		温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	O1:常温、O2:チルド、O3:冷蔵、O4:冷凍、O5:超冷凍	○	
75	183	各種区分（商品）		酒区分		任意	数字	Code	2		当該発注商品が酒であるかどうか判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。		○	
76	336	各種区分（商品）		バック区分		任意	数字	Code	2		食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。O1：バック。		○	生鮮
77	334	各種区分（商品）		不定貴区分		任意	数字	Code	2		定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮
78	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分？、O1:発注仕入、O2:返品、O3:移動、O4:値引、O5:委託、NN:独自	○	
79	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	O1:伝票レス、O2:伝票あり	○	
80	201	税		税区分		任意＊3	数字	Code	2		消費税の区分 （込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	O0:無指定、O1:原価価内税、O2:原価外税売価内税、O3:非課税、O4:不課税	○	
81	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3		消費税率を表す。			
82	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
83	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
				< 取引合計 >										
84	133	金額		原価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ			
85	136	金額		売価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
86	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
87	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1 取引番号（発注）単位の151「発注数量(バラ)」の合計。	発注数量（バラ）の合計、(小数点以下2桁有り)		
88	158	数量		発注単位数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1 取引番号（発注）単位の153「発注数量(発注単位数)」の合計。	発注数量（発注単位数）の合計		
89	331	重量		重量合計		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX13		不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号（発注）単位の重量の合計。			生鮮
				< 取引明細 >										
90	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No、行番号、発注伝票行番号		
91	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
92	322	番号			元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10		取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号			生鮮
93	323	番号			元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号			生鮮
94	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	売場分類		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(1)発注メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	実行入力しているデータ項目 ＊2	コード リスト	商材 ＊4
95	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	品揃分類		
96	109	日付関連			配達予定日	任意	数字	Date	8		配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。	配達予定日		
97	111	日付関連			納品期限	任意	数字	Text	MAX8		31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許可日。製品の日付と比較して、入荷を許可する日付。	納品期限、入荷期限		
98	179	各種区分（物流）			センター納品詳細指示	任意	数字	Code	2		納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕分区分、O1:オリコン納品有り、O2:オリコン納品無し、O3:ソーター使用、O4:ソーター未使用、O5:その他	○	
					<商品>									
99	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。			
100	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は0をセットする		
101	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
102	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。			
103	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	005EAN(JAN)/UCC13桁、999自社コード 等	○	
104	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
105	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>									
106	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の販売商姿を表す。入数ではない。		
107	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
108	315	商品関連			入数	任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の商姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。 2007/10/5 型桁変更。			生鮮
109	302	商品関連			都道府県コード	任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
110	303	商品関連			国コード	任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
111	304	商品関連			産地名	任意	文字	Text	MAX20		産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			生鮮
112	305	商品関連			水域コード	任意	英数	Identifier	2		漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
113	306	商品関連			水域名	任意	文字	Text	MAX20		漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			生鮮
114	307	商品関連			原産エリア	任意	文字	Text	MAX30		国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名（「紀州産」、「カリフォルニア産」など）。水産物の場合は、漁獲した水域名（相模湾、西インド洋など）、水揚げ漁港（焼津港、鏡子港など）を表す。			生鮮
115	308	商品関連			等級	任意	文字	Text	MAX8		商品のグレードを表す（A、B、C、秀、優、良など）			生鮮
116	309	商品関連			階級	任意	文字	Text	MAX8		商品のサイズを表す（L、M、S、大、中、小など）			生鮮
117	310	商品関連			銘柄	任意	文字	Text	MAX30		産地銘柄を表す			生鮮
118	311	商品関連			商品P R	任意	文字	Text	MAX30		朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品P R、商品特性、おすすめ情報を表す。			生鮮
119	312	商品関連			パイオ区分	任意	数字	Code	2		商品栽培時のパイオ技術の適用、非適用を表す区分（遺伝子組み換え）		○	生鮮
120	316	商品関連			品種コード	任意	数字	Code	2		商品の品種を表すコード。		○	生鮮
121	317	商品関連			養殖区分	任意	数字	Code	2		養殖／天然を表す区分。		○	生鮮
122	318	商品関連			解凍区分	任意	数字	Code	2		解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
123	319	商品関連			商品状態区分	任意	数字	Code	2		商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
124	320	商品関連			形状・部位	任意	文字	Text	5		商品の形状や部位を表す区分（1次加工）。			生鮮
125	321	商品関連			用途	任意	文字	Text	MAX20		生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			生鮮
					<法定管理区分>									
126	337	各種区分（商品）			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2		当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<カラー>									
127	81	商品関連			カラーコード	任意＊3	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
128	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
129	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<サイズ>									
130	82	商品関連			サイズコード	任意＊3	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
131	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
132	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<原価>									
133	131	金額			原単価	必須	数字 （小数点以下 2桁有り）	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
134	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×151「発注数量（バラ）」）。小数以下のまゝるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）	定貴商品の場合は、原単価×発注数量（バラ）、不定貴商品の場合は、原単価×発注重量。		
					<売価>									
135	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売価0の場合は0をセットする		
136	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×151「発注数量（バラ）」）。	定貴商品の場合は、売単価×発注数量（バラ）、不定貴商品の場合は、売単価×発注重量。		
					<税額>									
137	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の132「原価金額」の消費税額。			
					<発注数量>									
138	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字 （小数点以下 1桁有り）	Quantity	MAX7		1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	発注単位×発注数量（発注単位数）		
139	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
140	153	数量			発注数量（発注単位数）	必須	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量（発注単位数）」＝151「発注数量（バラ）」	発注ケース数、発注単位数		
141	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	個、ケース、パック、g、Kg	○	○
142	155	数量			発注商姿コード	任意	数字	Code	2		納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その商姿を明示。バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品商姿の指定をすることはしない。	O1:バラ、O2:ボール、O3:ケース、O4:パレット、O5:バンドル	○	○
143	326	重量			発注重量	任意	数字 （小数点以下 3桁有り）	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			生鮮

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJICAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(1)発注メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
144	327	重量			取引単位重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		卸売市場等で取引される単位重量（5Kg、10kgなど）			生鮮
145	313	商品関連			単価登録単位	任意	数字	Code	2		不定貨の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
146	314	商品関連			商品重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8		商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			生鮮

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(2)出荷メッセージ

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XMLデータ型＊1	桁数	引継項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目＊2	コードリスト	商材＊4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>												
16	21	登場人物：小売	支払法人コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
			<発注者>												
18	23	登場人物：小売	発注者コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>												
22	121	番号		取引番号（発注・返品）			必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号			任意	数字	Identifier	MAX10	発注	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
24	324	番号		出荷者管理番号			任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号			生鮮
			<直接納品先>												
25	27	登場人物：小売		直接納品先コード			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
26	28	登場人物：小売		直接納品先GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
27	29	登場人物：小売		直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
28	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<最終納品先>												
29	31	登場人物：小売		最終納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
30	32	登場人物：小売		最終納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
31	33	登場人物：小売		最終納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
32	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
			<計上部署>												
33	35	登場人物：小売		計上部署コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
34	36	登場人物：小売		計上部署GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定			
35	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<陳列場所>												
36	38	登場人物：小売		陳列場所コード			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
37	39	登場人物：小売		陳列場所名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
38	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
			<請求取引先>												
39	51	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード、仕入先コード		
40	52	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
41	53	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
42	54	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引先>												
43	55	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
44	56	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
45	57	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(2)出荷メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 ＊2	コード リスト	商材 ＊4
46	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
47	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けられる場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
48	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けを必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
				<物流関連指示>											
49	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
50	64	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		入荷管理用メーカーコード			任意	数字	Identifier	MAX13	出荷	預りDCで使用するメーカーのプライベートコード			
51	125	番号		センター納品書番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。	送品書№		
52	175	各種区分（物流）		納品経路			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、O0:無指定、O1:店舗直納、O2:センター納品	○	
53	176	各種区分（物流）		便No			任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、O0:無指定、O1～O9:1～9便 等	○	
54	177	各種区分（物流）		通過在庫区分			任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品後、即、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	O0:無指定、O1:TC、O2:預りDC、O3:買取DC	○	
55	178	各種区分（物流）		納品区分			任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	O0:無指定、O1:総量納品、O2:店別納品	○	
56	65	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		指定納品時刻			任意	数字	Time	6	発注	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
57	198	各種区分（物流）		輸送手段			任意	数字	Code	2	出荷	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社便、路線便等）を指定する場合に使用する。	輸送手段	○	
				<物流関連印字内容>											
58	66	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		バーコード情報			任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類（大）、商品分類（中）		
59	67	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称1（印字用）			任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大）名称、商品分類（中）名称		
60	68	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称2（印字用）			任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大）名称、商品分類（中）名称		
61	69	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		最終納品先略称（印字用）			任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
62	233	コメント		ラベル自由使用欄（印字用）			任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門（売場）名称、発注区分名称、配送温度名称		
63	234	コメント		ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目（半角カナ）。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	個口数、ラベル発行日、部門（売場）コード、商品コード（発注先）、商品コード（取引先）、商品名、商品分類コード（小）、直接納品日、売出日、入荷許容日、賞味期限、製造日、入数、結合、便№、出荷日、取引先連絡先（TEL）		
				<取引内容>											
64	87	商品関連		商品分類（大）			必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(O3:青果、O4:水産、O5:食肉 等)		
65	88	商品関連		商品分類（中）			必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
66	101	日付関連		発注日			必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
67	102	日付関連		直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日		
68	103	日付関連		最終納品先納品日			必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店舗納品日、納品指定日		
69	104	日付関連		訂正後直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			
70	106	日付関連		計上日			任意	数字	Date	8	発注	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
71	107	日付関連		販促開始日			任意	数字	Date	8	発注	小売店舗の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。	売出開始日、売出日		
72	108	日付関連		販促終了日			任意	数字	Date	8	発注	小売店舗の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。			
73	171	各種区分（発注）		商品区分			任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパ)発注or特売(中目玉玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態(O1:定番、O2:準特価、O3:特売（チラシ）)	○	
74	172	各種区分（発注）		発注区分			任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分(O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等)	○	
75	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分			任意	数字	Code	2	発注	小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	O1:出荷データ作成要、O2:出荷データ作成不要	○	
76	333	各種区分（発注）		取引番号区分			任意	数字	Code	2	出荷	取引タイプと発番基準を表す区分。		○	生鮮
77	174	各種区分（発注）		EOS区分			任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	O1:EOS発注、O2:非EOS発注	○	
78	181	各種区分（商品）		PB区分			任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	O1:PB商品、O2:PB商品以外	○	
79	182	各種区分（商品）		配送温度区分			任意	数字	Code	2	発注	温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	O1:常温、O2:チルド、O3:冷蔵、O4:冷凍、O5:超冷凍	○	
80	183	各種区分（商品）		酒区分			任意	数字	Code	2	発注	当該発注商品が酒であるかどうかを判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。		○	
81	336	各種区分（商品）		バック区分			任意	数字	Code	2	発注	食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。O1：バック。		○	生鮮
82	334	各種区分（商品）		不定貴区分			任意	数字	Code	2	発注	定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮
83	184	各種区分（決済）		処理種別			任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分?、O1:発注仕入、O2:返品、O3:移動、O4:値引、O5:委託、NN:独自	○	
84	186	各種区分（決済）		伝票レス区分			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	O1:伝票レス、O2:伝票あり	○	
85	201	税		税区分			任意＊3	数字	Code	2	発注	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	O0:無指定、O1:原売価内税、O2:原価外税売価内税、O3:非課税、O4:不課税	○	
86	202	税		税率			任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Numeric	3	発注	消費税率を表す。			
87	231	コメント		自由使用欄			任意	文字	Text	MAX60	出荷	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
88	232	コメント		自由使用欄半角カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	出荷	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
				<取引合計>											
89	133	金額		原価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ			
90	136	金額		売価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
91	138	金額		税額合計金額			任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
92	157	数量		数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1取引番号（発注）単位の159「出荷数量(バラ)」の合計。	発注数量（バラ）の合計。(小数点以下2桁有り)		
93	158	数量		発注単位数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1取引番号（発注）単位の160「出荷数量(発注単位数)」の合計。	発注数量(発注単位数)の合計		
94	331	重量		重量合計			任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX13	再計算	不定貴商品の場合に使用する。1取引番号（発注）単位の重量の合計。			生鮮
				<取引明細>											
95	123	番号			取引明細番号（発注・返品）		必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No、行番号、発注伝票行番号		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(2)出荷メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 ※2	コード リスト	商材 ※4
96	124	番号			取引付属明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位に明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
97	322	番号			元取引番号		任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号			生鮮
98	323	番号			元取引明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号			生鮮
99	325	番号			出荷者管理明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号の明細番号			生鮮
100	89	商品関連			商品分類 (小)		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類		
101	90	商品関連			商品分類 (細)		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類		
102	109	日付関連			配達予定日		任意	数字	Date	8	発注	配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。	配達予定日		
103	111	日付関連			納品期限		任意	数字	Text	MAX8	発注	31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。	納品期限、入荷期限		
104	179	各種区分 (物流)			センター納品詳細指示		任意	数字	Code	2	発注	納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕立区分、O1オ리콘納品有り、O2オ리콘納品無し、O3ソーター使用、O4ソーター未使用、O5その他	○	
105	335	各種区分 (決済)			仮伝フラグ		任意	数字	Code	2	出荷	仮の単価を表す区分。正式単価は後日相手の確認を持って決定される。		○	生鮮
					<商品>										
106	71	商品関連			メーカーコード		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合 (リポート管理等) に使用。			
107	72	商品関連			商品コード (GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用 (前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は0をセットする		
108	73	商品関連			商品コード (発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
109	74	商品関連			商品コード (取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。			
110	301	商品関連			商品コード (出荷元)		任意	数字	Identifier	MAX14	出荷	ソースマーキングされた生産者コード			生鮮
111	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード (発注用)」のコード種を判断する際に使用。	O05EAN(JAN)/UCC13桁、999自社コード 等	○	
112	77	商品関連			商品名		任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード (発注用)」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
113	78	商品関連			商品名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注	73「商品コード (発注用)」に対する名称 (半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>										
114	79	商品関連			規格		任意	文字	Text	MAX25	発注	商品の規格 (内容量、重量 等) をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
115	80	商品関連			規格カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注	商品の規格 (内容量、重量 等) をあらわす (半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
116	315	商品関連			入数		任意	数字	Quantity	MAX4	発注	出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。			生鮮
117	302	商品関連			都道府県コード		任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
118	303	商品関連			国コード		任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
119	304	商品関連			産地名		任意	文字	Text	MAX20	出荷	産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			生鮮
120	305	商品関連			水域コード		任意	英数	Identifier	2	出荷	漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
121	306	商品関連			水域名		任意	文字	Text	MAX20	出荷	漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			生鮮
122	307	商品関連			原産エリア		任意	文字	Text	MAX30	出荷	国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名 (「紀州産」、「カリフォルニア産」など)。水産物の場合は、漁獲した水域名 (相模湾、西インド洋など)、水揚げ漁港 (焼津港、鏡子港など) を表す。			生鮮
123	308	商品関連			等級		任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のグレードを表す (A、B、C、秀、優、良など)			生鮮
124	309	商品関連			階級		任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のサイズを表す (L、M、S、大、中、小など)			生鮮
125	310	商品関連			銘柄		任意	文字	Text	MAX30	出荷	産地銘柄を表す			生鮮
126	311	商品関連			商品PR		任意	文字	Text	MAX30	出荷	朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品PR、商品特性、おすすめ情報を表す。			生鮮
127	312	商品関連			パイオ区分		任意	数字	Code	2	出荷	商品栽培時のパイオ技術の適用、非適用を表す区分 (遺伝子組み換え)		○	生鮮
128	316	商品関連			品種コード		任意	数字	Code	2	発注	商品の品種を表すコード。		○	生鮮
129	317	商品関連			養殖区分		任意	数字	Code	2	発注	養殖／天然を表す区分。		○	生鮮
130	318	商品関連			解凍区分		任意	数字	Code	2	発注	解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
131	319	商品関連			商品状態区分		任意	数字	Code	2	発注	商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
132	320	商品関連			形状・部位		任意	文字	Text	5	発注	商品の形状や部位を表す区分 (1次加工)。			生鮮
133	321	商品関連			用途		任意	文字	Text	MAX20	発注	生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			生鮮
					<法定管理区分>										
134	337	各種区分 (商品)			法定管理義務商材区分		任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<カラー>										
135	81	商品関連			カラーコード		任意※3	英数	Identifier	MAX10	発注	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
136	83	商品関連			カラー名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
137	84	商品関連			カラー名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称 (半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<サイズ>										
138	82	商品関連			サイズコード		任意※3	英数	Identifier	MAX10	発注	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
139	85	商品関連			サイズ名称		任意	文字	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
140	86	商品関連			サイズ名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称 (半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<原価>										
141	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	定貨商品の場合は、原価単価を表す。不定貨商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
142	132	金額			原価金額		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の原価金額 (131「原単価」×159「出荷数量(バラ)」)。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定 (四捨五入、切捨て、切上げ)	定貨商品の場合は、原単価×出荷数量 (バラ)、不定貨商品の場合は、原単価×出荷重量。		
					<売価>										
143	134	金額			売単価		任意	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。	定貨商品の場合は、売価単価を表す。不定貨商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売単価Oの場合は0をセットする		
144	135	金額			売価金額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の売価金額 (134「売単価」×159「出荷数量(バラ)」)。	定貨商品の場合は、売単価×出荷数量 (バラ)、不定貨商品の場合は、売単価×出荷重量。		
					<税額>										
145	137	金額			税額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。			
					<発注数量>										
146	151	数量			発注数量 (バラ)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号 (発注・返品) 単位での73「商品コード (発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	発注単位×発注数量 (発注単位数)		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(2)出荷メッセージ

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	引継項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目*2	コードリスト	商材*4
147	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
148	153	数量			発注数量（発注単位数）		必須	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
149	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	個、ケース、パック、g、Kg	○	
150	155	数量			発注荷姿コード		任意	数字	Code	2	発注	納品の実積包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず`個`になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	01:バラ、02:ボール、03:ケース、04:パレット、05:バンドル	○	
151	326	重量			発注重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10	発注	不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			生鮮
152	327	重量			取引単位重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10	発注	卸売市場等で取引される単位重量（5Kg、10kgなど）			生鮮
153	313	商品関連			単価登録単位		任意	数字	Code	2	発注	不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
154	314	商品関連			商品重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX8	発注	商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			生鮮
					<出荷数量>										
155	159	数量			出荷数量（バラ）		必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	発注単位×出荷数量（発注単位数）		
156	160	数量			出荷数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
157	328	重量			出荷重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10	出荷	不定貴商品の場合に使用する。出荷時の確定重量。			生鮮
					<欠品>										
158	165	数量			欠品数量(バラ数)		必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット	欠品数量		
159	166	数量			欠品数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット			
160	197	各種区分（発注）			欠品区分		任意	数字	Code	2	出荷	卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	欠品理由、欠品区分	○	
						<出荷荷姿情報>									
161	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16	出荷	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16.あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。	必須なので未使用の場合は`0`をセットする		
162	112	日付関連				賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。			
163	113	日付関連				製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。			
164	126	番号				製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			
165	156	数量				出荷荷姿コード	必須	数字	Code	2	出荷	実際の出荷荷姿。卸・メーカーがセット	00:無指定、01:バラ、02:ボール、03:ケース、04:パレット、05:バンドル	○	
166	161	数量				出荷数量（出荷荷姿数）	必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細（発注）単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット	納品合計数		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(3)出荷梱包(紐付けあり)メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、"CODE"、GLNの場合は" GLN"と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、"CODE"、GLNの場合は" GLN"と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に"MSG-"を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
16	51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。			取引先コード
17	52	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			
18	53	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名				任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	54	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			取引先名称
			<取引先>												
20	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。			取引先コード、メーカーコード
21	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
22	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
23	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			取引先名称
24	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	枝番				任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備
25	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	出荷先コード				任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			出荷先コード、フローア
26	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉	出荷場所GLN				任意＊3	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
27	218	梱包情報	担当者				任意	文字	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			
28	219	梱包情報	担当者カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）			担当者
29	220	梱包情報	連絡先(TEL)				任意	英数	Text	MAX12	出荷	218「担当者」の電話番号。			連絡先（TEL）
30	221	梱包情報	連絡先(FAX)				任意	英数	Text	MAX12	出荷	218「担当者」のFAX番号。			連絡先（FAX）
			<直接納品先>												
31	27	登場人物：小売	直接納品先コード				任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			物流センターコード、店舗コード、
32	28	登場人物：小売	直接納品先GLN				任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
33	29	登場人物：小売	直接納品先名称				任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			物流センター名称、店舗名称
			<物流関連指示>												
35	211	梱包情報	取引先出荷日				必須	数字	Date	8	出荷	卸／メーカーが商品を出荷した日。			取引先出荷日、ベンダー出荷年月日
36	102	日付関連	直接納品先納品日				任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。			センター納品日、店着荷指定日
37	104	日付関連	訂正後直接納品先納品日				任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			
38	125	番号	センター納品書番号				任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。			送品書№
39	213	梱包情報	出荷総梱包数				必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷（梱包）単位の総梱包数。			取引先出荷梱包数、ベンダー出荷総梱包数
40	176	各種区分（物流）	便No				任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。			便、便情報、便コード
41	65	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉	指定納品時刻				任意	数字	Time	6	発注	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。			納品時刻
42	198	各種区分（物流）	輸送手段				任意	数字	Code	2	出荷	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社便、路線便等）を指定する場合に使用する。			輸送手段
43			<発注者>												
44	23	登場人物：小売		発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。			社コード、法人コード、チェーンストアコード
45	24	登場人物：小売		発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
46	25	登場人物：小売		発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			法人名称
47	26	登場人物：小売		発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			社名称、法人名称、加盟企業名称
48				<最終納品先>											
49	31	登場人物：小売		最終納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。			物流センターコード、店舗コード
50	32	登場人物：小売		最終納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
51	33	登場人物：小売		最終納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
52	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。			物流センター名称、店舗名称
53	215	梱包情報		カゴテナNO			任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包NOがひもつくと上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。			
				<出荷梱包内容>											
54	216	梱包情報		親梱包NO			任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例）テーブルセットのテーブルと椅子 のような例			
55	217	梱包情報		梱包NO			必須	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包単位で付けられた№			梱包No.

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(3)出荷梱包(紐付けあり)メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
					<陳列場所>										
56	38	登場人物：小売			陳列場所コード		任意※3	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。 梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
57	39	登場人物：小売			陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
58	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
59	107	日付関連			販促開始日		任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促(セール)開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包(SCMラベル等)に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日		
					<物流関連印字内容>										
60	66	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			バーコード情報		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類(大)、商品分類(中)		
61	67	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			カテゴリ名称1(印字用)		任意	文字	Text	MAX5	発注	物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。	商品分類(大)名称、商品分類(中)名称		
62	68	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			カテゴリ名称2(印字用)		任意	文字	Text	MAX5	発注	物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。	商品分類(大)名称、商品分類(中)名称		
63	69	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			最終納品先略称(印字用)		任意	文字	Text	MAX5	発注	物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
64	233	コメント			ラベル自由使用欄(印字用)		任意	文字	Text	MAX60	発注	物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門(売場)名称、発注区分名称、配送温度名称		
65	234	コメント			ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	発注	物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目(半角カナ)。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	個口数、ラベル発行日、部門(売場)コード、商品コード(発注先)、商品コード(取引先)、商品名、商品分類コード(小)、直接納品日、売出日、入荷許可日、賞味期限、製造日、入数、詰合、便№、出荷日、取引先連絡先(TEL)		
					<取引明細>										
66	121	番号				取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
67	123	番号				取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
68	101	日付関連				発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
69	103	日付関連				最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>										
70	72	商品関連				商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		
71	73	商品関連				商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで商品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
72	74	商品関連				商品コード(取引先)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
73	75	商品関連				商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
74	87	商品関連				商品分類(大)	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		
75	88	商品関連				商品分類(中)	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
76	89	商品関連				商品分類(小)	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類№、品種(商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード(一括伝票)		
77	90	商品関連				商品分類(細)	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU(商品コードの一部)、クラス+サブクラスコード		
78	112	日付関連				賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。			
79	113	日付関連				製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。			
80	126	番号				製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			
					<区分>										
81	171	各種区分(発注)				商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目目注)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
82	172	各種区分(発注)				発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所(本部・店舗)や、発注の形態(客注など)を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分(Q1本部発注、Q2店舗発注、Q3センター発注、・・・等)	○	
83	174	各種区分(発注)				EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
84	184	各種区分(決済)				処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<法定管理区分>										
85	337	各種区分(商品)				法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<発注数量>										
86	151	数量				発注数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号(発注・返品)単位での73「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆる「バラ数」。	数量、発注数		
87	152	数量				発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
88	153	数量				発注数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
89	154	数量				発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個 等)	単位	○	
					<出荷数量>										
90	159	数量				出荷数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	出荷数量		
91	160	数量				出荷数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細(発注)単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
					<原価>										
92	131	金額				原単価	必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>										
93	134	金額				売単価	任意※3	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		
					<ITTF情報>										
94	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16	出荷	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
95	212	梱包情報				出荷ケース数	必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷(梱包)単位の出荷数。出荷(梱包)データ内のITFレコードにセットする。			
96	214	梱包情報				ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意	数字	Quantity	MAX4	出荷	この正梱内に商品コード(発注用)がいくつあるかということ。商品コード(発注用)がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			
					<陳列場所>										
97	38	登場人物：小売			陳列場所コード		任意※3	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。 梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
98	39	登場人物：小売			陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
99	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
100	107	日付関連			販促開始日		任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促(セール)開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包(SCMラベル等)に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日		
					<取引明細>										
101	121	番号				取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
102	123	番号				取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
103	101	日付関連				発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
104	103	日付関連				最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>										
105	72	商品関連				商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

2021年度 流通システム標準普及推進協議会

(3)出荷梱包(紐付けあり)メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
106	73	商品関連			商品コード (発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS (社内コード)		
107	74	商品関連			商品コード (取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
108	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード (発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
109	87	商品関連			商品分類 (大)		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPTNo、群番、グループコード、部門		
110	88	商品関連			商品分類 (中)		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
111	89	商品関連			商品分類 (小)		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類No、品種 (商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード (一括伝票)		
112	90	商品関連			商品分類 (細)		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU (商品コードの一部)、クラス+サブクラスコード		
113	112	日付関連			賞味期限日		任意	数字	Date	8	出荷	商品 (またはその外箱) に印字されている賞味期限。			
114	113	日付関連			製造日		任意	数字	Date	8	出荷	商品 (またはその外箱) に印字されている製造年月日。			
115	126	番号			製造番号		任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			
					<区分>										
116	171	各種区分 (発注)			商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
117	172	各種区分 (発注)			発注区分		任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所 (本部・店舗) や、発注の形態 (客注など) を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分 (O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等)	○	
118	174	各種区分 (発注)			EOS区分		任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
119	184	各種区分 (決済)			処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別 (仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<発注数量>										
120	151	数量			発注数量 (バラ)		必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1 取引明細番号 (発注・返品) 単位での73「商品コード (発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
121	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
122	153	数量			発注数量 (発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
123	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個 等)	単位	○	
					<出荷数量>										
124	159	数量			出荷数量 (バラ)		必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1 取引明細 (発注) 単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	出荷数量		
125	160	数量			出荷数量 (発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1 取引明細 (発注) 単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
					<原価>										
126	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下 2 桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>										
127	134	金額			売単価		任意*3	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		
				<欠品情報>											
128	165	数量			欠品数量 (バラ数)		必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1 取引明細 (発注) 単位の卸／メーカー側の欠品数 (納品不足数)。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット	欠品数量		
129	166	数量			欠品数量 (発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1 取引明細 (発注) 単位の卸／メーカー側の欠品数 (納品不足数)。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット			
130	197	各種区分 (決済)			欠品区分		任意	数字	Code	2	出荷	卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足 (欠品) が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	欠品理由、欠品区分	○	
					<取引明細>										
131	121	番号			取引番号 (発注・返品)		必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
132	123	番号			取引明細番号 (発注・返品)		必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号 (発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
133	101	日付関連			発注日		必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
134	103	日付関連			最終納品先納品日		必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>										
135	72	商品関連			商品コード (GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用 (前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード (1 4桁)		
136	73	商品関連			商品コード (発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS (社内コード)		
137	74	商品関連			商品コード (取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
138	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード (発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
139	87	商品関連			商品分類 (大)		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPTNo、群番、グループコード、部門		
140	88	商品関連			商品分類 (中)		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
141	89	商品関連			商品分類 (小)		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類No、品種 (商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード (一括伝票)		
142	90	商品関連			商品分類 (細)		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU (商品コードの一部)、クラス+サブクラスコード		
					<区分>										
143	171	各種区分 (発注)			商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
144	172	各種区分 (発注)			発注区分		任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所 (本部・店舗) や、発注の形態 (客注など) を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分 (O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等)	○	
145	174	各種区分 (発注)			EOS区分		任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
146	184	各種区分 (決済)			処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別 (仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<発注数量>										
147	151	数量			発注数量 (バラ)		必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1 取引明細番号 (発注・返品) 単位での73「商品コード (発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
148	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
149	153	数量			発注数量 (発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
150	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個 等)	単位	○	
					<原価>										
151	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下 2 桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>										
152	134	金額			売単価		任意*3	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(4)出荷梱包(紐付けなし)メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコップを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコップを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
16	51	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード		
17	52	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			
18	53	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	54	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	請求取引先名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
			<取引先>											
20	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
21	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
22	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
23	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
24	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備		
25	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉	出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けを必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	出荷先コード、フロアー		
26	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉	出荷場所GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
27	218	梱包情報	担当者			任意	文字	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			
28	219	梱包情報	担当者カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX10	出荷	出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）	担当者		
29	220	梱包情報	連絡先(TEL)			任意	英数	Text	MAX12	出荷	218「担当者」の電話番号。	連絡先（TEL）		
30	221	梱包情報	連絡先(FAX)			任意	英数	Text	MAX12	出荷	218「担当者」のFAX番号。	連絡先（FAX）		
			<直接納品先>											
31	27	登場人物：小売	直接納品先コード			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。	物流センターコード、店舗コード、		
32	28	登場人物：小売	直接納品先GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
33	29	登場人物：小売	直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<物流関連指示>											
35	211	梱包情報	取引先出荷日			必須	数字	Date	8	出荷	卸／メーカーが商品を出荷した日。	取引先出荷日、ベンダー出荷年月日		
36	102	日付関連	直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。	センター納品日、店番荷指定日		
37	104	日付関連	訂正後直接納品先納品日			任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			
38	125	番号	センター納品書番号			任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。	送品書№		
39	213	梱包情報	出荷総梱包数			必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷（梱包）単位の総梱包数。	取引先出荷総梱包数、ベンダー出荷総梱包数		
40	176	各種区分（物流）	便No			任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、便情報、便コード	○	
41	65	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉	指定納品時刻			任意	数字	Time	6	発注	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
42	198	各種区分（物流）	輸送手段			任意	数字	Code	2	出荷	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社便、路線便等）を指定する場合に使用する。	輸送手段	○	
			<発注者>											
43	23	登場人物：小売	発注者コード	発注者コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
44	24	登場人物：小売	発注者GLN	発注者GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
45	25	登場人物：小売	発注者名称	発注者名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
46	26	登場人物：小売	発注者名称カナ	発注者名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
			<最終納品先>											
47	31	登場人物：小売	最終納品先コード	最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	物流センターコード、店舗コード		
48	32	登場人物：小売	最終納品先GLN	最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
49	33	登場人物：小売	最終納品先名称	最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
50	34	登場人物：小売	最終納品先名称カナ	最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
51	215	梱包情報	カゴテナNO	カゴテナNO		任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包NOがひもつづく上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。			
			<出荷梱包内容>											
52	216	梱包情報			親梱包NO	任意	数字	Identifier	MAX36	出荷	1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例）テールセットのテーブルと椅子 のような例			
53	217	梱包情報			梱包NO	必須	数字	Identifier	MAX36	出荷	梱包単位に付けられた№	梱包No.		
					<疎列場所>									

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(4)出荷梱包(紐付けなし)メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
54	38	登場人物：小売			陳列場所コード	任意※3	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。 梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
55	39	登場人物：小売			陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
56	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
57	107	日付関連			販促開始日	任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促(セール)開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包(SCMラベル等)に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日		
					<物流関連印字内容>									
58	66	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			バーコード情報	任意	数字	Identifier	MAX13	発注	物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類(大)、商品分類(中)		
59	67	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			カテゴリ名称1(印字用)	任意	文字	Text	MAX5	発注	物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。	商品分類(大)名称、商品分類(中)名称		
60	68	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			カテゴリ名称2(印字用)	任意	文字	Text	MAX5	発注	物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。	商品分類(大)名称、商品分類(中)名称		
61	69	登場人物：卸／メーカー <物流関連>			最終納品先略称(印字用)	任意	文字	Text	MAX5	発注	物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
62	233	コメント			ラベル自由使用欄(印字用)	任意	文字	Text	MAX60	発注	物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門(売場)名称、発注区分名称、配送温度名称		
63	234	コメント			ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	発注	物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目(半角カナ)。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	個口数、ラベル発行日、部門(売場)コード、商品コード(発注先)、商品コード(取引先)、商品名、商品分類コード(小)、直接納品日、売出日、入荷許容日、賞味期限、製造日、入数、詰合、便№、出荷日、取引先連絡先(TEL)		
				<取引明細>										
64	121	番号			取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
65	123	番号			取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
66	101	日付関連			発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
67	103	日付関連			最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>									
68	72	商品関連			商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		
69	73	商品関連			商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
70	74	商品関連			商品コード(取引先)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。AP/パレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
71	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。		O	
72	87	商品関連			商品分類(大)	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		
73	88	商品関連			商品分類(中)	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
74	89	商品関連			商品分類(小)	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類№、品種(商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード(一括伝票)		
75	90	商品関連			商品分類(細)	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU(商品コードの一部)、クラス+サブクラスコード		
76	112	日付関連			賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。			
77	113	日付関連			製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。			
78	126	番号			製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			
					<区分>									
79	171	各種区分(発注)			商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	O	
80	172	各種区分(発注)			発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所(本部・店舗)や、発注の形態(客注など)を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分(O1本部発注、O2店舗発注、O3センター発注、・・・等)	O	
81	174	各種区分(発注)			EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		O	
82	184	各種区分(決済)			処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸問でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	O	
					<法定管理区分>									
83	337	各種区分(商品)			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		O	
					<発注数量>									
84	151	数量			発注数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号(発注・返品)単位での73「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
85	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
86	153	数量			発注数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
87	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個 等)		O	
					<出荷数量>									
88	159	数量			出荷数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	出荷数量		
89	160	数量			出荷数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1取引明細(発注)単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
					<原価>									
90	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>									
91	134	金額			売単価	任意※3	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		
				<ITF情報>										
92	76	商品関連			ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16	出荷	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
93	212	梱包情報			出荷ケース数	必須	数字	Quantity	MAX6	出荷	出荷(梱包)単位の出荷数。出荷(梱包)データ内のITFレコードにセットする。			
94	214	梱包情報			ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意	数字	Quantity	MAX4	出荷	この正棚内に商品コード(発注用)がいくつあるかということ。商品コード(発注用)がポールであればケース内ポール数、バラであればケース内バラ数。			
					<陳列場所>									
95	38	登場人物：小売			陳列場所コード	任意※3	英数	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。 梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
96	39	登場人物：小売			陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
97	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
98	107	日付関連			販促開始日	任意	数字	Date	8	発注	小売店頭の販促(セール)開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包(SCMラベル等)に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日		
					<取引明細>									
99	121	番号			取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
100	123	番号			取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
101	101	日付関連			発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
102	103	日付関連			最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>									
103	72	商品関連			商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		
104	73	商品関連			商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(4)出荷梱包(紐付けなし)メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
105	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
106	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		○	
107	87	商品関連			商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	DPT№、群番、グループコード、部門		
108	88	商品関連			商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
109	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）		
110	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サプクラスコード		
111	112	日付関連			賞味期限日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限。			
112	113	日付関連			製造日	任意	数字	Date	8	出荷	商品（またはその外箱）に印字されている製造年月日。			
113	126	番号			製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16	出荷	製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			
					<区分>									
114	171	各種区分（発注）			商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
115	172	各種区分（発注）			発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等）	○	
116	174	各種区分（発注）			EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
117	184	各種区分（決済）			処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<発注数量>									
118	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1 取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
119	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
120	153	数量			発注数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
121	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	単位	○	
					<出荷数量>									
122	159	数量			出荷数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1 取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	出荷数量		
123	160	数量			出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1 取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
					<原価>									
124	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2 桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>									
125	134	金額			売単価	任意＊3	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		
				<欠品情報>										
126	165	数量			欠品数量（バラ数）	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1 取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。バラ数量換算。出荷時に卸／メーカー側がセット	欠品数量		
127	166	数量			欠品数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1 取引明細（発注）単位の卸／メーカー側の欠品数（納品不足数）。発注単位換算。出荷時に卸／メーカー側がセット			
128	197	各種区分（決済）			欠品区分	任意	数字	Code	2	出荷	卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	欠品理由、欠品区分	○	
					<取引明細>									
129	121	番号			取引番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
130	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
131	101	日付関連			発注日	必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
132	103	日付関連			最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>									
133	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード（14桁）		
134	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS（社内コード）		
135	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
136	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		○	
137	87	商品関連			商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	DPT№、群番、グループコード、部門		
138	88	商品関連			商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
139	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）		
140	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サプクラスコード		
					<区分>									
141	171	各種区分（発注）			商品区分	任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
142	172	各種区分（発注）			発注区分	任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等）	○	
143	174	各種区分（発注）			EOS区分	任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
144	184	各種区分（決済）			処理種別	任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<発注数量>									
145	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	発注	1 取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
146	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
147	153	数量			発注数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
148	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	単位	○	
					<原価>									
149	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2 桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>									
150	134	金額			売単価	任意＊3	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(5) 受領メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	実行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを を入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		実行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		実行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		実行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10	発注	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
24	324	番号		出荷者管理番号		任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号			生鮮
			<直接納品先>											
25	27	登場人物：小売		直接納品先コード		任意*3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
26	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		任意*3	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
27	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
28	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<最終納品先>											
29	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
30	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
31	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
32	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
			<計上部署>											
33	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
34	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定			
35	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<陳列場所>											
36	38	登場人物：小売		陳列場所コード		任意*3	数字	Identifier	MAX13	発注	売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
37	39	登場人物：小売		陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
38	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
			<請求取引先>											
39	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード、仕入先コード		
40	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。 GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
41	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
42	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引先>											
43	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
44	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
45	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(5)受領メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	実行入力しているデータ項目 ※2	コード リスト	商材 ※4
46	58	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
47	59	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
48	60	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
				<物流関連指示>										
49	63	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN		任意※3	数字	Identifier	MAX13	出荷	取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
50	64	登場人物：卸／メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		入荷管理用メーカーコード		任意	数字	Identifier	MAX13	出荷	預りDCで使用するメーカーのプライベートコード			
51	125	番号		センター納品書番号		任意	数字	Identifier	MAX10	出荷	卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。	送品書№		
52	175	各種区分（物流）		納品経路		任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、00:無指定、01:店舗直納、02:センター納品	○	
53	176	各種区分（物流）		便No		任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、00:無指定、01～09:1～9便 等	○	
54	177	各種区分（物流）		通過在庫区分		任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品後、即、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	00:無指定、01:TC、02:預りDC、03:買取DC	○	
55	178	各種区分（物流）		納品区分		任意	数字	Code	2	発注	卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	00:無指定、01:総量納品、02:店別納品	○	
56	65	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		指定納品時刻		任意	数字	Time	6	発注	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
				<物流関連印字内容>										
57	66	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		バーコード情報		任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類（大）、商品分類（中）		
58	67	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称1（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大） 名称、商品分類（中） 名称		
59	68	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称2（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大） 名称、商品分類（中） 名称		
60	69	登場人物：卸／メーカー 〈物流関連〉		最終納品先略称（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
61	233	コメント		ラベル自由使用欄（印字用）		任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門（売場）名称、発注区分名称、配送温度名称		
62	234	コメント		ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目（半角カナ）。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	店口数、ラベル発行日、部門（売場）コード、商品コード（発注先）、商品コード（取引先）、商品名、商品分類コード（小）、直接納品日、売出し日、入荷許容日、賞味期限、製造日、入数、詰合、便№、出荷日、取引先連絡先（TEL）		
				<取引内容>										
63	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(03:青果、04:水産、05:食肉 等)		
64	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
65	101	日付関連		発注日		必須	数字	Date	8	発注	小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
66	102	日付関連		直接納品先納品日		任意	数字	Date	8	発注	27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日		
67	103	日付関連		最終納品先納品日		必須	数字	Date	8	発注	31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店舗納品日、納品指定日		
68	104	日付関連		訂正後直接納品先納品日		任意	数字	Date	8	出荷	卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			
69	105	日付関連		訂正後最終納品先納品日		任意	数字	Date	8	受領	卸／メーカー側が、出荷データ上で27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正した場合、その訂正に伴って発生する31「最終納品先コード」32「最終納品先GLN」への納品日訂正を小売側が受領データ上でセット。			
70	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8	受領	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
71	107	日付関連		販促開始日		任意	数字	Date	8	発注	小売店舗の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。	売出開始日、売出し日		
72	108	日付関連		販促終了日		任意	数字	Date	8	発注	小売店舗の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包（SCMラベル等）に表記して納品。			
73	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパ)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（01:定番、02:準特価、03:特売（チラシ））	○	
74	172	各種区分（発注）		発注区分		任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（01:本部発注、02:店舗発注、03:センター発注、・・・等）	○	
75	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分		任意	数字	Code	2	発注	小売側が、卸／メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	01:出荷データ作成要、02:出荷データ作成不要	○	
76	333	各種区分（発注）		取引番号区分		任意	数字	Code	2	受領	取引タイプと発番基準を表す区分。		○	生鮮
77	174	各種区分（発注）		EOS区分		任意	数字	Code	2	出荷	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	01:EOS発注、02:非EOS発注	○	
78	181	各種区分（商品）		PB区分		任意	数字	Code	2	発注	当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	01:PB商品、02:PB商品以外	○	
79	182	各種区分（商品）		配送温度区分		任意	数字	Code	2	発注	温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	01:常温、02:チルド、03:冷蔵、04:冷凍、05:超冷凍	○	
80	183	各種区分（商品）		酒区分		任意	数字	Code	2	発注	当該発注商品が酒であるかどうかを判別する区分。卸／メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。		○	
81	336	各種区分（商品）		バック区分		任意	数字	Code	2	発注	食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮
82	334	各種区分（商品）		不定貴区分		任意	数字	Code	2	発注	定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮
83	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分？、01:発注仕入、02:返品、03:移動、04:値引、05:委託、NN:独自	○	
84	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	01:伝票レス、02:伝票あり	○	
85	201	税		税区分		任意※3	数字	Code	2	発注	消費税の区分 （込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	00:無指定、01:原価内税、02:原価外税売価内税、03:非課税、04:不課税	○	
86	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3	発注	消費税率を表す。			
87	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60	受領	伝票に表記する配達番号、配達日、売出し日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
88	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	受領	伝票に表記する配達番号、配達日、売出し日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
				<取引合計>										
89	133	金額		原価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ。伝票レス対応のため、確定した数値を入力する。			
90	136	金額		売価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ。			
91	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
92	157	数量		数量合計		必須	数字	Quantity	MAX6	再計算	1 取引番号（発注）単位の162「受領数量（バラ）」の合計。	発注数量（バラ）の合計、(小数点以下2桁有り)		
93	158	数量		発注単位数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1 取引番号（発注）単位の163「受領数量（発注単位数）」の合計。	発注数量（発注単位数）の合計		
94	331	重量		重量合計		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX13	再計算	不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号（発注）単位の重量の合計。			生鮮
				<取引明細>										

\*1:XMLデータ型に関するゼット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がゼットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

2021年度 流通システム標準普及推進協議会

(5)受領メッセージ

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	引継項目	項目の意味	実行入力しているデータ項目*2	コードリスト	商材*4
95	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No.、行番号、発注伝票行番号		
96	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
97	322	番号			元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号			生鮮
98	323	番号			元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号			生鮮
99	325	番号			出荷者管理明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号の明細番号			生鮮
100	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類		
101	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類		
102	109	日付関連			配達予定日	任意	数字	Date	8	発注	配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。	配達予定日		
103	111	日付関連			納品期限	任意	数字	Text	MAX8	発注	31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許容日。製品の日付と比較して、入荷を許容する日付。	納品期限、入荷期限		
104	179	各種区分（物流）			センター納品詳細指示	任意	数字	Code	2	発注	納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕立区分、O1:オリコン納品有り、O2:オリコン納品無し、O3:ソーター使用、O4:ソーター未使用、O5:その他	○	
					<商品>									
105	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。			
106	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は0をセットする		
107	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
108	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカーが指定する商品コードを入力する。			
109	301	商品関連			商品コード（出荷元）	任意	数字	Identifier	MAX14	出荷	ソースマーキングされた生産者コード			生鮮
110	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	O05EAN(JAN)/UCC13桁、999自社コード 等	○	
111	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
112	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>									
113	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
114	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
115	315	商品関連			入数	任意	数字	Quantity	MAX4	発注	出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。			生鮮
116	302	商品関連			都道府県コード	任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
117	303	商品関連			国コード	任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
118	304	商品関連			産地名	任意	文字	Text	MAX20	出荷	産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			生鮮
119	305	商品関連			水域コード	任意	英数	Identifier	2	出荷	漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
120	306	商品関連			水域名	任意	文字	Text	MAX20	出荷	漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			生鮮
121	307	商品関連			原産エリア	任意	文字	Text	MAX30	出荷	国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名（「紀州産」、「カリフォルニア産」など）。水産物の場合は、漁獲した水域名（相模湾、西インド洋など）、水揚げ漁港（焼津港、鏡子港など）を表す。			生鮮
122	308	商品関連			等級	任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のグレードを表す（A、B、C、秀、優、良など）			生鮮
123	309	商品関連			階級	任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のサイズを表す（L、M、S、大、中、小など）			生鮮
124	310	商品関連			銘柄	任意	文字	Text	MAX30	出荷	産地銘柄を表す			生鮮
125	311	商品関連			商品P R	任意	文字	Text	MAX30	出荷	朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品P R、商品特性、おすすめ情報を表す。			生鮮
126	312	商品関連			バイオ区分	任意	数字	Code	2	出荷	商品栽培時のバイオ技術の適用、非適用を表す区分（遺伝子組み換え）		○	生鮮
127	316	商品関連			品種コード	任意	数字	Code	2	発注	商品の品種を表すコード。		○	生鮮
128	317	商品関連			養殖区分	任意	数字	Code	2	発注	養殖／天然を表す区分。		○	生鮮
129	318	商品関連			解凍区分	任意	数字	Code	2	発注	解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
130	319	商品関連			商品状態区分	任意	文字	Code	2	発注	商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
131	320	商品関連			形状・部位	任意	数字	Text	5	発注	商品の形状や部位を表す区分（1次加工）。			生鮮
132	321	商品関連			用途	任意	文字	Text	MAX20	発注	生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			生鮮
					<法定管理区分>									
133	337	各種区分（商品）			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	出荷	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<カラー>									
134	81	商品関連			カラーコード	任意*3	英数	Identifier	MAX10	発注	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
135	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
136	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<サイズ>									
137	82	商品関連			サイズコード	任意*3	英数	Identifier	MAX10	発注	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
138	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
139	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<原価>									
140	131	金額			原単価	必須	数字 （小数点以下2桁有り）	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
141	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×162「受領数量（バラ）」）。小数以下のまめめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）	定貴商品の場合は、原単価×受領数量（バラ）、不定貴商品の場合は、原単価×受領重量。		
					<売価>									
142	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売価単価の場合は0をセットする		
143	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×162「受領数量（バラ）」）。	定貴商品の場合は、売単価×受領数量（バラ）、不定貴商品の場合は、売単価×受領重量。		
					<税額>									
144	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。			
					<発注数量>									
145	151	数量			発注数量（バラ）	必須	数字 （小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7	発注	1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	発注単位×発注数量（発注単位数）		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(5)受領メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
146	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	発注	発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
147	153	数量			発注数量（発注単位数）	必須	数字	Quantity	MAX6	発注	発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
148	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2	発注	発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	個、ケース、パック、g、Kg	○	
149	155	数量			発注荷姿コード	任意	数字	Code	2	発注	納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース（この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず' 個' になる） この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	01:バラ、02:ボール、03:ケース、04:パレット、05:バンドル	○	
150	326	重量			発注重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10	発注	不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			生鮮
151	327	重量			取引単位重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10	発注	卸売市場等で取引される単位重量（5Kg、1 0kgなど）			生鮮
152	313	商品関連			単価登録単位	任意	数字	Code	2	発注	不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100 g 当たり、1Kg 当たりなど。		○	生鮮
153	314	商品関連			商品重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8	発注	商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1 個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			生鮮
					<出荷数量>									
154	159	数量			出荷数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	出荷	1 取引明細（発注）単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	発注単位×出荷数量（発注単位数）		
155	160	数量			出荷数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	出荷	1 取引明細（発注）単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
156	328	重量			出荷重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10	出荷	不定貴商品の場合に使用する。出荷時の確定重量。			生鮮
					<受領数量>									
157	162	数量			受領数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7	受領	1 取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。バラ数量換算。（卸／メーカー側がセットした159「出荷数量（バラ）」との差異の有無にかかわらずセット）	発注単位×受領数量（発注単位数）		
158	163	数量			受領数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6	受領	1 取引明細（発注）単位の小売側の商品受領数。発注単位換算。（卸／メーカー側がセットしたの160「出荷数量（発注単位数）」との差異の有無にかかわらずセット）			
159	329	重量			受領重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10	受領	不定貴商品の場合に使用する。受領時の確定重量。			生鮮
160	188	各種区分（決済）			訂正区分	任意	数字	Code	2	受領	小売での検収時に出荷データと実納品との間に差が発生した場合、小売側が受領データにセットする差異理由。	00:訂正なし、01:商品違い、06:鮮度基準外、07:数量不足、08:数量過多、09:その他 等	○	

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(6)受領訂正メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10	発注	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
24	324	番号		出荷者管理番号		任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号			生鮮
			<直接納品先>											
25	27	登場人物：小売		直接納品先コード		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
26	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
27	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
28	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<最終納品先>											
29	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
30	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
31	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
32	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
			<計上部署>											
33	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	センターコード、店舗コード		
34	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
35	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<請求取引先>											
36	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード、仕入先コード		
37	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
38	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
39	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引先>											
40	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
41	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
42	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
43	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
44	59	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(6)受領訂正メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 ※2	コード リスト	商材 ※4
45	60	登場人物：卸／メーカー ＜ブレイク集計調整関連＞		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
				<取引内容>										
46	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(03:青果、04:水産、05:食肉 等)		
47	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕区分類		
48	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8	受領	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で償権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
49	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（01:定番、02:準特価、03:特売（チラシ））	○	
50	336	各種区分（商品）		バック区分		任意	数字	Code	2	発注	食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮
51	334	各種区分（商品）		不定貴区分		任意	数字	Code	2	発注	定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮
52	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分？、01:発注仕入、02:返品、03:移動、04:値引、05:委託、NN:独自	○	
53	185	各種区分（決済）		配送料免除区分		任意	数字	Code	2	返品	返品配送料を卸／メーカー（返品先）に負担していただくかどうかを表す。	01:負担有、02:負担無	○	
54	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	01:伝票レス、02:伝票あり	○	
55	201	税		税区分		任意	数字	Code	2	発注	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	00:無指定、01:原価内税、02:原価外税売価内税、03:非課税、04:不課税	○	
56	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3	発注	消費税率を表す。			
57	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出し日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
58	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出し日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
				<取引合計>										
59	133	金額		原価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ。伝票レス対応のため、確定した数値を入力する。			
60	136	金額		売価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ。			
61	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
62	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1 取引番号（発注）単位の167「訂正数量(バラ)」の合計。			
63	331	重量		重量合計		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX13	再計算	不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号（発注）単位の重量の合計。			生鮮
				<取引明細>										
64	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No、行番号、発注伝票行番号		
65	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
66	322	番号			元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号			生鮮
67	323	番号			元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号			生鮮
68	325	番号			出荷者管理明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号の明細番号			生鮮
69	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類		
70	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類		
71	187	各種区分（決済）			返品理由コード	必須	数字	Code	3	返品	返品理由	001:注文外商品、002:伝票記入ミス、004:品質不良品、016:納品訂正、017:商品不良、018:汚破損 等	○	
				<商品>										
72	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。			
73	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は'0'をセットする		
74	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
75	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。			
76	301	商品関連			商品コード（出荷元）	任意	数字	Identifier	MAX14	出荷	ソースマーキングされた生産者コード			生鮮
77	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	005EAN/JAN/UCC13桁、999:自社コード 等	○	
78	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
79	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
				<商品規格>										
80	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
81	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
82	315	商品関連			入数	任意	数字	Quantity	MAX4	発注	出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型番変更。			生鮮
83	302	商品関連			都道府県コード	任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
84	303	商品関連			国コード	任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
85	304	商品関連			産地名	任意	文字	Text	MAX20	出荷	産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			生鮮
86	305	商品関連			水域コード	任意	英数	Identifier	2	出荷	漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
87	306	商品関連			水域名	任意	文字	Text	MAX20	出荷	漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			生鮮
88	307	商品関連			原産エリア	任意	文字	Text	MAX30	出荷	国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名（「紀州産」、「カリフォルニア産」など）。水産物の場合は、漁獲した水域名（相模湾、西インド洋など）、水揚げ漁港（焼津港、鏡子港など）を表す。			生鮮
89	308	商品関連			等級	任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のグレードを表す（A、B、C、秀、優、良など）			生鮮
90	309	商品関連			階級	任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のサイズを表す（L、M、S、大、中、小など）			生鮮
91	310	商品関連			銘柄	任意	文字	Text	MAX30	出荷	産地銘柄を表す			生鮮
92	311	商品関連			商品PR	任意	文字	Text	MAX30	出荷	朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品PR、商品特性、おすすめ情報を表す。			生鮮
93	312	商品関連			パイオ区分	任意	数字	Code	2	出荷	商品栽培時のパイオ技術の適用、非適用を表す区分（遺伝子組み換え）		○	生鮮
94	316	商品関連			品種コード	任意	数字	Code	2	発注	商品の品種を表すコード。		○	生鮮
95	317	商品関連			養殖区分	任意	数字	Code	2	発注	養殖／天然を表す区分。		○	生鮮
96	318	商品関連			解凍区分	任意	数字	Code	2	発注	解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
97	319	商品関連			商品状態区分	任意	数字	Code	2	発注	商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮

※1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

※2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

※3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

※4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(6)受領訂正メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
98	320	商品関連			形状・部位	任意	文字	Text	5	発注	商品の形状や部位を表す区分（1次加工）。			生鮮
99	321	商品関連			用途	任意	文字	Text	MAX20	発注	生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			生鮮
					<法定管理区分>									
100	337	各種区分（商品）			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	出荷	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<カラー>									
101	81	商品関連			カラーコード	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
102	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
103	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<サイズ>									
104	82	商品関連			サイズコード	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
105	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
106	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<原価>									
107	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
108	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×167「訂正数量(バラ)」）。小数以下のまゝめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）	定貴商品の場合は、原単価×返品数量（バラ）、不定貴商品の場合は、原単価×返品重量。		
					<売価>									
109	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売価 価Oの場合は〇をセットする		
110	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×167「訂正数量(バラ)」）。	定貴商品の場合は、売単価×返品数量（バラ）、不定貴商品の場合は、売単価×返品重量。		
					<税額>									
111	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。			
					<訂正数量>									
112	167	数量			訂正数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7					
113	313	商品関連			単価登録単位	任意	数字	Code	2	発注	不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
114	314	商品関連			商品重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8	発注	商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			生鮮
115	332	重量			訂正重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。訂正時の確定重量			生鮮

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(7)返品メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを を入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。 。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。 。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。 。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側 がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが 入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に 複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用し ない場合は「O」固定。			
			<返品者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社 内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10	発注	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10	発注	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、 外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
24	324	番号		出荷者管理番号		任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号			生鮮
			<返品取引取り場所>											
25	27	登場人物：小売		直接納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
26	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを 使用しない場合は「O」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
27	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
28	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<返品出荷先>											
29	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／ メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
30	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使 用しない場合は「O」固定			
31	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
32	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
			<計上部署>											
33	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自 コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
34	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す GLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固 定			
35	37	登場人物：小売		計上部署名称(カナ)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<請求取引先>											
36	51	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指 定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先コード」と同じ値 をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことが ある場合、それらの請求支払いを1 つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード、仕入先コード		
37	52	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指 定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセッ トするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場 合、それらの請求支払いを1 つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
38	53	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
39	54	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用 する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引先>											
40	55	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
41	56	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。 GLNを使用しない場合は「O」固定	必須なのでGLN未取得の場合は'0'をセットする		
42	57	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
43	58	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		取引先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
44	59	登場人物：卸／メーカー 《ブレイク集計調整関連》		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとし て使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
45	60	登場人物：卸／メーカー 《ブレイク集計調整関連》		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合 に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(7)返品メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 ＊2	コード リスト	商材 ＊4
				<物流関連指示>										
46	180	各種区分（物流）		商品移動区分		必須	数字	Code	2	返品	返品において、該当の商品が返却されるか、返却がされないかを表す。（返却されない・・・汚破損等により商品を小売が廃棄処分する場合等）	O1:商品移動有り、O2:商品移動無し	○	
				<取引内容>										
47	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(O3:青果、O4:水産、O5:食肉 等)		
48	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
49	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8	受領	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
50	117	日付関連		照合基準日		任意	数字	Date	8		卸・メーカー側で、小売企業から受け取った返品データと、返品対象となった商品を照合するためのキーとなる日付け情報。照合する日付けの意味は、次の118「照合基準日区分」のコードリストの中から相対間で選択し、決定する。			
51	118	日付関連		照合基準日区分		任意 (条件付)	数字	Code	2		返品の照合作業を、店舗あるいはセンターで行うか、どのようなイベント（仕分の処理、出荷、引取）で行うかによって、117「照合基準日」を識別するための区分。		○	
52	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロバー)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（O1:定番、O2:準特価、O3:特売（チラシ））	○	
53	336	各種区分（商品）		バック区分		任意	数字	Code	2	発注	食肉の加工センター等が発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮
54	334	各種区分（商品）		不定貴区分		任意	数字	Code	2	発注	定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮
55	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分？、O1:発注仕入、O2:返品、O3:移動、O4:値引、O5:委託、NN:独自	○	
56	185	各種区分（決済）		配送料免除区分		任意	数字	Code	2	返品	返品配送料を卸／メーカー（返品先）に負担していただくかどうかを表す。	O1:負担有、O2:負担無	○	
57	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	O1:伝票レス、O2:伝票あり	○	
58	201	税		税区分		任意＊3	数字	Code	2	発注	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	00:無指定、O1:原価内税、O2:原価外税売価内税、O3:非課税、O4:不課税	○	
59	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3	発注	消費税率を表す。			
60	217	梱包情報		梱包NO		任意	数字	Identifier	MAX36	返品	梱包単位に付けられた№			
61	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60	返品	伝票に表記する配達番号、配達日、売出し日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
62	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	返品	伝票に表記する配達番号、配達日、売出し日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
				<取引合計>										
63	133	金額		原価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ。伝票レス対応のため、確定した数値を入力する。			
64	136	金額		売価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
65	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
66	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6	再計算	1 取引番号（発注）単位の164「返品数量(バウ)」の合計。			
67	331	重量		重量合計		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX13	再計算	不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号（発注）単位の重量の合計。			生鮮
				<取引明細>										
68	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	発注	121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No.、行番号、発注伝票行番号		
69	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
70	322	番号			元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号			生鮮
71	323	番号			元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号			生鮮
72	325	番号			出荷者管理明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	出荷	発注に対し、出荷者側で管理する番号の明細番号			生鮮
73	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類		
74	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類		
75	187	各種区分（決済）			返品理由コード	必須	数字	Code	3	返品	返品理由	O01:注文外商品、O02:伝票記入ミス、O04:品質不良品、O16:納品訂正、O17:商品不良、O18:汚破損 等	○	
				<商品>										
76	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。			
77	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は0をセットする		
78	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
79	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカーが指定する商品コードを入力する。			
80	301	商品関連			商品コード（出荷元）	任意	数字	Identifier	MAX14	出荷	ソースマーキングされた生産者コード			生鮮
81	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	O05:EAN/JAN/UCC13桁、999:自社コード 等	○	
82	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
83	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
				<商品規格>										
84	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
85	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	発注	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
86	315	商品関連			入数	任意	数字	Quantity	MAX4	発注	出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。			生鮮
87	302	商品関連			都道府県コード	任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
88	303	商品関連			国コード	任意	数字	Code	3	出荷	産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
89	304	商品関連			産地名	任意	文字	Text	MAX20	出荷	産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			生鮮
90	305	商品関連			水域コード	任意	英数	Identifier	2	出荷	漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
91	306	商品関連			水域名	任意	文字	Text	MAX20	出荷	漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			生鮮
92	307	商品関連			原産エリア	任意	文字	Text	MAX30	出荷	国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名（「紀州産」、「カリフォルニア産」など）。水産物の場合は、漁獲した水域名（相模湾、西インド洋など）、水揚げ漁港（焼津港、銚子港など）を表す。			生鮮
93	308	商品関連			等級	任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のグレードを表す（A、B、C、秀、優、良など）			生鮮
94	309	商品関連			階級	任意	文字	Text	MAX8	出荷	商品のサイズを表す（L、M、S、大、中、小など）			生鮮
95	310	商品関連			銘柄	任意	文字	Text	MAX30	出荷	産地銘柄を表す			生鮮

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(7)返品メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
96	311	商品関連			商品P R	任意	文字	Text	MAX30	出荷	朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品P R、商品特性、おすすめ情報を表す。			生鮮
97	312	商品関連			バイオ区分	任意	数字	Code	2	出荷	商品栽培時のバイオ技術の適用、非適用を表す区分（遺伝子組み換え）		○	生鮮
98	316	商品関連			品種コード	任意	数字	Code	2	発注	商品の品種を表すコード。		○	生鮮
99	317	商品関連			養殖区分	任意	数字	Code	2	発注	養殖／天然を表す区分。		○	生鮮
100	318	商品関連			解凍区分	任意	数字	Code	2	発注	解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
101	319	商品関連			商品状態区分	任意	数字	Code	2	発注	商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
102	320	商品関連			形状・部位	任意	文字	Text	5	発注	商品の形状や部位を表す区分（1次加工）。			生鮮
103	321	商品関連			用途	任意	文字	Text	MAX20	発注	生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			生鮮
					<法定管理区分>									
104	337	各種区分（商品）			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	出荷	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<カラー>									
105	81	商品関連			カラーコード	任意*3	英数	Identifier	MAX10	発注	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
106	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
107	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	81「カラーコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<サイズ>									
108	82	商品関連			サイズコード	任意*3	英数	Identifier	MAX10	発注	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。			
109	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
110	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30	発注	82「サイズコード」に対する名称（半角カナ）。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<原価>									
111	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
112	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の原価金額（131「原単価」×164「返品数量(バラ)」）。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）	定貴商品の場合は、原単価×返品数量（バラ）、不定貴商品の場合は、原単価×返品重量。		
					<売価>									
113	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10	発注	1取引明細の商品の売価単価。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売単価Oの場合はひをセットする		
114	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の商品の売価金額（134「売単価」×164「返品数量(バラ)」）。	定貴商品の場合は、売単価×返品数量（バラ）、不定貴商品の場合は、売単価×返品重量。		
					<税額>									
115	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。			
					<返品数量>									
116	164	数量			返品数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7	返品	1返品明細での73「商品コード（発注用）」の返品バラ数。			
117	313	商品関連			単価登録単位	任意	数字	Code	2	発注	不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
118	314	商品関連			商品重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8	発注	商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			生鮮
119	330	重量			返品重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10	返品	不定貴商品の場合に使用する。返品時の確定重量。			生鮮
					<譲渡年月>									
120	348	日付関連			譲渡年月1	任意	数字	Date(年月)	6	返品	売上に係る対価の返還を行う場合の基となった課税資産の譲渡等を行った年月（1）。期間指定開始年月などを格納する。			
121	349	日付関連			譲渡年月2	任意	数字	Date(年月)	6	返品	売上に係る対価の返還を行う場合の基となった課税資産の譲渡等を行った年月（2）。期間指定終了年月などを格納する。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(8)請求メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
<支払企業>														
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
<発注者>														
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
<請求取引先>														
22	51	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め(契約)により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード		
23	52	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め(契約)により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			
24	53	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
25	54	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	請求取引先名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
26	114	日付関連		対象期間開始		任意	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。	買掛締期間(開始日)、対象期間・自		
27	115	日付関連		対象期間終了		必須	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。締め日。	買掛締期間(終了日)、対象期間・至		
28	127	番号		請求書番号		任意	数字	Identifier	10		請求者(卸／メーカー)が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。	請求書番号		
<取引>														
29	121	番号			取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
30	61	登場人物：卸／メーカー 《ブレイク集計調整関連》			発行区分	任意	数字	Code	MAX2		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、自社の売掛管理の括り(例：事業所別、地区別など)に合わせて請求支払いをする場合に任意で使。請求データにセットされた値がそのまま支払い案内データに引き継がれる。	発行区分、伝票区分		
31	62	登場人物：卸／メーカー 《ブレイク集計調整関連》			連番	任意	数字	Numeric	5		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、発行区分内で請求データを連番管理する場合に使用。請求データにセットされた値が、そのまま支払い案内データに引き継がれる。	連番、レコード連番		
<計上部署>														
32	35	登場人物：小売			計上部署コード	必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所(小売の物流センター、または店舗)を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
33	36	登場人物：小売			計上部署GLN	必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所(小売の物流センター、または店舗)を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定			
34	37	登場人物：小売			計上部署名称(カナ)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
<取引先>														
35	55	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先コード	任意※3	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め(契約)により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
36	56	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先GLN	任意※3	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め(契約)により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
37	57	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先名称	任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
38	58	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
<取引内容>														
39	87	商品関連			商品分類(大)	任意※3	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		
40	88	商品関連			商品分類(中)	任意※3	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
41	106	日付関連			計上日	必須	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	納入日、計上日、店番荷指定日		
42	138	金額			税額合計金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号(発注・返品)の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
43	139	金額			請求金額符号	必須	文字	Code	1		請求金額の正負。(例：仕入は+、返品、値引は-)			
44	141	金額			請求金額	必須	数字	Amount	MAX11		請求者(卸／メーカー)が小売に対して行う、1取引番号あたりの商品代金請求金額。	請求金額		
45	189	各種区分(決済)			請求区分	任意	数字	Code	2		当月(回)請求、前月(回)繰越請求を区別する区分。	請求区分		○
46	190	各種区分(決済)			未払買掛区分	任意	数字	Code	2		請求(支払)データが、小売側にとって買掛(商品代金)計上するの未払い金(商品以外の代金)計上するのかを区別する区分。	レコード区分、区分		○
47	192	各種区分(決済)			支払内容	必須	数字	Code	4		支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	伝票区分(支払い内容)、請求区分、支払区分		○
48	201	税			税区分	任意※3	数字	Code	2		消費税の区分 (込み、抜き、非課税)を表す区分。非課税：切手、ビール券等	税区分		○
49	202	税			税率	任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Numeric	3		消費税率を表す。	税率		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(9) 支払メッセージ

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型 *1	桁数	引継項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コードリスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
<支払企業>														
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
<発注者>														
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
<請求取引先>														
22	51	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め(契約)により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード		
23	52	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め(契約)により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			
24	53	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
25	54	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》		請求取引先カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
26	114	日付関連		対象期間開始		任意	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。	買掛締期間(開始日)、対象期間・自		
27	115	日付関連		対象期間終了		必須	数字	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。締め日。	買掛締期間(終了日)、対象期間・至		
28	127	番号		請求書番号		任意	数字	Identifier	10		請求者(卸／メーカー)が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。	請求書番号		
<取引>														
29	121	番号			取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
30	61	登場人物：卸／メーカー 《ブレイク集計調整関連》			発行区分	任意	数字	Code	MAX2		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、自社の売掛管理の括り(例：事業所別、地区別など)に合わせて請求支払いをする場合に任意で使用する。請求データにセットされた値がそのまま支払い案内データに引き継がれる。	発行区分、伝票区分		
31	62	登場人物：卸／メーカー 《ブレイク集計調整関連》			連番	任意	数字	Numeric	5		商品代金の請求を行う卸／メーカー企業が、発行区分内で請求データを連番管理する場合に使用。請求データにセットされた値が、そのまま支払い案内データに引き継がれる。	連番、レコード連番		
<計上部署>														
32	35	登場人物：小売			計上部署コード	必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所(小売の物流センター、または店舗)を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
33	36	登場人物：小売			計上部署GLN	必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所(小売の物流センター、または店舗)を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定			
34	37	登場人物：小売			計上部署名称(カナ)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		35「計上部署コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
<取引先>														
35	55	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先コード	任意*3	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め(契約)により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
36	56	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先GLN	任意*3	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め(契約)により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
37	57	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先名称	任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
38	58	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》			取引先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
<取引内容>														
39	87	商品関連			商品分類(大)	任意*3	英数	Identifier	MAX10	請求	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		
40	88	商品関連			商品分類(中)	任意*3	英数	Identifier	MAX10	請求	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
41	106	日付関連			計上日	必須	数字	Date	8	請求	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	納入日、計上日、店番荷指定日		
42	116	日付関連			支払日	任意	数字	Date	8	支払	小売側が請求先(卸／メーカー)に支払い(振込)をする日付。	支払年月日		
43	138	金額			税額合計金額	任意	数字	Amount	MAX10	支払	1取引番号《発注・返品》の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
44	139	金額			請求金額符号	必須	文字	Code	1	請求	請求金額の正負。(例：仕入は＋、返品、値引は－)			
45	140	金額			支払金額符号	必須	文字	Code	1	支払	支払金額の正負。(例：仕入は＋、相殺、返品、値引は－)			
46	143	金額			金額符号(小売自由使用)	任意*3	文字	Code	1		「金額」(小売自由使用)の正負			
47	141	金額			請求金額	必須	数字	Amount	MAX11	請求	請求者(卸／メーカー)が小売に対して行う、1取引番号あたりの商品代金請求金額。	請求金額		
48	142	金額			支払金額	必須	数字	Amount	MAX11	支払	小売が請求者(卸／メーカー)に対して支払う、1取引番号あたりの商品代金。	金額、金額合計、消費税額計、支払金額、原価(符号付き)		
49	144	金額			金額(小売自由使用)	任意	数字	Amount	MAX11		請求照会の結果、卸／メーカーへの支払い額以外に開示する項目(小売計上額、請求残、次回繰越額等)の金額をセット。	アンマッチ買掛計上金額		
50	184	各種区分(決済)			処理種別	任意	数字	Code	2	支払	小売で使用する取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
51	189	各種区分(決済)			請求区分	任意	数字	Code	2	請求	当月(回)請求、前月(回)繰越請求を区別する区分。	請求区分	○	

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(9) 支払メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
52	190	各種区分 (決済)			未払買掛区分	任意	数字	Code	2	請求	請求 (支払) データが、小売側にとって買掛 (商品代金) 計上するの未払い金 (商品以外の代金) 計上する のかを区別する区分。	レコード区分、区分	○	
53	191	各種区分 (決済)			照合結果	必須	数字	Code	2	支払	卸 / メーカーの請求額と小売側の買掛額を照合した結果を告知する項目。	計上区分、マッチ区分、備考コード	○	
54	192	各種区分 (決済)			支払内容	必須	数字	Code	4	請求	支払内容を表すコード。内容はコードリスト参照。	伝票区分 (支払い内容)、請求区分、支払区分、登録番号	○	
55	193	各種区分 (決済)			支払内容 (個別)	必須	数字	Code	4	支払	192「支払内容」の内訳。小売側で独自に管理しているコードをセット。 支払内容に9000 (適格請求書発行事業者登録番号) を設定した時、売り手を表すコードとし、0001 (卸・ メーカー登録番号)、0002 (小売登録番号) とすることを推奨。「小売一卸間」以外の際は、相対で確認の 上コード設定する。	伝票区分 (支払い内容)		
56	194	各種区分 (決済)			支払内容 (個別名称)	必須	文字	Text	MAX25	支払	193「支払内容 (個別)」に対する名称。 支払内容に9000 (適格請求書発行事業者登録番号) を設定した時、支払内容 (個別) で設定した売り手の企 業名を全角で格納する。			
57	195	各種区分 (決済)			支払内容 (個別名称カナ)	必須	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	支払	193「支払内容 (個別)」に対する名称 (半角カナ)。 支払内容に9000 (適格請求書発行事業者登録番号) を設定した時、支払内容 (個別) で設定した売り手の適 格請求書発行事業者登録番号を半角で格納する。			
58	196	各種区分 (決済)			支払方法区分	任意	数字	Code	2	支払	手形、銀行振込 等		○	
59	201	税			税区分	任意 *3	数字	Code	2	請求	消費税の区分 (込み、抜き、非課税) を表す区分。非課税: 切手、ビール券等	税区分	○	
60	202	税			税率	任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3	請求	消費税率を表す。	税率		

\*1: XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2: 小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3: 任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4: 新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(10)返品受領メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、"CODE"、GLNの場合は" GLN"と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、"CODE"、GLNの場合は" GLN"と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に"MSG-"を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
			<返品者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	返品	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	23「発注者コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10	返品	小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10	返品	取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	外注No、客注No、伝票行番号、配達伝票番号		
			<返品引取り場所>											
24	27	登場人物：小売	直接納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。	物流センターコード、店舗コード、		
25	28	登場人物：小売	直接納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
26	29	登場人物：小売	直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	返品	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
27	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<返品出荷先>											
28	31	登場人物：小売	最終納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	物流センターコード、店舗コード		
29	32	登場人物：小売	最終納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
30	33	登場人物：小売	最終納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	返品	31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
31	34	登場人物：小売	最終納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<計上部署>											
32	35	登場人物：小売	計上部署コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
33	36	登場人物：小売	計上部署GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「O」固定			
34	37	登場人物：小売	計上部署名称（カナ）			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<請求取引先>											
35	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード		
36	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			
37	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先名			任意	文字	Text	MAX20	返品	51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
38	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
			<取引先>											
39	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
40	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	返品	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
41	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	返品	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
42	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
43	59	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	返品	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備		
44	60	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	返品	55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	出荷先コード、フロアー		
			<物流関連指示>											
45	180	各種区分（物流）	商品移動区分			必須	数字	Code	2	返品	返品において、該当の商品が返却されるか、返却がされないかを表す。（返却されない・・・汚破損等により商品を小売が廃棄処分する場合等）	商品移動		
			<取引内容>											
46	87	商品関連	商品分類（大）			必須	英数	Identifier	MAX10	返品	小売側の商品分類を表す独自コード、コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	DPTNo、群番、グループコード、部門		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(10)返品受領メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
47	88	商品関連		商品分類 (中)		必須	英数	Identifier	MAX10	返品	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
48	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8	返品	小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	納入日、計上日、店番荷指定日		
49	117	日付関連		照合基準日		任意	数字	Date	8		卸・メーカー側で、小売企業から受け取った返品データと、返品対象となった商品を照合するためのキーとなる日付情報。照合する日付けの意味は、次の「照合基準日区分」のコードリストの中から相対間で選択し、決定する。			
50	118	日付関連		照合基準日区分		任意 (条件付)	数字	Code	2		返品の際の照合作業を、店舗あるいはセンターで行うか、どのようなイベント(仕分の処理、出荷、引取)で行うかによって、「照合基準日」を識別するための区分。			
51	171	各種区分(発注)		商品区分		任意	数字	Code	2	返品	定番(プロバー)発注or特売(中目玉玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分		
52	184	各種区分(決済)		処理種別		任意	数字	Code	2	返品	小売で使用する取引の種別(仕入、返品、移動、留引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸側でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分		
53	185	各種区分(決済)		配送料免除区分		任意	数字	Code	2	返品	返品配送料を卸/メーカー(返品先)に負担していただくかどうかを表す。	配送料免除区分(返品)		
54	186	各種区分(決済)		伝票レス区分		任意	数字	Code	2	返品	小売が卸/メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	伝票有無区分、E D I 区分、在庫センター区分		
55	201	税		税区分		任意	数字	Code	2	返品	消費税の区分 (込み、抜き、非課税)を表す区分。非課税: 切手、ビール券等	税区分		
56	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3	返品	消費税率を表す。	税率		
57	217	梱包情報		梱包NO		任意	数字	Identifier	MAX36	返品	梱包単位に付けられたNo	梱包No		
58	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60	返品	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可)。	伝票の自由使用欄(発注)		
59	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	返品	伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。(半角カナ) 別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可)。	伝票の自由使用欄(発注)、承認No(受領伝票)		
				<取引合計>										
60	133	金額		原価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10	返品	1取引番号(発注・返品)単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ	原価金額		
61	136	金額		売価金額合計		必須	数字	Amount	MAX10	返品	1取引番号(発注・返品)単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
62	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10	返品	1取引番号(発注・返品)の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			
63	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6	返品	1取引番号(発注)単位の返品受領1「返品受領数量/バラ」の合計。			
				<取引明細>										
64	123	番号			取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4	返品	121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
65	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	返品	122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号	外注No、客注No、(一括伝票に対する行内のオカレンス番号)		
66	89	商品関連			商品分類(小)	任意	英数	Identifier	MAX10	返品	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類No、品種(商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード(一括伝票)		
67	90	商品関連			商品分類(細)	任意	英数	Identifier	MAX10	返品	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU(商品コードの一部)、クラス+サプクラスコード		
68	187	各種区分(決済)			返品理由コード	必須	数字	Code	3	返品	返品理由	001:注文外商品、002:伝票記入ミス、004:品質不良品、016:納品訂正、017:商品不良、018:汚破損 等		
					<商品>									
69	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	返品	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合(リポート管理等)に使用。	メーカーコード(3桁の独自コード)		
70	72	商品関連			商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14	返品	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)、GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	JANコード、頭0+JANコード(14桁)		
71	73	商品関連			商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14	返品	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
72	74	商品関連			商品コード(取引先)	任意	英数	Identifier	MAX14	返品	卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
73	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	返品	73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。			
74	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25	返品	73「商品コード(発注用)」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
75	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	返品	73「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	商品名称		
					<商品規格>									
76	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25	返品	商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
77	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	返品	商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす(半角カナ)。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
					<法定管理区分>									
78	337	各種区分(商品)			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	出荷	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<カラー>									
79	81	商品関連			カラーコード	任意	英数	Identifier	MAX10	返品	商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。	カラーコード		
80	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20	返品	81「カラーコード」に対する名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
81	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	返品	81「カラーコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	カラー名称		
					<サイズ>									
82	82	商品関連			サイズコード	任意	英数	Identifier	MAX10	返品	商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。	サイズコード		
83	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30	返品	82「サイズコード」に対する名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
84	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30	返品	82「サイズコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	サイズ名称		
					<原価>									
85	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10	返品	1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
86	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	返品	1取引明細の商品の原価金額(131「原単価」×返品受領1「返品受領数量/バラ」)。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨、切上り)	原価金額		
					<売価>									
87	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10	返品	1取引明細の商品の売価単価。	売価単価、売単価		
88	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10	返品	1取引明細の商品の売価金額(134「売単価」×返品受領1「返品受領数量/バラ」)。	売価金額		
					<税額>									
89	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10	返品	1取引明細の132「原価金額」の消費税額。	消費税等		
					<返品数量>									
90	164	数量			返品数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7	返品	1返品明細での73「商品コード(発注用)」の返品バラ数。			
					<返品受領数量>									
91	返品受領1	数量			返品受領数量(バラ)	必須	小数点以下1桁	Quantity	MAX7		1返品明細での卸/メーカー側の返品受領数。バラ数量換算。			
					<譲渡年月>									
92	348	日付関連			譲渡年月1	任意	数字	Date(年月)	6	返品	売上に係る対価の返還を行う場合の基となった課税資産の譲渡等を行った年月(1)。期間指定開始年月などを格納する。			
93	349	日付関連			譲渡年月2	任意	数字	Date(年月)	6	返品	売上に係る対価の返還を行う場合の基となった課税資産の譲渡等を行った年月(2)。期間指定終了年月などを格納する。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(11)出荷荷姿メッセージ

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	引継項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コードリスト	商材*4
SBDH														
1	11	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、"CODE"、GLNの場合は" GLN"と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、"CODE"、GLNの場合は" GLN"と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクリーンを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクリーンを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に"MSG-"を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<取引先>											
20	55	登場人物：卸／メーカー	取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
21	56	登場人物：卸／メーカー	取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
22	57	登場人物：卸／メーカー	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
23	58	登場人物：卸／メーカー	取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
24	59	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	枝番			任意	英数	Identifier	MAX2	発注	一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	デボ、部門、枝番、受注企業コード・予備		
25	60	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4	発注	55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	出荷先コード、フロアー		
26	63	登場人物：卸／メーカー <物流関連>	出荷場所GLN			任意	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
27	218	梱包情報	担当者			任意	文字	Text	MAX10		出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			
28	219	梱包情報	担当者カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX10		出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）	担当者		
29	220	梱包情報	連絡先(TEL)			任意	英数	Text	MAX12		218「担当者」の電話番号。	連絡先（TEL）		
30	221	梱包情報	連絡先(FAX)			任意	英数	Text	MAX12		218「担当者」のFAX番号。	連絡先（FAX）		
			<直接納品先>											
31	27	登場人物：小売	直接納品先コード			任意	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。	物流センターコード、店舗コード、		
32	28	登場人物：小売	直接納品先GLN			任意	数字	Identifier	MAX13	発注	卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
33	29	登場人物：小売	直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<物流関連指示>											
35	211	梱包情報	取引先出荷日			任意	数字	Date	8		卸／メーカーが商品を出荷した日。	取引先出荷日、ベンダー出荷年月日		
36	102	日付関連	直接納品先納品日			任意 (条件付)	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。	センター納品日、店着荷指定日		
37	103	日付関連	最終納品先納品日			任意 (条件付)	数字	Date	8		卸／メーカー側が、受注後、最終納品先に納品される納品日をセット			
38	出荷荷姿1		納品先納品日区分			必須	数字	Code	2		納品数量数量を集計する際に、直接納品先納品日をキー項目とするか、最終納品先納品日をキーとするかを、相対間で決めた上でセットする。さらに、「納品先納品日区分」コードリストを設ける（O1は最終納品先納品日、O2は直接納品先納品日）。	○		
39	125	番号	センター納品書番号			任意	数字	Identifier	MAX10		卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。	送品書№		
40	213	梱包情報	出荷総梱包数			任意	数字	Quantity	MAX6		出荷（梱包）単位の総梱包数。	取引先出荷梱包数、ベンダー出荷総梱包数		
41	176	各種区分（物流）	便No			任意	数字	Code	2	発注	小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、便情報、便コード	○	
42	65	登場人物：卸／メーカー <物流関連>	指定納品時刻			任意	数字	Time	6	発注	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
43	198	各種区分（物流）	輸送手段			任意	数字	Code	2	発注	小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社車、路線便等）を指定する場合に使用する。	輸送手段	○	
			<発注者>											
44	23	登場人物：小売	発注者コード			任意	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
45	24	登場人物：小売	発注者GLN			任意	数字	Identifier	MAX13	発注	商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
46	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
47	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
			<商品>											
48	72	商品関連	商品コード（GTIN）			必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「O」固定	JANコード、頭O+JANコード（14桁）		
49	73	商品関連	商品コード（発注用）			必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS（社内コード）		
50	74	商品関連	商品コード（取引先）			任意	文字 (半角カナ)	Identifier	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
51	75	商品関連	商品コード区分			必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	○		
52	87	商品関連	商品分類（大）			任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	DPT№、群番、グループコード、部門		
53	88	商品関連	商品分類（中）			任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
54	89	商品関連	商品分類（小）			任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類№、品種（商品コードの一部）、ラインコード、ライン、店コード（一括伝票）		
55	90	商品関連	商品分類（細）			任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	関係会社分類コード、SKU（商品コードの一部）、クラス+サブクラスコード		
			<区分>											
56	171	各種区分（発注）	商品区分			任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
57	172	各種区分（発注）	発注区分			任意	数字	Code	2	発注	発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分、データ区分	○	
58	174	各種区分（発注）	EOS区分			任意	数字	Code	2	発注	小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。	○		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(11)出荷荷姿メッセージ

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	引継項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記）*2	コードリスト	商材*4
59	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2	発注	小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には2「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
				<発注数量>										
60	出荷荷姿2	数量		総発注数量		必須	数字 （小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7		小売から受け取った発注データをもとに、納品先、納品日、商品コードで発注数量を集計したバラ数を卸・メーカーがセット	数量、発注数		
				<出荷数量>										
61	出荷荷姿3	数量		総出荷数量		必須	数字 （小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7		納品先、納品日、商品コードで集計した出荷数量（バラ数）を卸・メーカーがセット	出荷数量		
				<欠品情報>										
62	出荷荷姿4	数量		欠品数量		必須	数字 （小数点以下1桁有り）	Quantity	MAX7		納品先、納品日、商品コードで集計した欠品数量（バラ数）を卸・メーカーがセット	欠品数量		
63	197	各種区分（決済）		欠品区分		任意	数字	Code	2		卸／メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足（欠品）が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	欠品理由、欠品区分	○	
					< I T F 情報 >									
64	76	商品関連			ITFコード(集合包装GTIN)	任意	数字	Identifier	MAX16		集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
65	212	梱包情報			出荷ケース数	任意 (条件付)	数字	Quantity	MAX6		出荷（梱包）単位の出荷数。			
66	214	梱包情報			ITF入数(集合包装GTIN入数)	任意 (条件付)	数字	Quantity	MAX4		この正極内に商品コード（発注用）がいくつあるかということ。			
					<ボール情報>									
67	出荷荷姿5	商品関連			ボール商品コード	任意	数字	Identifier	MAX16		集合包装にボールJANコード。小売側の入荷検品に使用。			
68	出荷荷姿6	梱包情報			ボール出荷数量	任意 (条件付)	数字	Quantity	MAX7		ボール単位の出荷数。			
69	出荷荷姿7	梱包情報			ボール内商品数量	任意 (条件付)	数字	Quantity	MAX4		この正極内に商品コード（発注用）がいくつあるかということ。ケース内ボール数。			
					<商品（単品）情報>									
70	72	商品関連			商品コード（GTIN）	任意	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定			
71	出荷荷姿8	梱包情報			単品数量	任意 (条件付)	数字	Quantity	MAX7		バラ単位の出荷数。出荷時に卸／メーカー側がセットする。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(12)集計表作成データ(発注)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<発注者>												
16	23	登場人物：小売	発注者コード				必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
17	24	登場人物：小売	発注者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
18	25	登場人物：小売	発注者名称				任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
19	26	登場人物：小売	発注者名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>												
20	121	番号		取引番号（発注・返品）			必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
21	122	番号		取引付属番号			任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
			<直接納品先>												
22	27	登場人物：小売		直接納品先コード			任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
23	28	登場人物：小売		直接納品先GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
24	29	登場人物：小売		直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
25	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<陳列場所>												
26	38	登場人物：小売		陳列場所コード			任意＊3	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
27	39	登場人物：小売		陳列場所名称			任意	文字	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
28	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
			<取引先>												
29	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
30	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定	必須なのでGLN未取得の場合はOをセットする		
31	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称			任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
32	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
33	59	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>		枝番			任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
34	60	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>		出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
			<物流関連指示>												
35	63	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		出荷場所GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
36	175	各種区分（物流）		納品経路			任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、00:無指定、01:店舗直納、02:センター納品	○	
37	176	各種区分（物流）		便No			任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配達便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、00:無指定、01～09:1～9便 等	○	
38	177	各種区分（物流）		通過在庫区分			任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品後、卸、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	00:無指定、01:TC、02:預りDC、03:買取DC	○	
39	178	各種区分（物流）		納品区分			任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	00:無指定、01:総量納品、02:店別納品	○	
40	65	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		指定納品時刻			任意	数字	Time	6		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
			<取引内容>												
41	87	商品関連		商品分類（大）			必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(03:青果、04:水産、05:食肉 等)		
42	88	商品関連		商品分類（中）			必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
43	101	日付関連		発注日			必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
44	102	日付関連		直接納品先納品日			任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日		
45	103	日付関連		最終納品先納品日			必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」への納品日。	店舗納品日、納品指定日		
46	106	日付関連		計上日			任意	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
47	171	各種区分（発注）		商品区分			任意	数字	Code	2		定番(プロパ)発注or特売(中目玉玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（01:定番、02:準特価、03:特売（チラシ））	○	
48	172	各種区分（発注）		発注区分			任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（01:本部発注、02:店舗発注、03:センター発注、・・・等）	○	
49	182	各種区分（商品）		配送温度区分			任意	数字	Code	2		温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	01:常温、02:チルド、03:冷蔵、04:冷凍、05:超冷凍	○	
50	336	各種区分（商品）		バック区分			任意	数字	Code	2		食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮
51	334	各種区分（商品）		不定貴区分			任意	数字	Code	2		定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮
52	231	コメント		自由使用欄			任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(12)集計表作成データ(発注)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
53	232	コメント		自由使用欄半角カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。(半角カナ)別項目でメッセージとして使用。 そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可)。			
				<取引合計>											
54	133	金額		原価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号(発注・返品)単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ			
55	136	金額		売価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号(発注・返品)単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
56	138	金額		税額合計金額			任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号(発注・返品)の消費税額の合計。			
57	157	数量		数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号(発注)単位の151「発注数量(バラ)」の合計。	発注数量(バラ)の合計。(小数点以下2桁有り)		
58	158	数量		発注単位数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号(発注)単位の153「発注数量(発注単位数)」の合計。	発注数量(発注単位数)の合計		
59	331	重量		重量合計			任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX13		不定貴商品の場合に使用する。1取引番号(発注)単位の重量の合計。			
				<取引明細>											
60	123	番号			取引明細番号(発注・返品)		必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No.、行番号、発注伝票行番号		
61	124	番号			取引付属明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
62	89	商品関連			商品分類(小)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類		
63	90	商品関連			商品分類(細)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類		
64	179	各種区分(物流)			センター納品詳細指示		任意	数字	Code	2		納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕区分区、01:オリコン納品有り、02:オリコン納品無し、03:ソーター使用、04:ソーター未使用、05:その他	○	
					<商品>										
65	72	商品関連			商品コード(GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は〇をセットする		
66	73	商品関連			商品コード(発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
67	74	商品関連			商品コード(取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など、使用する場合は、卸/メーカーが指定する商品コードを入力する。			
68	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3		73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。	005EAN/JAN/UCC13桁、999自社コード 等	○	
69	77	商品関連			商品名		任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
70	78	商品関連			商品名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>										
71	79	商品関連			規格		任意	文字	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の販売荷姿を表す。入数ではない。		
72	80	商品関連			規格カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす(半角カナ)。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
73	315	商品関連			入数		任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。			
74	302	商品関連			都道府県コード		任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
75	303	商品関連			国コード		任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
76	304	商品関連			産地名		任意	文字	Text	MAX20		産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			
77	305	商品関連			水域コード		任意	英数	Identifier	2		漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
78	306	商品関連			水域名		任意	文字	Text	MAX20		漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			
79	307	商品関連			原産エリア		任意	文字	Text	MAX30		国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名(「紀州産」、「カリフォルニア産」など)。水産物の場合は、漁獲した水域名(相模湾、西インド洋など)、水揚げ漁港(焼津港、鏡子港など)を表す。			
80	308	商品関連			等級		任意	文字	Text	MAX8		商品のグレードを表す(A、B、C、秀、優、良など)			
81	309	商品関連			階級		任意	文字	Text	MAX8		商品のサイズを表す(L、M、S、大、中、小など)			
82	310	商品関連			銘柄		任意	文字	Text	MAX30		産地銘柄を表す			
83	311	商品関連			商品PR		任意	文字	Text	MAX30		朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品PR、商品特性、おすすめ情報を表す。			
84	312	商品関連			バイオ区分		任意	数字	Code	2		商品栽培時のバイオ技術の適用、非適用を表す区分(遺伝子組み換え)		○	生鮮
85	316	商品関連			品種コード		任意	数字	Code	2		商品の品種を表すコード。		○	生鮮
86	317	商品関連			養殖区分		任意	数字	Code	2		養殖/天然を表す区分。		○	生鮮
87	318	商品関連			解凍区分		任意	数字	Code	2		解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
88	319	商品関連			商品状態区分		任意	数字	Code	2		商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
89	320	商品関連			形状・部位		任意	文字	Text	5		商品の形状や部位を表す区分(1次加工)。			
90	321	商品関連			用途		任意	文字	Text	MAX20		生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			
					<法定管理区分>										
91	337	各種区分(商品)			法定管理義務商材区分		任意	数字	Code	2		当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<原価>										
92	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
93	132	金額			原価金額		必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額(131「原単価」×151「発注数量(バラ)」)。小数以下のまらめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨て、切上げ)	定貴商品の場合は、原単価×発注数量(バラ)、不定貴商品の場合は原単価×発注重量		
					<売価>										
94	134	金額			売単価		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。		
95	135	金額			売価金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額(134「売単価」または402「店舗売単価」)×403「店舗発注数量(バラ)」の足し上げ)。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は売単価×発注数量(バラ)、不定貴商品の場合は売単価×発注重量		
					<発注単位>										
96	151	数量			発注数量(バラ)		必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注)単位での発注数量(バラ)。403「店舗発注数量(バラ)」の足し上げ	定貴商品の場合は、発注単位×発注数量(発注単位数)。不定貴商品の場合は、発注単位/単価登録単位×発注数量(発注単位数)。		
97	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
98	153	数量			発注数量(発注単位数)		必須	数字	Quantity	MAX6		1取引明細番号(発注)単位での発注単位換算した発注数量。404「店舗発注数量(発注単位数)」の足し上げ	発注ケース数、発注単位数		
99	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	個、ケース、パック、g、Kg	○	
100	155	数量			発注荷姿コード		任意	数字	Code	2		納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース(この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる) この項目で卸/メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	01:バラ、02:ボール、03:ケース、04:バレット、05:バンドル	○	

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧  
(12)集計表作成データ(発注)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
101	326	重量			発注重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			
102	327	重量			取引単位重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		卸売市場等で取引される単位重量 (5Kg、1 0kgなど)			
103	313	商品関連			単価登録単位		任意	数字	Code	2		不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100 g 当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
104	314	商品関連			商品重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8		商品コードアイテム重量。発注数量 (バラ) 1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			
						<最終納品先>									
105	401	番号				最終納品先明細番号	必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号 (発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味			
106	31	登場人物：小売				最終納品先コード	必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所 (小売の物流センター又は店舗) をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
107	33	登場人物：小売				最終納品先名称	任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
108	34	登場人物：小売				最終納品先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称 (半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。			
						<物流関連印字内容>									
109	66	登場人物：卸／メーカー <物流関連>				バーコード情報	任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
110	67	登場人物：卸／メーカー <物流関連>				カテゴリ名称1 (印字用)	任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。			
111	68	登場人物：卸／メーカー <物流関連>				カテゴリ名称2 (印字用)	任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。			
112	69	登場人物：卸／メーカー <物流関連>				最終納品先略称 (印字用)	任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
113	233	コメント				ラベル自由使用欄 (印字用)	任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
114	234	コメント				ラベル自由使用欄半角カナ (印字用)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目 (半角カナ)。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
						<店舗売価>									
115	402	金額				店舗売単価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の店舗別売価単価。			
116	415	金額				店舗売価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額 [(134「売単価」または 402「店舗売単価」)× 403「店舗発注数量(バラ)」の足し上げ]。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は売単価×発注数量 (バラ)、不定貴商品の場合は売単価×発注重量		
						<店舗発注数量>									
117	403	数量				店舗発注数量 (バラ)	必須	数字	Quantity	MAX7		1取引明細番号 (発注)、31「最終納品先コード」単位の73「商品コード (発注用)」の発注数。いわゆる バラ数。	定貴商品の場合は、発注単位×発注数量 (発注単位数)。不定貴商品の場合は、発注単位／単価登録単位×発注数量 (発注単位数)。		
118	404	数量				店舗発注数量 (発注単位数)	必須	数字	Quantity	MAX6		1取引明細番号 (発注)、31「最終納品先コード」単位の73「商品コード (発注用)」の発注単位換算した 発注数量。			
119	405	重量				店舗発注重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		1取引明細番号 (発注)、31「最終納品先コード」単位の73「商品コード (発注用)」の発注重量。	不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(13)集計表作成データ(出荷)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<発注者>												
16	23	登場人物：小売	発注者コード				必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
17	24	登場人物：小売	発注者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
18	25	登場人物：小売	発注者名称				任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
19	26	登場人物：小売	発注者名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>												
20	121	番号		取引番号（発注・返品）			必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
21	122	番号		取引付属番号			任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
			<直接納品先>												
22	27	登場人物：小売		直接納品先コード			任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
23	28	登場人物：小売		直接納品先GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
24	29	登場人物：小売		直接納品先名称			任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
25	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
			<陳列場所>												
26	38	登場人物：小売		陳列場所コード			任意＊3	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
27	39	登場人物：小売		陳列場所名称			任意	文字	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
28	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
			<取引先>												
29	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
30	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は0をセットする		
31	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称			任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
32	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
33	59	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>		枝番			任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
34	60	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>		出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
			<物流関連指示>												
35	63	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		出荷場所GLN			任意＊3	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品番番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
36	175	各種区分（物流）		納品経路			任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、00:無指定、01:店舗直納、02:センター納品	○	
37	176	各種区分（物流）		便No			任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、00:無指定、01～09:1～9便 等	○	
38	177	各種区分（物流）		通過在庫区分			任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品後、即、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	00:無指定、01:TC、02:預りDC、03:買取DC	○	
39	178	各種区分（物流）		納品区分			任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	00:無指定、01:総量納品、02:店別納品	○	
40	65	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		指定納品時刻			任意	数字	Time	6		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら15:00:00とセットする。	納品時刻		
41	198	各種区分（物流）		輸送手段			任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社便、路線便等）を指定する場合に使用する。	輸送手段	○	
			<取引内容>												
42	87	商品関連		商品分類（大）			必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(03:青果、04:水産、05:食肉 等)		
43	88	商品関連		商品分類（中）			必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
44	101	日付関連		発注日			必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
45	102	日付関連		直接納品先納品日			任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日		
46	103	日付関連		最終納品先納品日			必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」への納品日。	店舗納品日、納品指定日		
47	106	日付関連		計上日			任意	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
48	171	各種区分（発注）		商品区分			任意	数字	Code	2		定番(プロバ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（01:定番、02:準特価、03:特売（チラシ））	○	
49	172	各種区分（発注）		発注区分			任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（01:本部発注、02:店舗発注、03:センター発注、・・・等）	○	
50	182	各種区分（商品）		配送温度区分			任意	数字	Code	2		温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	01:常温、02:チルド、03:冷蔵、04:冷凍、05:超冷凍	○	
51	336	各種区分（商品）		バック区分			任意	数字	Code	2		食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮
52	334	各種区分（商品）		不定貴区分			任意	数字	Code	2		定貴・不定貴を表す区分		○	生鮮

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(13)集計表作成データ(出荷)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
53	231	コメント		自由使用欄			任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
54	232	コメント		自由使用欄半角カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。(半角カナ) 別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
				<取引合計>											
55	133	金額		原価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号(発注・返品)単位の原価金額の合計。1 取引明細の132「原価金額」の足し上げ			
56	136	金額		売価金額合計			任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号(発注・返品)単位の売価金額の合計。1 取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
57	138	金額		税額合計金額			任意	数字	Amount	MAX10		1 取引番号(発注・返品)の消費税額の合計。			
58	157	数量		数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6		1 取引番号(発注)単位の159「出荷数量(バラ)」の合計。	発注数量(バラ)の合計、(小数点以下2桁有り)		
59	158	数量		発注単位数量合計			任意	数字	Quantity	MAX6		1 取引番号(発注)単位の160「出荷数量(発注単位数)」の合計。	発注数量(発注単位数)の合計		
60	331	重量		重量合計			任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX13		不定貴商品の場合に使用する。1 取引番号(発注)単位の重量の合計。			
				<取引明細>											
61	123	番号			取引明細番号(発注・返品)		必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No.、行番号、発注伝票行番号		
62	124	番号			取引付属明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
63	89	商品関連			商品分類(小)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類		
64	90	商品関連			商品分類(細)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類		
65	179	各種区分(物流)			センター納品詳細指示		任意	数字	Code	2		納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕分区分、O1:オリコン納品有り、O2:オリコン納品無し、O3:ソーター使用、O4:ソーター未使用、O5:その他	○	
					<商品>										
66	72	商品関連			商品コード(GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は0をセットする		
67	73	商品関連			商品コード(発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
68	74	商品関連			商品コード(取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸/メーカーが指定する商品コードを入力する。			
69	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3		73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。	O05EAN/JAN/UCC13桁、999:自社コード 等	○	
70	77	商品関連			商品名		任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
71	78	商品関連			商品名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>										
72	79	商品関連			規格		任意	文字	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の販売荷姿を表す。入数ではない。		
73	80	商品関連			規格カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす(半角カナ)。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
74	315	商品関連			入数		任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。			
75	302	商品関連			都道府県コード		任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
76	303	商品関連			国コード		任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
77	304	商品関連			産地名		任意	文字	Text	MAX20		産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			
78	305	商品関連			水域コード		任意	英数	Identifier	2		漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
79	306	商品関連			水域名		任意	文字	Text	MAX20		漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			
80	307	商品関連			原産エリア		任意	文字	Text	MAX30		国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名(「紀州産」、「カリフォルニア産」など)。水産物の場合は、漁獲した水域名(相模湾、西インド洋など)、水揚げ漁港(焼津港、鏡子港など)を表す。			
81	308	商品関連			等級		任意	文字	Text	MAX8		商品のグレードを表す(A、B、C、秀、優、良など)			
82	309	商品関連			階級		任意	文字	Text	MAX8		商品のサイズを表す(L、M、S、大、中、小など)			
83	310	商品関連			銘柄		任意	文字	Text	MAX30		産地銘柄を表す			
84	311	商品関連			商品PR		任意	文字	Text	MAX30		朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品PR、商品特性、おすすめ情報を表す。			
85	312	商品関連			パイオ区分		任意	数字	Code	2		商品栽培時のパイオ技術の適用。非適用を表す区分(遺伝子組み換え)		○	生鮮
86	316	商品関連			品種コード		任意	数字	Code	2		商品の品種を表すコード。		○	生鮮
87	317	商品関連			養殖区分		任意	数字	Code	2		養殖/天然を表す区分。		○	生鮮
88	318	商品関連			解凍区分		任意	数字	Code	2		解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
89	319	商品関連			商品状態区分		任意	数字	Code	2		商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
90	320	商品関連			形状・部位		任意	文字	Text	5		商品の形状や部位を表す区分(1次加工)。			
91	321	商品関連			用途		任意	文字	Text	MAX20		生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			
					<法定管理区分>										
92	337	各種区分(商品)			法定管理義務商材区分		任意	数字	Code	2		当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<原価>										
93	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1 取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
94	132	金額			原価金額		必須	数字	Amount	MAX10		1 取引明細の商品の原価金額(131「原単価」×159「出荷数量(バラ)」)。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨て、切上げ)	定貴商品の場合は、原単価×出荷数量(バラ)、不定貴商品の場合は原単価×出荷重量		
					<売価>										
95	134	金額			売単価		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。		
96	135	金額			売価金額		任意	数字	Amount	MAX10		1 取引明細の商品の売価金額(134「売単価」または402「店舗売単価」)×406「店舗出荷数量(バラ)」の足し上げ)。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は売単価×出荷数量(バラ)、不定貴商品の場合は売単価×出荷重量		
					<発注単位>										
97	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
98	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	個、ケース、バック、g、Kg	○	
99	155	数量			発注荷姿コード		任意	数字	Code	2		納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース(この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる) この項目で卸/メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	O1:バラ、O2:ボール、O3:ケース、O4:パレット、O5:バンドル	○	
100	327	重量			取引単位重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10		卸売市場等で取引される単位重量(5Kg、10kgなど)			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(13)集計表作成データ(出荷)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
101	313	商品関連			単価登録単位		任意	数字	Code	2		不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
102	314	商品関連			商品重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8		商品コードアイテム重量。発注数量(バラ)1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			
					<出荷数量>										
103	159	数量			出荷数量(バラ)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。406「店舗出荷数量(バラ)」の足し上げ。出荷時に卸/メーカー側がセット			
104	160	数量			出荷数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細(発注)単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。407「店舗出荷数量(発注単位数)」の足し上げ。出荷時に卸/メーカー側がセット			
105	328	重量			出荷重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。出荷時の確定重量。			
					<欠品数量>										
106	165	数量			欠品数量(バラ数)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細(発注)単位の卸/メーカー側の欠品数(納品不足数)。バラ数量換算。409「店舗欠品数量(バラ数)」の足し上げ。出荷時に卸/メーカー側がセット	欠品数量		
107	166	数量			欠品数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細(発注)単位の卸/メーカー側の欠品数(納品不足数)。発注単位換算。410「店舗欠品数量(発注単位数)」の足し上げ。出荷時に卸/メーカー側がセット			
					<最終納品先>										
108		番号			最終納品先明細番号		必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味			
109	31	登場人物：小売			最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす独自コード。小売側が指定。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗コード		
110	33	登場人物：小売			最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
111	34	登場人物：小売			最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。			
					<物流関連印字内容>										
112	66	登場人物：卸/メーカー <物流関連>			バーコード情報		任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
113	67	登場人物：卸/メーカー <物流関連>			カテゴリ名称1(印字用)		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。			
114	68	登場人物：卸/メーカー <物流関連>			カテゴリ名称2(印字用)		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。			
115	69	登場人物：卸/メーカー <物流関連>			最終納品先略称(印字用)		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
116	233	コメント			ラベル自由使用欄(印字用)		任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
117	234	コメント			ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目(半角カナ)。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
					<店舗売価>										
118	402	金額			店舗売単価		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の店舗別売価単価。			
119	415	金額			店舗売価金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額〔(134「売単価」または402「店舗売単価」)×406「店舗出荷数量(バラ)」の足し上げ〕。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は売単価×出荷数量(バラ)、不定貴商品の場合は売単価×出荷重量		
					<店舗出荷数量>										
120	406	数量			店舗出荷数量(バラ)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注)、31「最終納品先コード」単位の73「商品コード(発注用)」の出荷数。いわゆるバラ数。	発注単位×出荷数量(発注単位数)		
121	407	数量			店舗出荷数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した出荷数量。152「発注単位」×407「店舗出荷数量(発注単位数)」=406「店舗出荷数量(バラ)」			
122	408	重量			店舗出荷重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		店舗毎の出荷重量 1取引明細番号(発注・返品)、31「最終納品先コード」単位の73「商品コード(発注用)」の出荷重量。	不定貴商品の場合に使用する。出荷時(納品時)の確定重量		
					<店舗欠品数量>										
123	409	数量			店舗欠品数量(バラ数)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注)、31「最終納品先コード」単位で卸/メーカー側の欠品数(納品不足数)。バラ数量換算。出荷時に卸/メーカー側がセット			
124	410	数量			店舗欠品数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細番号(発注)、31「最終納品先コード」単位で卸/メーカー側の欠品数(納品不足数)。発注単位換算。152「発注単位」×410「店舗欠品数量(発注単位数)」=409「店舗欠品数量(バラ数)」出荷時に卸/メーカー側がセット			
125	197	各種区分(決済)			欠品区分		任意	数字	Code	2		1取引明細番号(発注)、31「最終納品先コード」単位で卸/メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足(欠品)が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	○		

※1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
※2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
※3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
※4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(14)集計表作成データ(出荷梱包紐付けあり)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<請求取引先>												
16	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード		
17	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「O」固定			
18	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先名				任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	請求取引先名カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
			<取引先>												
20	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
21	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
22	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先名称				任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
23	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
24	59	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	枝番				任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
25	60	登場人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	出荷先コード				任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	出荷先コード、フローア		
26	63	登場人物：卸／メーカー <物流関連>	出荷場所GLN				任意＊3	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す。取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
27	218	梱包情報	担当者				任意	文字	Text	MAX10		出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名			
28	219	梱包情報	担当者カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX10		出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ）	担当者		
29	220	梱包情報	連絡先(TEL)				任意	英数	Text	MAX12		218「担当者」の電話番号。	連絡先（TEL）		
30	221	梱包情報	連絡先(FAX)				任意	英数	Text	MAX12		218「担当者」のFAX番号。	連絡先（FAX）		
			<直接納品先>												
31	27	登場人物：小売	直接納品先コード				任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。	物流センターコード、店舗コード、		
32	28	登場人物：小売	直接納品先GLN				任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。			
33	29	登場人物：小売	直接納品先名称				任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	30	登場人物：小売	直接納品先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<物流関連指示>												
35	211	梱包情報	取引先出荷日				必須	数字	Date	8		卸／メーカーが商品を出荷した日。	取引先出荷日、ベンダー出荷年月日		
36	102	日付関連	直接納品先納品日				任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。	センター納品日、店着荷指定日		
37	104	日付関連	訂正後直接納品先納品日				任意	数字	Date	8		卸／メーカー側が、受注後、出荷までに27「直接納品先コード」28「直接納品先GLN」への納品日を訂正する場合、訂正後の納品日をセット			
38	125	番号	センター納品書番号				任意	数字	Identifier	MAX10		卸／メーカーが、小売のセンターに納品する際に使用する納品書の番号。	送品書No		
39	213	梱包情報	出荷総梱包数				必須	数字	Quantity	MAX6		出荷（梱包）単位の総梱包数。	取引先出荷梱包数、ベンダー出荷総梱包数		
40	176	各種区分（物流）	便No				任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、便情報、便コード	○	
41	65	登場人物：卸／メーカー <物流関連>	指定納品時刻				任意	数字	Time	6		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'150000'とセットする。	納品時刻		
42	198	各種区分（物流）	輸送手段				任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先への輸送手段（自社便、路線便等）を指定する場合に使用する。	輸送手段	○	
			<発注者>												
43	23	登場人物：小売		発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
44	24	登場人物：小売		発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
45	25	登場人物：小売		発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
46	26	登場人物：小売		発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
			<最終納品先>												
47	31	登場人物：小売		最終納品先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	物流センターコード、店舗コード		
48	32	登場人物：小売		最終納品先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(14)集計表作成データ(出荷梱包紐付けあり)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
49	33	登場人物：小売		最終納品先名称			任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
50	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
51	215	梱包情報		カゴテナNO			任意	数字	Identifier	MAX36		梱包NOがひもつく上位の搬送機器の梱包NO。カゴ車やパレットを想定している。			
				<出荷梱包内容>											
52	216	梱包情報		親梱包NO			任意	数字	Identifier	MAX36		1つの商品で、複数梱包が発生する場合、梱包同士の紐付けを行う区分。 例) テーブルセットのテーブルと椅子 のような別			
53	217	梱包情報		梱包NO			必須	数字	Identifier	MAX36		梱包単位に付けられた№	梱包No.		
54				<陳列場所>											
55	38	登場人物：小売		陳列場所コード			任意＊3	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
56	39	登場人物：小売		陳列場所名称			任意	文字	Text	MAX20		38(連番55)「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
57	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		38(連番55)「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
58	107	日付関連		販促開始日			任意	数字	Date	8		小売店頭の販促(セール)開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸／メーカー側が梱包(SCMラベル等)に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日		
				<物流関連印字内容>											
59	66	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		バーコード情報			任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類(大)、商品分類(中)		
60	67	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		カテゴリ名称1(印字用)			任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。	商品分類(大)名称、商品分類(中)名称		
61	68	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		カテゴリ名称2(印字用)			任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまま入力する。	商品分類(大)名称、商品分類(中)名称		
62	69	登場人物：卸／メーカー <物流関連>		最終納品先略称(印字用)			任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル／付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称		
63	233	コメント		ラベル自由使用欄(印字用)			任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門(売場)名称、発注区分名称、配送温度名称		
64	234	コメント		ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目(半角カナ)。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	窓口数、ラベル発行日、部門(売場)コード、商品コード(発注先)、商品コード(取引先)、商品名、商品分類コード(小)、直接納品日、売出日、入荷許容日、賞味期限、製造日、入数、詰合、便№、出荷日、取引先連絡先(TEL)		
				<取引明細>											
65	121	番号				取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
66	123	番号				取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4		121(連番65)「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
67	101	日付関連				発注日	必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
68	103	日付関連				最終納品先納品日	必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
				<商品>											
69	72	商品関連				商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		
70	73	商品関連				商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
71	74	商品関連				商品コード(取引先)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など、使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
72	75	商品関連				商品コード区分	必須	数字	Code	3		73(連番70)「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
73	87	商品関連				商品分類(大)	必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		
74	88	商品関連				商品分類(中)	必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
75	89	商品関連				商品分類(小)	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類№、品種(商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード(一括伝票)		
76	90	商品関連				商品分類(細)	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU(商品コードの一部)、クラス+サプクラスコード		
77	112	日付関連				賞味期限日	任意	数字	Date	8		商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。			
78	113	日付関連				製造日	任意	数字	Date	8		商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。			
79	126	番号				製造番号	任意	英数	Identifier	MAX16		製品の製造ロット番号。出荷時点で卸／メーカー側がセット。			
				<区分>											
80	171	各種区分(発注)				商品区分	任意	数字	Code	2		定番(プロパ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
81	172	各種区分(発注)				発注区分	任意	数字	Code	2		発注が行われた場所(本部・店舗)や、発注の形態(客注など)を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分(O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等)	○	
82	174	各種区分(発注)				EOS区分	任意	数字	Code	2		小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
83	184	各種区分(決済)				処理種別	任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別(仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることができるようにする。	伝票区分	○	
				<法定管理区分>											
84	337	各種区分(商品)				法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2		当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
				<発注数量>											
85	151	数量				発注数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注・返品)単位での73(連番70)「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
86	152	数量				発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
87	153	数量				発注数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
88	154	数量				発注単位コード	必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個 等)	単位	○	
				<出荷数量>											
89	159	数量				出荷数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細(発注)単位の商品出荷バラ数。出荷時に卸／メーカー側がセット	出荷数量		
90	160	数量				出荷数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細(発注)単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸／メーカー側がセット			
				<原価>											
91	131	金額				原単価	必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
				<売価>											
92	134	金額				売単価	任意＊3	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		
				<ITF情報>											
93	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX16		集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。小売側の入荷検品に使用。ITF-14、ITF-16あるいは納品荷姿に施した集合包装用GTIN。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(14)集計表作成データ(出荷梱包紐付けあり)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
94	212	梱包情報			出荷ケース数		必須	数字	Quantity	MAX6		出荷(梱包)単位の出荷数。出荷(梱包)データ内のITFレコードにセットする。			
95	214	梱包情報			ITF入数(集合包装GTIN入数)		任意※3	数字	Quantity	MAX4		この正補内に商品コード(発注用)がいくつあるかということ。商品コード(発注用)がポールであればケース内ポール数、ハラであればケース内ハラ数。			
					<陳列場所>										
96	38	登場人物：小売			陳列場所コード		任意※3	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに商品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 Gondラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。 梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
97	39	登場人物：小売			陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20		38(連番96)「陳列場所コード」の名称。卸/メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際使用。	売場名称		
98	40	登場人物：小売			陳列場所名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		38(連番96)「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸/メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
99	107	日付関連			販促開始日		任意	数字	Date	8		小売店頭の販促(セール)開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸/メーカー側が梱包(SCMラベル等)に表記して納品。チラシなど、あえて梱包を分ける必要がある場合のみセットする。	売出開始日、売出日		
					<取引明細>										
100	121	番号			取引番号(発注・返品)		必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸/メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
101	123	番号			取引明細番号(発注・返品)		必須	英数	Identifier	MAX4		121(連番100)「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
102	101	日付関連			発注日		必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
103	103	日付関連			最終納品先納品日		必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>										
104	72	商品関連			商品コード(GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		
105	73	商品関連			商品コード(発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
106	74	商品関連			商品コード(取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸/メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
107	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3		73(連番105)「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
108	87	商品関連			商品分類(大)		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		
109	88	商品関連			商品分類(中)		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
110	89	商品関連			商品分類(小)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類№、品種(商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード(一括伝票)		
111	90	商品関連			商品分類(細)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU(商品コードの一部)、クラス+サブクラスコード		
112	112	日付関連			賞味期限日		任意	数字	Date	8		商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限。			
113	113	日付関連			製造日		任意	数字	Date	8		商品(またはその外箱)に印字されている製造年月日。			
114	126	番号			製造番号		任意	英数	Identifier	MAX16		製品の製造ロット番号。出荷時点で卸/メーカー側がセット。			
					<区分>										
115	171	各種区分(発注)			商品区分		任意	数字	Code	2		定番(プロバー)発注or特売(中目目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
116	172	各種区分(発注)			発注区分		任意	数字	Code	2		発注が行われた場所(本部・店舗)や、発注の形態(客注など)を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分(O1本部発注、O2店舗発注、O3センター発注、・・・等)	○	
117	174	各種区分(発注)			EOS区分		任意	数字	Code	2		小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸/メーカーがセット。		○	
118	184	各種区分(決済)			処理種別		任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別(仕入、返品、移動、値引等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<発注数量>										
119	151	数量			発注数量(ハラ)		必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注・返品)単位での73(連番105)「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるハラ数。	数量、発注数		
120	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品ハラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
121	153	数量			発注数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(ハラ)」	発注ケース数、発注単位数		
122	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個等)	単位	○	
					<出荷数量>										
123	159	数量			出荷数量(ハラ)		必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細(発注)単位の商品出荷ハラ数。出荷時に卸/メーカー側がセット	出荷数量		
124	160	数量			出荷数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細(発注)単位の商品出荷の発注単位換算数。出荷時に卸/メーカー側がセット			
					<原価>										
125	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>										
126	134	金額			売単価		任意※3	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		
				<欠品情報>											
127	165	数量			欠品数量(ハラ数)		必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細(発注)単位の卸/メーカー側の欠品数(納品不足数)。ハラ数量換算。出荷時に卸/メーカー側がセット	欠品数量		
128	166	数量			欠品数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細(発注)単位の卸/メーカー側の欠品数(納品不足数)。発注単位換算。出荷時に卸/メーカー側がセット			
129	197	各種区分(決済)			欠品区分		任意	数字	Code	2		卸/メーカー側出荷時に、実出荷数が発注数に不足(欠品)が発生した場合、出荷者がセットするその理由。	欠品理由、欠品区分	○	
					<取引明細>										
130	121	番号			取引番号(発注・返品)		必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸/メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	伝票番号、伝票番号+C/D		
131	123	番号			取引明細番号(発注・返品)		必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行番号、行番号		
132	101	日付関連			発注日		必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
133	103	日付関連			最終納品先納品日		必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
					<商品>										
134	72	商品関連			商品コード(GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O+JANコード(14桁)		
135	73	商品関連			商品コード(発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
136	74	商品関連			商品コード(取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸/メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
137	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3		73(連番135)「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
138	87	商品関連			商品分類(大)		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPT№、群番、グループコード、部門		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(14)集計表作成データ(出荷梱包紐付けあり)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
139	88	商品関連			商品分類 (中)		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など)	売場分類№、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
140	89	商品関連			商品分類 (小)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など)	品揃分類№、品種 (商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード (一括伝票)		
141	90	商品関連			商品分類 (細)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU (商品コードの一部)、クラス+サブクラスコード		
					<区分>										
142	171	各種区分 (発注)			商品区分		任意	数字	Code	2		定番(プロバー)発注or特売(中目,目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	○	
143	172	各種区分 (発注)			発注区分		任意	数字	Code	2		発注が行われた場所 (本部・店舗) や、発注の形態 (客注など) を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分 (O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等)	○	
144	174	各種区分 (発注)			EOS区分		任意	数字	Code	2		小売からのコンピュータ発注に基づいた出荷データなのかを判別する項目。卸／メーカーがセット。		○	
145	184	各種区分 (決済)			処理種別		任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別 (仕入、返品、移動、値引 等)。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分	○	
					<発注数量>										
146	151	数量			発注数量 (バラ)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号 (発注・返品) 単位での73 (連番135) 「商品コード (発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
147	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
148	153	数量			発注数量 (発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」＝151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
149	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例：K g、c m、個 等)	単位	○	
					<原価>										
150	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
					<売価>										
151	134	金額			売単価		任意＊3	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	売価単価、売単価		

＊1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
＊2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
＊3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
＊4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(15)集計表作成データ(受領)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを を入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。 る。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。 る。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。 る。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
16	23	登録人物：小売	<発注者> 発注者コード				必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
17	24	登録人物：小売	発注者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
18	25	登録人物：小売	発注者名称				任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
19	26	登録人物：小売	発注者名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
20	121	番号	<取引> 取引番号（発注・返品）				必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
21	122	番号	取引付属番号				任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元佐NO、配達伝票番号など）	企画番号、外注No		
22	27	登録人物：小売	<直接納品先> 直接納品先コード				任意*3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
23	28	登録人物：小売	直接納品先GLN				任意*3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
24	29	登録人物：小売	直接納品先名称				任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
25	30	登録人物：小売	直接納品先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
26	38	登録人物：小売	<陳列場所> 陳列場所コード				任意*3	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ道路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
27	39	登録人物：小売	陳列場所名称				任意	文字	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
28	40	登録人物：小売	陳列場所名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		38「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
29	55	登録人物：卸／メーカー <請求支払関連>	<取引先> 取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
30	56	登録人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合はひをセットする		
31	57	登録人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先名称				任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
32	58	登録人物：卸／メーカー <請求支払関連>	取引先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
33	59	登録人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	枝番				任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括りを分ける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
34	60	登録人物：卸／メーカー <ブレイク集計調整関連>	出荷先コード				任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
35	63	登録人物：卸／メーカー <物流関連>	<物流関連指示> 出荷場所GLN				任意*3	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷地点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。			
36	175	各種区分（物流）	納品経路				任意	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、00無指定、01店舗直納、02センター納品	○	
37	176	各種区分（物流）	便No				任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配達便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、00無指定、01～09:1～9便 等	○	
38	177	各種区分（物流）	通過在庫区分				任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品後、卸、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	00無指定、01.TC、02.携りDC、03.買取DC	○	
39	178	各種区分（物流）	納品区分				任意	数字	Code	2		卸／メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品別納品なのかを表す。	00無指定、01.総量納品、02.別納品	○	
40	65	登録人物：卸／メーカー <物流関連>	指定納品時刻				任意	数字	Time	6		小売が卸／メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら'15:00:00'とセットする。	納品時刻		
41	87	商品関連	<取引内容> 商品分類（大）				必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(03:青果、04:水産、05:食肉 等)		
42	88	商品関連	商品分類（中）				必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分類		
43	101	日付関連	発注日				必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日		
44	102	日付関連	直接納品先納品日				任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日		
45	103	日付関連	最終納品先納品日				必須	数字	Date	8		31「最終納品先コード」への納品日。	店舗納品日、納品指定日		
46	106	日付関連	計上日				任意	数字	Date	8		小売側の仕入計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日		
47	171	各種区分（発注）	商品区分				任意	数字	Code	2		定番（プロパ）発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（01:定番、02:準特価、03:特売（チラシ））	○	
48	172	各種区分（発注）	発注区分				任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（密注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（01:本部発注、02:店舗発注、03:センター発注、・・・等）	○	
49	182	各種区分（商品）	配送温度区分				任意	数字	Code	2		温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	01:常温、02:チルド、03:冷蔵、04:冷凍、05:超冷凍	○	
50	336	各種区分（商品）	バック区分				任意	数字	Code	2		食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。	○	生鮮	
51	334	各種区分（商品）	不定費区分				任意	数字	Code	2		定費・不定費を表す区分	○	生鮮	
52	231	コメント	自由使用欄				任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
53	232	コメント	自由使用欄半角カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
54	133	金額	<取引合計> 原価金額合計				任意	数字	Amount	MAX10					
55	136	金額	売価金額合計				任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ			
56	138	金額	税額合計金額				任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ			
57	157	数量	数量合計				任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。			
58	158	数量	発注単位数量合計				任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号（発注）単位の162「受領数量（バラ）」の合計。 1取引番号（発注）単位の163「受領数量（発注単位数）」の合計。	発注数量（バラ）の合計。（小数点以下2桁有り） 発注数量（発注単位数）の合計		
59	331	重量	重量合計				任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX13		不定費商品の場合に使用する。1取引番号（発注）単位の重量の合計。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(15)集計表作成データ(受領)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
				<取引明細>											
60	123	番号			取引明細番号(発注・返品)		必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No.、行番号、発注伝票行番号		
61	124	番号			取引付属明細番号		任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号			
62	89	商品関連			商品分類(小)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類		
63	90	商品関連			商品分類(細)		任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品番分類		
64	179	各種区分(物流)			センター納品詳細指示		任意	数字	Code	2		納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕区分分、01:オリコン納品有り、02:オリコン納品無し、03:ソーター使用、04:ソーター未使用、05:その他	○	
					<商品>										
65	72	商品関連			商品コード(GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は0をセットする		
66	73	商品関連			商品コード(発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
67	74	商品関連			商品コード(取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸/メーカーが指定する商品コードを入力する。			
68	75	商品関連			商品コード区分		必須	数字	Code	3		73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。	005EAN/JAN/UCC13桁、9999自社コード 等	○	
69	77	商品関連			商品名		任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
70	78	商品関連			商品名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>										
71	79	商品関連			規格		任意	文字	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の販売荷姿を表す。入数ではない。		
72	80	商品関連			規格カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす(半角カナ)。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
73	315	商品関連			入数		任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。2007/10/5 型桁変更。			
74	302	商品関連			都道府県コード		任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		○	生鮮
75	303	商品関連			国コード		任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		○	生鮮
76	304	商品関連			産地名		任意	文字	Text	MAX20		産地指定して発注する場合の産地名。または出荷時に確定した産地名。			
77	305	商品関連			水産コード		任意	英数	Identifier	2		漁獲水産を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		○	生鮮
78	306	商品関連			水産名		任意	文字	Text	MAX20		漁獲水産を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			
79	307	商品関連			原産エリア		任意	文字	Text	MAX30		国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名(「紀州産」、「カリフォルニア産」など)。水産物の場合は、漁獲した水域名(相模湾、西インド洋など)、水揚げ漁港(焼津港、銚子港など)を表す。	国、都道府県内のエリアを表す		
80	308	商品関連			等級		任意	文字	Text	MAX8		商品のグレードを表す(A、B、C、秀、優、良など)			
81	309	商品関連			階級		任意	文字	Text	MAX8		商品のサイズを表す(L、M、S、大、中、小など)			
82	310	商品関連			銘柄		任意	文字	Text	MAX30		産地銘柄を表す			
83	311	商品関連			商品PR		任意	文字	Text	MAX30		朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品PR、商品特性、おすすめ情報を表す。			
84	312	商品関連			バイオ区分		任意	数字	Code	2		商品栽培時のバイオ技術の適用、非適用を表す区分(遺伝子組み換え)		○	生鮮
85	316	商品関連			品種コード		任意	数字	Code	2		商品の品種を表すコード。		○	生鮮
86	317	商品関連			産種区分		任意	数字	Code	2		産種/天然を表す区分。		○	生鮮
87	318	商品関連			解凍区分		任意	数字	Code	2		解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
88	319	商品関連			商品状態区分		任意	数字	Code	2		商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
89	320	商品関連			形状・部位		任意	文字	Text	5		商品の形状や部位を表す区分(1次加工)。		○	生鮮
90	321	商品関連			用途		任意	文字	Text	MAX20		生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			
					<法定管理区分>										
91	337	各種区分(商品)			法定管理義務商材区分		任意	数字	Code	2		当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
					<原価>										
92	131	金額			原単価		必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
93	132	金額			原価金額		必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額(131「原単価」×162「受領数量/バラ」)。小数点以下のまめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨て、切上げ)	定貴商品の場合は、原単価×受領数量(バラ)、不定貴商品の場合は原単価×受領重量		
					<売価>										
94	134	金額			売単価		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。		
95	135	金額			売価金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額(134「売単価」または402「店舗売単価」×412「店舗受領数量/バラ」)の足し上げ。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を入力する。	定貴商品の場合は売単価×受領数量(バラ)、不定貴商品の場合は売単価×受領重量		
					<発注単位>										
96	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
97	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	個、ケース、パック、g、Kg	○	
98	155	数量			発注荷姿コード		任意	数字	Code	2		納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース(この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる) この項目で卸/メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	01:バラ、02:ボール、03:ケース、04:パレット、05:バンドル	○	
99	327	重量			取引単位重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		卸売市場等で取引される単位重量(5Kg、10kgなど)			
100	313	商品関連			単価登録単位		任意	数字	Code	2		不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
101	314	商品関連			商品重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8		商品コードアイテム重量。発注数量(バラ)1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			
					<受領数量>										
102	162	数量			受領数量(バラ)		必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注)単位の小売側の商品受領数。バラ数量換算。412「店舗受領数量(バラ)」の足し上げ。(卸/メーカー側がセットした『集計表作成データ(出荷)』の163「出荷数量(バラ)」との差異の有無にかかわらずセット)			
103	163	数量			受領数量(発注単位数)		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細(発注)単位の小売側の商品受領数。発注単位換算。413「店舗受領数量(発注単位数)」の足し上げ。(卸/メーカー側がセットした『集計表作成データ(出荷)』の160「出荷数量(発注単位数)」との差異の有無にかかわらずセット)			
104	329	重量			受領重量		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。受領時の確定重量。			
					<最終納品先>										
105	401	番号			最終納品先明細番号		必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号(発注・返品)」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味			
106	31	登場人物:小売			最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす独自コード。小売側が指定。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
107	33	登場人物:小売			最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
108	34	登場人物:小売			最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。			
					<物流関連印字内容>										
109	66	登場人物:卸/メーカー <物流関連>			バーコード情報		任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまゝ印字する情報を入力することを前提とする。			
110	67	登場人物:卸/メーカー <物流関連>			カテゴリ名称1(印字用)		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまゝ入力する。			
111	68	登場人物:卸/メーカー <物流関連>			カテゴリ名称2(印字用)		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリ名称。物流ラベルに印字するカテゴリ名称を印字様式のまゝ入力する。			
112	69	登場人物:卸/メーカー <物流関連>			最終納品先略称(印字用)		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまゝ入力する。	最終納品先名称		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(15)集計表作成データ(受領)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
113	233	コメント				ラベル自由使用欄（印字用）	任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
114	234	コメント				ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目（半角カナ）。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。			
						<店舗売価>									
115	402	金額				店舗売価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の店舗別売価単価。			
116	415	金額				店舗売価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額（「134「売価単価」」×「412「店舗受領数量（バラ）」」の定し上げ）。なお、発注メッセージに小売側がセットした場合には、出荷メッセージ以降に必ず同数値を記入する。	定貴商品の場合は売単価×受領数量（バラ）、不定貴商品の場合は売単価×受領重量		
						<店舗受領数量>									
117	412	数量				店舗受領数量（バラ）	必須	数字	Quantity	MAX7		1取引明細番号（発注）、31「最終納品先コード」単位の小売側の商品受領数。バラ数量換算。（卸／メーカー側が出荷時にセットした『集計表作成データ（出荷）』の406「店舗出荷数量（バラ）」との差異の有無にかかわらずセット）	定貴商品の場合は、発注単位×発注数量（発注単位数）。不定貴商品の場合は、発注単位／単価登録単位×発注数量（発注単位数）。		
118	413	数量				店舗受領数量（発注単位数）	任意	数字	Quantity	MAX6		1取引明細番号（発注）、31「最終納品先コード」単位の小売側の商品受領数。発注単位換算。（卸／メーカー側が出荷時にセットした『集計表作成データ（出荷）』の407「店舗出荷数量（発注単位数）」との差異の有無にかかわらずセット）			
119	414	重量				店舗受領重量	任意	数字 （小数点以下 3桁有り）	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。受領時の確定重量			
120	188	各種区分（決済）				訂正区分	任意	数字	Code	2		小売での検収時に出荷データと実納品との間に差が発生した場合、小売側が受領データにセットする差異理由。			

※1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
※2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
※3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
※4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(16)値札メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
1	1	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
<発行依頼者>															
16	値札1	登場人物・発行依頼者	発行依頼者コード				必須	数字	Identifier	MAX13		値札の発行を依頼する企業を表す独自コード。商品の発注企業と同じ場合は小売となる。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
17	値札2	登場人物・発行依頼者	発行依頼者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		値札の発行を依頼する企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
18	値札3	登場人物・発行依頼者	発行依頼者名称				任意	文字	Text	MAX20		値札1「発行依頼者コード」の名称。発行者／値札納入先で社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
19	値札4	登場人物・発行依頼者	発行依頼者名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		値札1「発行依頼者コード」のカナ名称。発行者／値札納入先で社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
<発行者>															
20	値札5	登場人物・発行者	発行者コード				必須	数字	Identifier	MAX13		値札発行を行う企業を表す独自コード。値札発行業者が値札発行を行う場合は値札発行業者、卸／メーカーが値札発行を行う場合は卸／メーカーとなる。			
21	値札6	登場人物・発行者	発行者GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		値札発行を行う企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定			
22	値札7	登場人物・発行者	発行者名称				任意	文字	Text	MAX20		値札5「発行者コード」の名称。発行依頼者で社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
23	値札8	登場人物・発行者	発行者名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		値札5「発行者コード」のカナ名称。発行依頼者で社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
24	値札9	登場人物・発行者	発行場所				任意	数字	Identifier	MAX13		値札発行場所を表す項目。1つの発行者コードの中で、値札発行依頼情報の括りを分ける場合に発行者コードの下階層の区分けコードとして使用する。	発行場所、作業場所、発行場所マーク、配達区分		
<値札納入先>															
25	値札10	登場人物・値札納入先	値札納入先コード				必須	数字	Identifier	MAX13		値札を納入する企業を表す独自コード。アパレル企業に値札を納品する場合はアパレル企業となる。	取引先コード、仕入先コード		
26	値札11	登場人物・値札納入先	値札納入先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		値札を納入する企業を表すGLN。			
27	値札12	登場人物・値札納入先	値札納入先名称				任意	文字	Text	MAX20		値札10「値札納入先コード」の名称。発行依頼者、発行者で社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
28	値札13	登場人物・値札納入先	値札納入先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		値札10「値札納入先コード」のカナ名称。発行依頼者、発行者で社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
29	値札14	登場人物・値札納入先	値札納入先枝番				任意	英数	Identifier	MAX2		一つの値札納入先コードの中で、明細データの括りを分ける場合に値札納入先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。			
30	値札15	登場人物・値札納入先	値札納入場所				任意	数字	Identifier	MAX13		値札納入場所を表す項目。1つの値札納入先コード＋値札納入先枝番の中で、明細データの括りを分ける場合に値札納入先枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	値札受渡場所		
<値札発行依頼情報>															
31	値札16	番号		発行依頼番号			必須	数字	Identifier	MAX10		発行依頼者が発行者に値札発行を依頼する際の識別番号。	発行依頼書番号、値札作成番号		
<値札様式>															
32	値札17	各種区分（値札）		値札台紙			必須	英数	Code	3		発行する値札台紙の種類を表す。JIS12号札、JIS22号札など。	札種、シール区分、タグ種、値札種類	○	
33	値札18	各種区分（値札）		値札用途			必須	数字	Code	2		発行する値札の用途を表す。プロバー札、セール札など。	値札区分、値札識別フラグ、	○	
<発行依頼内容>															
34	値札19	各種区分（値札）		値札受渡方法			任意	数字	Code	2		<発行者>から<値札納入先>へ値札を受け渡す方法（手渡、配達など）を表す。小売―値札発行業者双方合意の上で、小売側でセツトする。	値札受渡方法、受渡区分、値札受渡場所、配達先コード	○	
35	値札20	日付関連		値札作成依頼日			必須	数字	Date	8		小売側の値札発行依頼日。	（値札）発注日		
36	値札21	日付関連		値札納入日			任意	数字	Date	8		<値札納入先>への値札納品日。<値札納入先>に値札を納入する日付を指定する場合に<発行者>が入力する。	納入年月、値札お渡し日		
37	231	コメント		自由使用欄			任意	文字	Text	MAX60		値札発行に際する配達番号など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま参照するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
38	232	コメント		自由使用欄半角カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		値札発行に際する配達番号など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま参照するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
<値札発行依頼明細>															
39	値札22	番号		発行依頼明細番号			必須	数字	Identifier	MAX10		値札16「発行依頼番号」の中の、印字する値札単位の明細番号。			
<発行数量>															
40	値札23	数量		値札発行数量			任意	数字	Quantity	MAX6		1明細ごとの値札発行数量。	値札発行枚数、マークダウンシール枚数		
<価格表示方法>															
41	値札24	各種区分（値札）		値札レイアウト種別			任意	数字	Identifier	2		同一値札台紙、同一用途で複数の印字レイアウトが存在する場合に印字レイアウトを識別する。発行依頼者―発行者間の事前の取り決めに従う。			
42	値札25	各種区分（値札）		価格表示区分			任意	数字	Code	2		値札への価格表示方法を識別するためのコード。	本体表示価格区分、税込表示	○	
<印刷内容（商品）>															
43	値札26	印字関連		メーカーコード（印刷用）			任意	文字	Text	MAX30		値札に印字する商品コード。値札に印字する商品コードを印字様式のまま入力する。	メーカーコード（3桁の独自コード）		
44	値札27	印字関連		商品コード（印刷用）			任意	文字	Text	MAX30		値札に印字する商品コード。値札に印字する商品コードを印字様式のまま入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番、自社商品コード、メーカー品番		
45	値札28	印字関連		商品名（印刷用）			任意	文字	Text	MAX30		値札に印字する商品名称。値札に印字する商品名を印字様式のまま入力する。	商品名		
<印刷内容（カラー）>															
46	値札29			カラーコード（印刷用）			任意	英数	Identifier	MAX10		値札に印字するカラーを示すコード。値札にそのまま印字する他、事前に取り決めたコード体系に従い、印刷時にカラー名称に変換して印字する場合にも用いる。			
47	値札30	印字関連		カラー（印刷用）			任意	文字	Text	MAX30		値札に印字するカラー名称。値札に印字するカラー名称を印字様式のまま入力する。	カラー名称		
<印刷内容（サイズ）>															
48	値札31			サイズコード（印刷用）			任意	英数	Identifier	MAX10		値札に印字するサイズを示すコード。値札にそのまま印字する他、事前に取り決めたコード体系に従い、印刷時にサイズ名称に変換して印字する場合にも用いる。			
49	値札32	印字関連		サイズ（印刷用）			任意	文字	Text	MAX30		値札に印字するサイズ名称。値札に印字するサイズ名称を印字様式のまま入力する。	サイズ名称		
<印刷内容（価格）>															
50	値札33	印字関連		価格①（税込）			必須	数字	Amount	MAX10		値札に印字する販売価格の税込金額。	本体価格		
51	値札34	印字関連		価格①（税抜）			任意	数字	Amount	MAX10		値札に印字する販売価格の税抜金額。	標準売価、表示売価、タグ売価（税込）、値下げ売価、マークダウン売価、消し札売価		
52	値札35	印字関連		価格②（税込）			任意	数字	Amount	MAX10		値札に印字する販売価格以外の税込価格。値札に価格①（税込）以外の税込価格を印字する場合に利用する。消札元売価、値下前売価など。			
53	値札36	印字関連		価格②（税抜）			任意	数字	Amount	MAX10		値札に印字する販売価格以外の税抜価格。値札に価格①（税抜）以外の税込価格を印字する場合に利用する。消札元売価、値下前売価など。	消し札元売価		
<印字内容（バンドル形態）>															
54	値札37	印字関連		バンドルコード（印刷用）			任意	英数	Identifier	MAX10		値札に印字するバンドル情報を示すコード。値札にそのまま印字する他、事前に取り決めたコード体系に従い、印刷時にバンドル名称に変換して印字する場合にも用いる。	販促区分、切り売り区分		
55	値札38	印字関連		バンドル名称（印字用）			任意	文字	Text	MAX50		値札に印字する商品の販売形態。よりどり〇品、〇組売り、切り売りなど、を印字様式のまま入力する。	販売形態、バンドル		
<印字内容（自由使用）>															
<バーコード>															

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(16) 値札メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
56	値札39	印字関連				バーコードNo.	任意＊3	数字	Identifier	MAX2		繰り返し項目であるバーコード情報を識別する番号。印字位置を取り決める際のラベル情報としても利用する。			
57	値札40	印字関連				バーコード情報	任意	数字	Identifier	MAX14		値札に印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	中分類＋品番＋JAN2桁、仕入区分＋SKU組合せコード、JAN、バーコード売価、販売コード＋部門コード＋税込価格、アイテムコード＋小分類＋売価＋サイズカラー 短縮		
58	値札41	印字関連				<印字情報> 印字No.	任意＊3	数字	Identifier	MAX2		繰り返し項目である印字内容を識別する番号。印字位置を取り決める際のラベル情報としても利用する。			
59	値札42	印字関連				印字内容	任意	文字	Text	MAX50		値札に印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。 そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	マインドコード、コミ品番区分、期週、販売開始週No、販売終了週No、リオーダー納品月、発注区分、追加区分、データ区分、ニチリウ区分、グルーピングコード、値札メッセージ、販売期間(販売終了日)、販売終了週No、販売終了日、販売完了年月、商品分類(大)、品番コード、群番、グループコード、部門、カテゴリ、素材コード、品種、商品分類(中)、ユニットコード、中分類、品番、クラス、品番コード、JAN2桁、小分類、短縮SKU、フェイスNo、ラインコード、陳列グルーピング、ヒューマン		
60	121	番号				<発注商品情報> 取引番号(発注・返品)	任意	数字	Identifier	MAX10		小売が卸／メーカーに行う発注の単位。伝票番号と同じ意味。 発注メッセージから数量を把握する場合など、関連する発注情報を特定するために利用する。	発注書No、発注数量、伝票番号		
61	123	番号				取引明細番号(発注・返品)	任意	数字	Identifier	MAX4		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている121「取引番号」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味。 発注メッセージから数量を把握する場合など、関連する発注情報を特定するために利用する。	伝票行番号、行番号		
62	101	日付関連				<取引内容> 発注日	任意	数字	Date	8		小売側の商品発注日。(商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。)	発注日		
63	102	日付関連				直接納品先納品日	任意	数字	Date	8		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。アパレル・生鮮商材以外の場合、必須項目となる。預りDCから納品する際の項目のセット方法については、次年度以降継続して検討を行う。	センター納品日、店着荷指定日		
64	103	日付関連				最終納品先納品日	任意	数字	Date	8		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店納品指定日、納入日、納品日		
65	31	登場人物：小売				<最終納品先> 最終納品先コード	任意	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	物流センターコード、店舗コード		
66	32	登場人物：小売				最終納品先コードGLN	任意	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所(小売の物流センター又は店舗)をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
67	33	登場人物：小売				最終納品先名称	任意	文字	Text	MAX20		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている31「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
68	34	登場人物：小売				最終納品先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
69	63	登場人物：卸／メーカー <物流関連>				<物流関連指示> 出荷場所GLN	任意	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す、取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め(契約)により卸／メーカー側が指定。			
70	38	登場人物：小売				<陳列場所> 陳列場所コード	任意	英数	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。 gond プ通過番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。梱包を分けるためのキーとしてセットする。	納品カテゴリ、カテゴリコード		
71	39	登場人物：小売				陳列場所名称	任意	文字	Text	MAX20		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている38「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
72	40	登場人物：小売				陳列場所名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている38「陳列場所コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。			
73	87	商品関連				<商品分類> 商品分類(大)	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	DPTNo、群番、グループコード、部門		
74	88	商品関連				商品分類(中)	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	売場分類No、地区、部門コード、日流経由区分、デパート		
75	89	商品関連				商品分類(小)	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	品揃分類No、品種(商品コードの一部)、ラインコード、ライン、店コード(一括伝票)		
76	90	商品関連				商品分類(細)	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。(DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など)	関係会社分類コード、SKU(商品コードの一部)、クラス＋サプクラスコード		
77	71	商品関連				<商品> メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合(リポート管理等)に使用。	メーカーコード(3桁の独自コード)		
78	72	商品関連				商品コード(GTIN)	任意	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定	JANコード、頭O＋JANコード(14桁)		
79	73	商品関連				商品コード(発注用)	任意	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS(社内コード)		
80	74	商品関連				商品コード(取引先)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
81	75	商品関連				商品コード区分	任意	数字	Code	3		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。		○	
82	77	商品関連				商品名	任意	文字	Text	MAX25		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている73「商品コード(発注用)」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
83	78	商品関連				商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている73「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	商品名称		
84	79	商品関連				<商品規格> 規格	任意	文字	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
85	80	商品関連				規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
86	81	商品関連				<カラー> カラーコード	任意	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。	カラーコード		
87	83	商品関連				カラー名称	任意	文字	Text	MAX20		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
88	84	商品関連				カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている81「カラーコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	カラー名称		
89	82	商品関連				<サイズ> サイズコード	任意	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。	サイズコード		
90	85	商品関連				サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
91	86	商品関連				サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30		発注メッセージと紐付けて使用する場合、該当する発注メッセージでセットされている82「サイズコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	サイズ名称		
92	131	金額				<原価> 原単価	任意	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
93	134	金額				<売価> 売単価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。	売価単価、売単価		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(17)発注予定メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH														
1	11	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。 <b>23</b> 「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社をもち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は <b>24</b> 「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社をもち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		<b>23</b> 「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		<b>23</b> 「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（発注・返品）		必須	数字	Identifier	MAX10		小売側が卸／メーカーに行う発注、返品の単位。 伝票番号と同じ意味	発注伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1 取引番号ごとに小売側が付番。（例：客注番号、外注番号、特売企画NO、返品許可証番号、受領後の訂正で使う元伝NO、配達伝票番号など） ※ただし、発注予定メッセージの場合は、「管理番号」（小売の管理用の番号。各社のコード体系に従って付番できる）を付番するために使用する。	企画番号、外注No		
24	発注予定1	各種区分		期間区分		必須	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、発注予定の期間が週なのか、月なのか、任意期間なのか、また発注予定の数量が指定期間の日別なのか、指定期間の合計なのかを示す区分。		○	
25	発注予定2	各種区分		店集計区分		必須	数字	Code	2		小売が卸／メーカーに対し、発注予定の数量集計が発注者別なのか、直接納品先別なのか、最終納品先別なのかを示す区分。		○	
26	発注予定3	日付関連		納品予定開始日		任意	数字	Date	8		納品予定の開始日を表すために使用する。			
27	発注予定4	日付関連		納品予定終了日		任意	数字	Date	8		納品予定の終了日を表すために使用する。			
				<直接納品先>										
28	27	登場人物：小売		直接納品先コード		任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
29	28	登場人物：小売		直接納品先GLN		任意＊3	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
30	29	登場人物：小売		直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		<b>27</b> 「直接納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
31	30	登場人物：小売		直接納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		<b>27</b> 「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
				<最終納品先>										
32	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
33	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定			
34	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		<b>31</b> 「最終納品先コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		
35	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		<b>31</b> 「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
				<計上部署>										
36	35	登場人物：小売		計上部署コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード <b>27</b> 「直接納品先コード」または <b>31</b> 「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
37	36	登場人物：小売		計上部署GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。 <b>28</b> 「直接納品先GLN」または <b>32</b> 「最終納品先GLN」のいずれか。GLNを使用しない場合は「0」固定			
38	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		<b>35</b> 「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
				<陳列場所>										
39	38	登場人物：小売		陳列場所コード		任意＊3	数字	Identifier	MAX13		売場の商品陳列場所ごとに納品の括りを分けてもらう場合に、その括りを表す単位として小売が指定。ゴンドラ通路番号、商品分類、等意味は小売側が独自に設定。			
40	39	登場人物：小売		陳列場所名称		任意	文字	Text	MAX20		<b>38</b> 「陳列場所コード」の名称。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称		
41	40	登場人物：小売		陳列場所名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		<b>38</b> 「陳列場所コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーでSCMラベル等に名称を印刷する際に使用。	売場名称カナ		
				<請求取引先>										
42	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は <b>55</b> 「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先コードを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先コードで行うときに使用する。	取引先コード、仕入先コード		
43	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は <b>56</b> 「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1 企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は0をセットする		
44	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		<b>51</b> 「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
45	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		<b>51</b> 「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
				<取引先>										
46	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
47	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は0をセットする		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

2021年度 流通システム標準普及推進協議会

(17)発注予定メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ＊2	コード リスト	商材 ＊4	
48	57	登場人物：卸/メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称			
49	58	登場人物：卸/メーカー 〈請求支払関連〉		取引先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ			
50	59	登場人物：卸/メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		枝番		任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けける場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分			
51	60	登場人物：卸/メーカー 〈ブレイク集計調整関連〉		出荷先コード		任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。				
				<物流関連指示>											
52	63	登場人物：卸/メーカー 〈物流関連〉		出荷場所GLN		任意＊3	数字	Identifier	MAX13		取引先の出荷拠点を表す。取引先側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）により卸/メーカー側が指定。				
53	175	各種区分（物流）		納品経路		任意	数字	Code	2		小売が卸/メーカーに対し、店舗直接納品なのか、センター経由納品かを指定する区分。	ルート区分、00無指定、01:店舗直納、02:センター納品	○		
54	176	各種区分（物流）		便No		任意	数字	Code	2		小売店舗への納品配送便、あるいは納品時間帯を表す。センター納品の場合、便ごとに当事者間で決めた時刻までにセンター納品していただく。	便、00無指定、01～09:1～9便 等	○		
55	177	各種区分（物流）		通過在庫区分		任意	数字	Code	2		卸/メーカーの小売センターへの納品後、卸、センター内で店舗仕分けの上で配送がされるか（通過）、センターに一旦在庫されるか（在庫）を表す。	00無指定、01:TC、02:預りDC、03:買取DC	○		
56	178	各種区分（物流）		納品区分		任意	数字	Code	2		卸/メーカーの小売センターへの納品形態。単品総量納品か単品店別納品なのかを表す。	00無指定、01:総量納品、02:店別納品	○		
57	65	登場人物：卸/メーカー 〈物流関連〉		指定納品時刻		任意	数字	Time	6		小売が卸/メーカーに対し、直接納品先へ納品する時刻を指定する場合に使用する。午後3時なら150000とセットする。	納品時刻			
				<物流関連印字内容>											
58	66	登場人物：卸/メーカー 〈物流関連〉		バーコード情報		任意	数字	Identifier	MAX13		物流ラベルに印字するバーコードを入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	便、納品区分、商品区分、発注区分、出荷データ有無区分、配送温度区分、伝票レス区分、陳列場所コード、商品分類（大）、商品分類（中）			
59	67	登場人物：卸/メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称1（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大）名称、商品分類（中）名称			
60	68	登場人物：卸/メーカー 〈物流関連〉		カテゴリー名称2（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベルに印字するカテゴリー名称。物流ラベルに印字するカテゴリー名称を印字様式のまま入力する。	商品分類（大）名称、商品分類（中）名称			
61	69	登場人物：卸/メーカー 〈物流関連〉		最終納品先略称（印字用）		任意	文字	Text	MAX5		物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称。物流ラベル/付帯帳票に印字する最終納品先略称を印字様式のまま入力する。	最終納品先名称			
62	233	コメント		ラベル自由使用欄（印字用）		任意	文字	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	部門（売場）名称、発注区分名称、配送温度名称			
63	234	コメント		ラベル自由使用欄半角カナ（印字用）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		物流ラベルに印字する文字列を入力する汎用項目（半角カナ）。当事者間の取り決めの上で利用する。そのまま印字する情報を入力することを前提とする。	個口数、ラベル発行日、部門（売場）コード、商品コード（発注先）、商品コード（取引先）、商品名、商品分類コード（小）、直接納品日、売出日、入荷許可日、賞味期限、製造日、入数、結合、便No、出荷日、取引先連絡先（TEL）			
				<取引内容>											
64	87	商品関連		商品分類（大）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	大分類、部門コード(03:青果、04:水産、05:食肉 等)			
65	88	商品関連		商品分類（中）		必須	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類			
66	101	日付関連		発注日		必須	数字	Date	8		小売側の商品発注日。（商品、原価、売価、数量はこの日に確定する。）	発注日			
67	102	日付関連		直接納品先納品日		任意	数字	Date	8		27「直接納品先コード」または28「直接納品先GLN」への納品日。	センター納品日、納品指定日			
68	103	日付関連		最終納品先納品日		任意	数字	Date	8		31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品日。	店舗納品日、納品指定日			
69	106	日付関連		計上日		任意	数字	Date	8		小売側の仕上計上日 返品の場合は返品計上日。この日で債権・債務関係が発生する。	店舗納品日			
70	107	日付関連		販促開始日		任意	数字	Date	8		小売店頭の販促（セール）開始日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸/メーカー側が種包（SCMラベル等）に表記して納品。	売出開始日、売出日			
71	108	日付関連		販促終了日		任意	数字	Date	8		小売店頭の販促（セール）終了日。セール陳列する特売商品の小売側での庫内管理のために、卸/メーカー側が種包（SCMラベル等）に表記して納品。				
72	110	日付関連		取引（発注・返品）データ有効日		任意	数字	Date	8		この取引（発注・返品）の有効年月日。この日までに卸/メーカー側から出荷がされ、小売側に納品がない場合は発注自体を無効とする。				
73	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2		定番(フロバー)発注or特売(中目玉玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態(01:定番、02:準特価、03:特売(チラシ))	○		
74	172	各種区分（発注）		発注区分		任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分(01:本部発注、02:店舗発注、03:センター発注、・・・等)	○		
75	173	各種区分（発注）		出荷データ有無区分		任意	数字	Code	2		小売側が、卸/メーカーの出荷データ作成の要不要を指定する項目。	01:出荷データ作成要、02:出荷データ作成不要	○		
76	333	各種区分（発注）		取引番号区分		任意	数字	Code	2		取引タイプと発番基準を表す区分。		○	生鮮	
77	181	各種区分（商品）		PB区分		任意	数字	Code	2		当該商品が、小売側が開発した独自商品（プライベートブランド商品）か、ナショナルブランド商品かを表す区分。	01:PB商品、02:PB商品以外	○		
78	182	各種区分（商品）		配送温度区分		任意	数字	Code	2		温度により特別な処理を行う場合に告知する項目。配送温度帯指定。季節、小売の保管環境で変化する。	01:常温、02:チルド、03:冷蔵、04:冷凍、05:超冷凍	○		
79	183	各種区分（商品）		酒区分		任意	数字	Code	2		当該発注商品が酒であるかどうかを判別する区分。卸/メーカーでセンターの在庫ロケーションを特定する際に使用。		○		
80	336	各種区分（商品）		バック区分		任意	数字	Code	2		食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮	
81	334	各種区分（商品）		不定費区分		任意	数字	Code	2		定費・不定費を表す区分		○	生鮮	
82	184	各種区分（決済）		処理種別		任意	数字	Code	2		小売で使用する取引の種別（仕入、返品、移動、値引 等）。業界標準コード、もしくは小売独自コードをセットする。小売・卸間でのメッセージ取引の識別には7「メッセージ種」を使用し、処理種別の内容で卸側に判断を求めることが無いようにする。	伝票区分?、01:発注仕入、02:返品、03:移動、04:値引、05:委託、NN:独自	○		
83	186	各種区分（決済）		伝票レス区分		任意	数字	Code	2		小売が卸/メーカーにペーパー伝票作成の要・不要を告知する区分。	01:伝票レス、02:伝票あり	○		
84	201	税		税区分		任意＊3	数字	Code	2		消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	00無指定、01:原価内税、02:原価外税売価内税、03:非課税、04:非課税	○		
85	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3		消費税率を表す。				
86	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。				
87	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出日など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。				
				<取引合計>											
88	133	金額		原価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）単位の原価金額の合計。1取引明細の132「原価金額」の足し上げ				
89	136	金額		売価金額合計		任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）単位の売価金額の合計。1取引明細の135「売価金額」の足し上げ				
90	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引番号（発注・返品）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ				
91	157	数量		数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号（発注）単位の151「発注数量(バラ)」の合計。	発注数量（バラ）の合計。（小数点以下2桁有り）			
92	158	数量		発注単位数量合計		任意	数字	Quantity	MAX6		1取引番号（発注）単位の153「発注数量(発注単位数)」の合計。	発注数量（発注単位数）の合計			
93	331	重量		重量合計		任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX13		不定費商品の場合に使用する。1取引番号（発注）単位の重量の合計。				
				<取引明細>											
94	123	番号			取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号（発注・返品）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味	伝票行No、行番号、発注伝票行番号			
95	124	番号			取引付属明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		122「取引付属番号」の中でさらに商品単位の明細番号を持たせる必要がある場合、小売側が付番。受領後の訂正で使う元取引番号の中の取引明細番号				
96	322	番号			元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10		取引番号が追加・変更になった場合の元の取引番号				
97	323	番号			元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		取引番号が追加・変更になった場合の元の取引明細番号				
98	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	売場分類			
99	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など）	品指分類			
100	109	日付関連			配達予定日	任意	数字	Date	8		配達必要商品の管理上、配達予定日を帳票などに表記してもらう必要がある場合、その日付。	配達予定日			
101	111	日付関連			納品期限	任意	数字	Text	MAX8		31「最終納品先コード」、32「最終納品先GLN」への納品許可日。製品の日付と比較して、入荷を許可する日付。	納品期限、入荷期限			
102	179	各種区分（物流）			センター納品詳細指示	任意	数字	Code	2		納品形態を詳細に指示する場合、センターでの仕分けに必要な項目を告知。	仕分区分、01:オリコン納品有り、02:オリコン納品無し、03:ソーター使用、04:ソーター未使用、05:その他	○		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(17)発注予定メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
					<商品>									
103	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合(リポート管理等)に使用。			
104	72	商品関連			商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は〇をセットする		
105	73	商品関連			商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
106	74	商品関連			商品コード(取引先)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカーが指定する商品コードを入力する。			
107	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3		73「商品コード(発注用)」のコード種を判断する際に使用。	005EAN(JAN)/UC/13桁、999:自社コード 等	〇	
108	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
109	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード(発注用)」に対する名称(半角カナ)。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>									
110	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の販売荷姿を表す。入数ではない。		
111	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格(内容量、重量 等)をあらわす(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
112	315	商品関連			入数	任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。、2007/10/5 型桁変更。			
113	302	商品関連			都道府県コード	任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。		〇	生鮮
114	303	商品関連			国コード	任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。		〇	生鮮
115	304	商品関連			産地名	任意	文字	Text	MAX20		産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			
116	305	商品関連			水域コード	任意	英数	Identifier	2		漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。		〇	生鮮
117	306	商品関連			水域名	任意	文字	Text	MAX20		漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			
118	307	商品関連			原産エリア	任意	文字	Text	MAX30		国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名(「紀州産」、「カリフォルニア産」など)。水産物の場合は、漁獲した水域名(相模湾、西インド洋など)、水揚げ漁港(焼津港、銚子港など)を表す。			
119	308	商品関連			等級	任意	文字	Text	MAX8		商品のグレードを表す(A、B、C、秀、優、良など)			
120	309	商品関連			階級	任意	文字	Text	MAX8		商品のサイズを表す(L、M、S、大、中、小など)			
121	310	商品関連			銘柄	任意	文字	Text	MAX30		産地銘柄を表す			
122	311	商品関連			商品PR	任意	文字	Text	MAX30		朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品PR、商品特性、おすすめ情報を表す。			
123	312	商品関連			パイオ区分	任意	数字	Code	2		商品栽培時のパイオ技術の適用。非適用を表す区分(遺伝子組み換え)		〇	生鮮
124	316	商品関連			品種コード	任意	数字	Code	2		商品の品種を表すコード。		〇	生鮮
125	317	商品関連			養殖区分	任意	数字	Code	2		養殖／天然を表す区分。		〇	生鮮
126	318	商品関連			解凍区分	任意	数字	Code	2		解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		〇	生鮮
127	319	商品関連			商品状態区分	任意	数字	Code	2		商品の保存状態を表す区分。		〇	生鮮
128	320	商品関連			形状・部位	任意	文字	Text	5		商品の形状や部位を表す区分(1次加工)。			
129	321	商品関連			用途	任意	文字	Text	MAX20		生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			
					<カラー>									
130	81	商品関連			カラーコード	任意＊3	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。	カラーコード		
131	83	商品関連			カラー名称	任意	文字	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
132	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	カラー名称		
					<サイズ>									
133	82	商品関連			サイズコード	任意＊3	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。	サイズコード		
134	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
135	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	サイズ名称		
					<原価>									
136	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
137	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額(131「原単価」×151「発注数量(バラ)」)。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨て、切上げ)	定貴商品の場合は、原単価×発注数量(バラ)、不定貴商品の場合は、原単価×発注重量。		
					<売価>									
138	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売価価〇の場合は〇をセットする		
139	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額(134「売単価」×151「発注数量(バラ)」)。	定貴商品の場合は、売単価×発注数量(バラ)、不定貴商品の場合は、売単価×発注重量。		
					<税額>									
140	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の132「原価金額」の消費税額。			
					<発注数量>									
141	151	数量			発注数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注・返品)単位での73「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	発注単位×発注数量(発注単位数)		
142	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
143	153	数量			発注数量(発注単位数)	必須	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×153「発注数量(発注単位数)」=151「発注数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
144	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例:Kg、cm、個 等)	個、ケース、パック、g、Kg	〇	
145	155	数量			発注荷姿コード	任意	数字	Code	2		納品の実梱包形態にそった発注単位を設定している場合に限り、その荷姿を明示。バラ、ボール、ケース(この項目を使用する場合は154「発注単位コード」は必ず「個」になる) この項目で卸／メーカーに対し、納品荷姿の指定をすることはしない。	01:バラ、02:ボール、03:ケース、04:パレット、05:バンドル	〇	
146	326	重量			発注重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			
147	327	重量			取引単位重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX10		卸売市場等で取引される単位重量(5Kg、10kgなど)			
148	313	商品関連			単価登録単位	任意	数字	Code	2		不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		〇	生鮮
149	314	商品関連			商品重量	任意	数字 (小数点以下 3桁有り)	Measure	MAX8		商品コードアイテム重量。発注数量(バラ)1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(18)商品提案(カタログ)メッセージ (19)商品提案(商品マスタ)メッセージ (20)商品提案(価格提案)メッセージ ※商品提案メッセージの「カタログ」「商品マスタ」「価格提案」は同じ階層構造である。

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH															
まとめ															
1	11	データ整合性	送信者ID				必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元				必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID				必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元				必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン				必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID				必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種				必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時				必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID				任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコップを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID				任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコップを作成する。			
メッセージ情報															
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID				必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス				任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数				任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<取引先>												
16	55	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先コード				必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	法人コード		
17	56	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は‘0’をセットする		
18	57	登場人物：卸／メーカー 〈請求支払関連〉	取引先名称				任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	法人名称		
19	58	登場人物：卸／メーカー	取引先名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	法人名称カナ		
			<提案>												
20	商品提案1	番号		管理番号			必須	数字	Identifier	MAX10		小売一卸が双方で企画などを識別するために、相対で定義する番号。			
				<発注者>											
21	23	登場人物：小売		発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
22	24	登場人物：小売		発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。	必須なのでGLN未取得の場合は‘0’をセットする		
23	25	登場人物：小売		発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
24	26	登場人物：小売		発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
				<取引内容>											
25	商品提案2	日付関連		提案日			任意	数字	Date	8		卸／メーカー側の商品提案日 ※2商品提案（商品マスタ）の場合は、データ送信日をセットする。			
26	商品提案3	日付関連		商品提案開始日			必須	数字	Date	8		商品提案の開始日を指定する。※小売一卸における取引の場合は店番日が基準となる。			
27	商品提案4	日付関連		商品提案終了日			必須	数字	Date	8		商品提案の終了日を指定する。※小売一卸における取引の場合は店番日が基準となる。			
28	商品提案5	日付関連		納品週番号			任意	数字	Identifier	2		納品開始日の週番号。チラシやMD企画に対する提案の順に使用する。			
29	商品提案6	日付関連		取引データ有効日			任意	数字	Date	8		商品提案に関する有効期限（採用期限日）。			
30	87	商品関連		商品分類（大）			任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			
31	88	商品関連		商品分類（中）			任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			
32	334	各種区分（商品）		不定異区分			任意	数字	Code	2		定異・不定異を表す区分	○		生鮮
33	201	税		税区分			任意 ※3	数字	Code	2		消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	00:無指定、01:原価内税、02:原価外税価内税、03:非課税、04:不課税	○	
34	202	税		税率			任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Numeric	3		消費税率を表す。			
				<取引明細>											
35	商品提案7	番号		明細番号			必須	英数	Identifier	MAX4		商品提案1「管理番号」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味。			
36	89	商品関連		商品分類（小）			任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			
37	90	商品関連		商品分類（細）			任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			
				<商品>											
38	72	商品関連		商品コード（GTIN）			必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定	必須なので未使用の場合は‘0’をセットする		
39	73	商品関連		商品コード（発注用）			必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
40	74	商品関連		商品コード（取引先）			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカー側が指定する商品コードを入力する。			
41	75	商品関連		商品コード区分			必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	005EAN/JANI/UCC13桁、999:自社コード 等	○	
42	77	商品関連		商品名			任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
43	78	商品関連		商品名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
				<商品規格>											
44	79	商品関連		規格			任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品の販売荷姿を表す。入数ではない。		
45	80	商品関連		規格カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	商品名称		
46	315	商品関連		入数			任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。 2007/10/5 型桁変更。			生鮮
47	302	商品関連		都道府県コード			任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の都道府県コード。または出荷時に確定した都道府県コード。「産地コード」からの名称変更。	○		生鮮
48	303	商品関連		国コード			任意	数字	Code	3		産地指定して発注する場合の国コード。または出荷時に確定した国コード。	○		生鮮
49	304	商品関連		産地名			任意	文字	Text	MAX20		産地指定して発注する場合の産地名称。または出荷時に確定した産地名称。			生鮮
50	305	商品関連		水域コード			任意	英数	Identifier	2		漁獲水域を表すコード。漁獲統計海区に準じた分類とする。	○		生鮮
51	306	商品関連		水域名			任意	文字	Text	MAX20		漁獲水域を表す名称。漁獲統計海区に準じた分類名称とする。			生鮮

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(18)商品提案(カタログ)メッセージ (19)商品提案(商品マスタ)メッセージ (20)商品提案(価格提案)メッセージ ※商品提案メッセージの「カタログ」「商品マスタ」「価格提案」は同じ階層構造である。

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
52	307	商品関連			原産エリア		任意	文字	Text	MAX30		国、都道府県内のエリアを表す。市町村名、その他一般に知られている地名（「紀州産」、「カリフォルニア産」など）。水産物の場合は、漁獲した水域名（相模湾、西インド洋など）、水揚げ漁港（焼津港、銚子港など）を表す。			生鮮
53	308	商品関連			等級		任意	文字	Text	MAX8		商品のグレードを表す（A、B、C、秀、優、良など）			生鮮
54	309	商品関連			階級		任意	文字	Text	MAX8		商品のサイズを表す（L、M、S、大、中、小など）			生鮮
55	310	商品関連			銘柄		任意	文字	Text	MAX30		産地銘柄を表す			生鮮
56	311	商品関連			商品P R		任意	文字	Text	MAX30		朝採り、葉付き、土付き、根付きなど商品に関するこだわりや商品P R、商品特性、おすすめ情報を表す。			生鮮
57	312	商品関連			パイオ区分		任意	数字	Code	2		商品栽培時のパイオ技術の適用、非適用を表す区分（遺伝子組み換え）		○	生鮮
58	316	商品関連			品種コード		任意	数字	Code	2		商品の品種を表すコード。		○	生鮮
59	317	商品関連			養殖区分		任意	数字	Code	2		養殖／天然を表す区分。		○	生鮮
60	318	商品関連			解凍区分		任意	数字	Code	2		解凍を表す区分。店頭販売時の状態を表す。		○	生鮮
61	319	商品関連			商品状態区分		任意	数字	Code	2		商品の保存状態を表す区分。		○	生鮮
62	320	商品関連			形状・部位		任意	文字	Text	5		商品の形状や部位を表す区分（1次加工）。			生鮮
63	321	商品関連			用途		任意	文字	Text	MAX20		生食用・加熱用といった商品の使用用途を表す。			生鮮
64	231	コメント			自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
65	232	コメント			自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60		伝票に表記する配達番号、配達日、売出しなど、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可）。			
					<日付>										
66	商品提案8	日付関連			最終発注日		任意	数字	Date	8		商品提案4「商品提案終了日」に対する最終発注日を表す。※商品提案4「商品提案終了日」－商品提案8「最終発注日」がリードタイムとなる。			
					<取引先詳細>										
67	218	登場人物：卸/メーカー			担当者		任意	文字	Text	MAX10		出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名 ※商品提案メッセージの場合は、問い合わせ窓口となる取引先の担当者名			
68	219	登場人物：卸/メーカー			担当者（カナ）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX10		出荷データ（梱包）に不具合があり、小売側で検品ができない場合等、問い合わせ窓口となる出荷先のシステム担当者名（カナ） ※商品提案メッセージの場合は、問い合わせ窓口となる取引先の担当者名(カナ)			
					<原価>										
69	131	金額			原単価（予定）		必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	定貴商品の場合は、原価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の原価単価を表す。		
70	132	金額			原価金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額（131（連番69）「原単価」（予定）×商品提案10（連番75）「予定数量（バラ）」）。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）	定貴商品の場合は、原単価×発注数量（バラ）、不定貴商品の場合は、原単価×発注重量。		
71	商品提案9	金額			前回単価		任意	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		前回企画時の商品単価を表す。			
					<売価>										
72	134	金額			売単価（予定）		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。	定貴商品の場合は、売価単価を表す。不定貴商品の場合は、単価登録単位の売価単価を表す。売価皿Oの場合はOをセットする		
73	135	金額			売価金額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額（134（連番72）「売単価」（予定）×商品提案10（連番75）「予定数量（バラ）」）。	定貴商品の場合は、売単価×発注数量（バラ）、不定貴商品の場合は、売単価×発注重量。		
					<税額>										
74	137	金額			税額		任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の132（連番70）「原価金額」の消費税額。			
					<予定数量>										
75	商品提案10	数量			予定数量（バラ）		任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7		1取引明細番号（発注・返品）単位での73「商品コード（発注用）」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。 ①商品提案（カタログ）の場合は、取引先の入荷予定数量 ②商品提案（商品マスタ）の場合は、通常はセットしない ③商品提案（価格変更）の場合は、発注者に対する取引可能上限数量			
76	152	数量			発注単位		必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	最低発注ロット数		
77	商品提案11	数量			予定数量（発注単位数）		任意	数字	Quantity	MAX6		定貴商品の場合は、発注単位×発注数量（発注単位数）。不定貴商品の場合は、発注単位／単価登録単位×発注数量（発注単位数）。 発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×商品提案11（連番77）「予定数量(発注単位数)」＝商品提案10（連番75）「予定数量(バラ)」 ①商品提案（カタログ）の場合は、取引先の入荷予定数量 ②商品提案（商品マスタ）の場合は、通常はセットしない ③商品提案（価格変更）の場合は、発注者に対する取引可能上限数量			
78	154	数量			発注単位コード		必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。（例：Kg、cm、個 等）	個、ケース、パック、g、Kg	○	
79	156	数量			出荷荷姿コード		任意	数字	Code	2			01/バラ、02/ボール、03/ケース、04/パレット、05/バンドル	○	
80	商品提案12	重量			予定重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			
81	327	重量			取引単位重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10		卸売市場等で取引される単位重量（5Kg、10kgなど）			生鮮
82	313	商品関連			単価登録単位		任意	数字	Code	2		不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
83	314	商品関連			商品重量		任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX8		商品コードアイテム重量。発注数量（バラ）1個当たりの容量を表す。「内容量」から名称変更。			生鮮
					<店舗情報>										
84	商品提案13	日付関連				納品日	任意	数字	Date	8		最終納品先納品日。商品提案開始日から商品提案終了日の範囲の中で、納品日別に店舗別の原価を優先設定するとき等に使用(特売含む）。			
					<直接納品先>										
85	27	登場人物：小売			直接納品先コード		任意	数字	Identifier	MAX13		卸/メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。	センターコード、店舗コード		
86	28	登場人物：小売			直接納品先GLN		任意	数字	Identifier	MAX13		卸/メーカーが商品を納品する場所（小売の物流センター、店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
87	29	登場人物：小売			直接納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称、店舗名称		
88	30	登場人物：小売			直接納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		27「直接納品先コード」の名称（半角カナ）。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	センター名称カナ、店舗名称カナ		
					<最終納品先>										
89	31	登場人物：小売			最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	店舗コード		
90	32	登場人物：小売			最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
91	33	登場人物：小売			最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。	店舗名称		

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(18)商品提案(カタログ)メッセージ (19)商品提案(商品マスタ)メッセージ (20)商品提案(価格提案)メッセージ ※商品提案メッセージの「カタログ」「商品マスタ」「価格提案」は同じ階層構造である。

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	必須／任意	タイプ	XMLデータ型※1	桁数	引継項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コードリスト	商材※4
92	34	登場人物：小売				最終納品先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称(半角カナ)。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	店舗名称カナ		
						<原価>									
93	131	金額				原単価	必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。			
94	132	金額				原価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価金額(131(連番93)「原単価」×商品提案10(連番98)「予定数量(バラ)」)。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨て、切上げ)			
						<売価>									
95	134	金額				売単価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。			
96	135	金額				売価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価金額(134(連番95)「売単価」×商品提案10(連番98)「予定数量(バラ)」)。			
						<税額>									
97	137	金額				税額	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の132(連番94)「原価金額」の消費税額。			
						<店舗予定数量>									
98	商品提案10	数量				予定数量(バラ)	任意	数字	Quantity	MAX7		1取引明細番号(発注・返品)単位での73「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。 ①商品提案(カタログ)の場合は、取引先の入荷予定数量 ②商品提案(商品マスタ)の場合は、通常はセットしない ③商品提案(価格変更)の場合は、発注者に対する取引可能上限数量			
99	商品提案11	数量				予定数量(発注単位数)	任意	数字	Quantity	MAX6		定貴商品の場合は、発注単位×発注数量(発注単位数)。不定貴商品の場合は、発注単位／単価登録単位×発注数量(発注単位数)。 発注単位換算した発注数量。152「発注単位」×商品提案11(連番99)「予定数量(発注単位数)」＝商品提案10(連番98)「予定数量(バラ)」 ①商品提案(カタログ)の場合は、取引先の入荷予定数量 ②商品提案(商品マスタ)の場合は、通常はセットしない ③商品提案(価格変更)の場合は、発注者に対する取引可能上限数量			
100	商品提案12	重量				予定重量	任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。発注時の推定重量。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(21)納品提案メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) 2	コード リスト	商材 ※4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコップを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコップを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<送信企業>											
16	55	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		納品提案を行う卸/メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
17	56	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		納品提案を行う卸/メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸/メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
18	57	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20		納品提案1「取引先コード」に対する名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	58	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		納品提案1「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
			<発注予定企業>											
20	預り在庫2	登場人物：小売	小売企業コード			必須	数字	Identifier	MAX13		納品提案を受け、商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
21	預り在庫3	登場人物：小売	小売企業GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		納品提案を受け、商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
22	預り在庫4	登場人物：小売	小売企業名称			任意	文字	Text	MAX20		納品提案5「小売企業コード」の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
23	預り在庫5	登場人物：小売	小売企業カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		納品提案5「小売企業コード」の名称（半角カナ）。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
			<取引>											
24	納品提案9	番号		納品提案番号		必須	数字	Identifier	MAX10		卸/メーカー側が小売に行う納品提案の単位。			
				<最終納品先>										
25	31	登場人物：小売		最終納品先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわす独自コード。小売側が指定。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字 等に使用する。	物流センターコード、店舗コード		
26	32	登場人物：小売		最終納品先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		最終的に商品が納品される場所（小売の物流センター又は店舗）をあらわすGLN。小売側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
27	33	登場人物：小売		最終納品先名称		任意	文字	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字等に使用する。			
28	34	登場人物：小売		最終納品先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		31「最終納品先コード」の名称（半角カナ）。卸/メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
				<取引先>										
29	55	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先コード			必須	数字	Identifier	MAX13		納品提案を行う卸/メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、メーカーコード		
30	56	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		納品提案を行う卸/メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸/メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
31	57	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先名称			任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
32	58	登場人物：卸/メーカー <請求支払関連>	取引先名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
33	59	登場人物：卸/メーカー <ブレイク集計調整関連>	枝番			任意	英数	Identifier	MAX2		一つの取引先コードの中で、取引明細データの括り分けられる場合に取引先コードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	発注先区分		
34	60	登場人物：卸/メーカー <ブレイク集計調整関連>	出荷先コード			任意	英数	Identifier	MAX4		55「取引先コード」+59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けを必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、小売側が設定する。	出荷先コード、フロアー		
				<取引内容>										
35	納品提案10	日付関連		発注希望日		必須	数字	Date	8		小売と取引先との間で合意した小売からの商品発注予定日。	発注日		
36	納品提案11	日付関連		最終納品先納品予定日		必須	数字	Date	8		小売と取引先との間で合意した31「最終納品先コード」または32「最終納品先GLN」への納品予定日。	店納品指定日、納入日、納品日		
37	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2		定番(フロバー)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注区分、特売区分、伝票区分	O	
38	172	各種区分（発注）		発注区分		任意	数字	Code	2		発注が行われた場所（本部・店舗）や、発注の形態（客注など）を表す区分。内容はコードリストを参照。	発注区分（O1:本部発注、O2:店舗発注、O3:センター発注、・・・等）	O	
39	201	税		税区分		任意※3	数字	Code	2		消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	税区分	O	
				<取引明細>										
40	納品提案12	番号			納品提案明細番号	必須	英数	Identifier	MAX4		納品提案9「納品提案番号」の中の商品単位の明細番号。			
				<商品>										
41	71	商品関連		メーカーコード		任意	数字	Identifier	MAX13		JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。	メーカーコード（3桁の独自コード）		
42	72	商品関連		商品コード（GTIN）		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「O」固定	JANコード、頭O+JANコード（14桁）		
43	73	商品関連		商品コード（発注用）		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。	商品コード、JANコード、EOS（社内コード）		
44	74	商品関連		商品コード（取引先）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸/メーカー側が指定する商品コードを入力する。	受注者商品コード、取引先品番、品番		
45	75	商品関連		商品コード区分		必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		O	
46	77	商品関連		商品名		任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。			
47	78	商品関連		商品名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸/メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	商品名称		
				<カラー>										
48	81	商品関連		カラーコード		任意※3	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。	カラーコード		
49	83	商品関連		カラー名称		任意	文字	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			

※1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
※2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
※3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
※4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(21)納品提案メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) 2	コード リスト	商材 *4
50	84	商品関連			カラー名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		81「カラーコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	カラー名称		
					<サイズ>									
51	82	商品関連			サイズコード	任意*3	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。	サイズコード		
52	85	商品関連			サイズ名称	任意	文字	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
53	86	商品関連			サイズ名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX30		82「サイズコード」に対する名称(半角カナ)。仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	サイズ名称		
					<原価>									
54	131	金額			原単価	必須	数字 (小数点以下 2 桁有り)	Amount	MAX10		1取引明細の商品の原価単価。	原価単価、原単価		
55	132	金額			原価金額	必須	数字	Amount	MAX10		1 取引明細の商品の原価金額(131「原単価」×納品提案13「納品提案数量(バラ)」)。小数以下のまるめ方法は当事者間で決定(四捨五入、切捨て、切上げ)	原価金額		
					<売価>									
56	134	金額			売単価	任意	数字	Amount	MAX10		1取引明細の商品の売価単価。	売価単価、売単価		
57	135	金額			売価金額	任意	数字	Amount	MAX10		1 取引明細の商品の売価金額(134「売単価」×納品提案13「納品提案数量(バラ)」)。	売価金額		
					<発注数量>									
58	納品提案13	数量			納品提案数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7		1 納品提案明細番号単位での73「商品コード(発注用)」の小売側の発注数。いわゆるバラ数。	数量、発注数		
59	152	数量			発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4		発注に対する納品バラ数単位。発注最低ロット数。取引当事者間で予め取り決め、共有する。	発注単位区分、発注単位数、入数		
60	納品提案14	数量			納品提案数量(発注単位数)	必須	数字	Quantity	MAX6		発注単位換算した納品提案の数量。152「発注単位」×納品提案14「納品提案数量(発注単位数)」＝納品提案13「納品提案数量(バラ)」	発注ケース数、発注単位数		
61	154	数量			発注単位コード	必須	数字	Code	2		発注商品の単位呼称。(例：Kg、cm、個 等)	単位	○	

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(22)POS売上メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) ※2	コード リスト	商材 ※4
SBDH																
1	1	データ整合性	送信者ID					必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元					必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
3	3	データ整合性	受信者ID					必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元					必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン					必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID					必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種					必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時					必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID					任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID					任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報																
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID					必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数					任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<取引先>													
16	55	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	取引先コード					必須	数字	Identifier	MAX13		当該商品を取り扱う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。			
17	56	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	取引先GLN					必須	数字	Identifier	MAX13		当該商品を取り扱う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「O」固定			
18	57	登場人物：卸／メーカー 《請求支払関連》	取引先名称					任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
				<集計期間（集計対象期間）>												
19	POS1	日付関連		集計開始日時				必須	数字	Identifier	MAX14		POSデータの集計開始年月日および時間をセットする。			
20	POS2	日付関連		集計終了日時				必須	数字	Identifier	MAX14		POSデータの集計終了年月日および時間をセットする。			
21	POS3	日付関連		集計単位コード				必須	数字	Code	2		POSデータの集計期間の単位を示す区分。 01：時間帯 02：日 03：週 04：月 05：任意期間 06：レシート単位		O	
22	POS4	コメント		期間情報				任意	文字	Text	20		POSデータを集計する期間で特記したい事項をコメントする場合に使用する。			
				<販売場所>												
					<販売場所情報>											
23	POS5	登場人物：小売		販売場所コード				必須	数字	Identifier	MAX13		POSデータの集計対象となる販売店舗あるいは、複数店舗を集計対象とする場合の販売場所を表す独自コード。			
24	POS6	登場人物：小売		販売場所GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		POSデータの集計対象となる販売店舗あるいは、複数店舗を集計対象とする場合の販売場所を表すGLN。GLNを使用しない場合は「O」固定。			
25	POS7	登場人物：小売		販売場所名称				任意	文字	Text	MAX20		POS5「販売場所コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
26	POS8	登場人物：小売		販売場所情報 1				任意	数字	Identifier	MAX13		販売場所が属する企業や組織、エリア、所在地など各社が管理する販売場所情報をセットする。		企業を表すコード（企業コード、会社コード、カンパニーコード、チェーンコード）	
27	POS9	登場人物：小売		販売場所情報 2				任意	数字	Identifier	MAX13		販売場所が属する企業や組織、エリア、所在地など各社が管理する販売場所情報をセットする。		事業部コード（事業部コード、事業部・部門コード）	
28	POS10	登場人物：小売		販売場所情報 3				任意	数字	Identifier	MAX13		販売場所が属する企業や組織、エリア、所在地など各社が管理する販売場所情報をセットする。		地区／エリアを示すコード（地区コード、部コード、エリアコード）	
29	POS11	登場人物：小売		販売場所情報 4				任意	数字	Identifier	MAX13		販売場所が属する企業や組織、エリア、所在地など各社が管理する販売場所情報をセットする。		所在地コード（行政区画、郵便番号）	
				<販売場所営業情報>												
30	POS12	登場人物：小売		営業開始時間				任意	数字	Identifier	MAX14		販売場所の営業開始時間をセットする。			
31	POS13	登場人物：小売		営業終了時間				任意	数字	Identifier	MAX14		販売場所の営業終了時間をセットする。			
32	POS14	登場人物：小売		開店日／休店日区分				任意	数字	Code	2		POSデータの集計対象となる販売場所の開店日、休店日の区分を表す。 01 開店日 02 休店日		O	
				<買上客数>												
33	POS15	顧客関連		客数1				任意	数字	Numeric	10		販売場所レベル、販売店舗レベル、店内のフロアレベル、売場レベルなど、各社が管理するレベルを設定し買上客数をセットする。			
34	POS16	顧客関連		客数2				任意	数字	Numeric	10		販売場所レベル、販売店舗レベル、店内のフロアレベル、売場レベルなど、各社が管理するレベルを設定し買上客数をセットする。			
35	POS17	顧客関連		客数3				任意	数字	Numeric	10		販売場所レベル、販売店舗レベル、店内のフロアレベル、売場レベルなど、各社が管理するレベルを設定し買上客数をセットする。			
36	POS18	顧客関連		客数4				任意	数字	Numeric	10		販売場所レベル、販売店舗レベル、店内のフロアレベル、売場レベルなど、各社が管理するレベルを設定し買上客数をセットする。			
37	POS19	顧客関連		客数5				任意	数字	Numeric	10		販売場所レベル、販売店舗レベル、店内のフロアレベル、売場レベルなど、各社が管理するレベルを設定し買上客数をセットする。			
				<POS情報>												
38	POS20	番号				POS番号		任意	数字	Numeric	MAX8		POSターミナルの番号			
39	POS21	番号				POSレシート番号		任意	数字	Numeric	MAX15		POSターミナルで発行したレシートの連続番号。			
40	POS22	顧客関連				顧客属性1		任意	英数	Identifier	MAX20		年齢や性別、住所コードなど、各社がPOSデータを集計する単位の顧客属性をセットする。			
41	POS23	顧客関連				顧客属性2		任意	英数	Identifier	MAX20		年齢や性別、住所コードなど、各社がPOSデータを集計する単位の顧客属性をセットする。			
42	POS24	顧客関連				顧客属性3		任意	英数	Identifier	MAX20		年齢や性別、住所コードなど、各社がPOSデータを集計する単位の顧客属性をセットする。			
43	POS25	顧客関連				顧客属性4		任意	英数	Identifier	MAX20		年齢や性別、住所コードなど、各社がPOSデータを集計する単位の顧客属性をセットする。			
44	POS26	顧客関連				販売時刻		任意	数字	Identifier	MAX6		販売した時刻			
				<販売商品情報>												
					<商品分類>											
45	POS27	商品関連				商品分類 1		任意	英数	Identifier	MAX10		各社がPOSデータを集計する単位の商品分類をセットする。 但し、JICFSコードやメカコードなど、各社が必要とするデータをセット可能とする。 発注時と同じ商品分類にはならない場合がある。 他メッセージと同様のデータ型、桁数とする。小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(22)POS売上メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
46	POS28	商品関連				商品分類2		任意	英数	Identifier	MAX10		各社がPOSデータを集計する単位の商品分類をセットする。 但し、JICFSコードやメーカーコードなど、各社が必要とするデータをセット可能とする。 発注時と同じ商品分類にはならない場合がある。 他メッセージと同様のデータ型、桁数とする。小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。 (DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など)			
47	POS29	商品関連				商品分類3		任意	英数	Identifier	MAX10		各社がPOSデータを集計する単位の商品分類をセットする。 但し、JICFSコードやメーカーコードなど、各社が必要とするデータをセット可能とする。 発注時と同じ商品分類にはならない場合がある。 他メッセージと同様のデータ型、桁数とする。小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。 (DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など)			
48	POS30	商品関連				商品分類4		任意	英数	Identifier	MAX10		各社がPOSデータを集計する単位の商品分類をセットする。 但し、JICFSコードやメーカーコードなど、各社が必要とするデータをセット可能とする。 発注時と同じ商品分類にはならない場合がある。 他メッセージと同様のデータ型、桁数とする。小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。 (DPT、クラス、グループ、カテゴリー、ライン、群番 など)			
						<商品コード>										
49	72	商品関連				商品コード (GTIN)		必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位 のGTINをセット。小売側がGTINによる商品識別をしない場合は「0」固定			
50	73	商品関連				商品コード (発注用)		必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
51	74	商品関連				商品コード (取引先)		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸/メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸/メーカ側 が指定する商品コードを入力する。			
						<部門コード>										
52	POS31	番号				部門・レジボタン番号		任意	数字	Identifier	MAX10		各社がPOSデータを集計する単位の部門コードやレジボタン番号などをセットする。			
						<商品属性>										
53	77	商品関連				商品名		任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード (発注用)」に対する商品の名称。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。帳票作成 等に使用する。			
54	79	商品関連				規格		任意	文字	Text	MAX25		商品の規格 (内容量、重量 等) をあらわす。卸/メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
55	81	商品関連				カラーコード		任意	英数	Identifier	MAX10		商品の色を表す独自コード。コード体系は小売が決定。	カラーコード		
56	82	商品関連				サイズコード		任意	英数	Identifier	MAX10		商品のサイズを表す独自コード。コード体系は小売が決定。	サイズコード		
57	POS32	商品関連				販売開始日		任意	数字	Date	8		商品の販売開始日をセットする。			
58	POS33	商品関連				販売終了日		任意	数字	Date	8		商品の販売終了日をセットする。			
						<販売実績情報>										
59	POS34	各種区分					販売形態区分	任意	数字	Code	2		店頭にて販売した商品の売上数量や金額に関して、販売形態 (定番、特売など) を示す区分。 01 定番 02 準特価 (中目) 03 特売 (チラシ) 04 特売 (エンド) 05 プロモーション (値引) 06 プロモーション (割引) 07 値下 08 処分 09 返品 NN 相対	○		
							<原価/売価等>									
60	131	金額					原単価	任意	数字 (小数点以下 2桁有り)	Amount	MAX10		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の原価単価。			
61	POS35	金額					店頭売単価	任意	数字	Amount	MAX10		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の店頭売価単価。			
62	134	金額					売単価	任意	数字	Amount	MAX10		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の売単価。			
63	POS36	金額					値引額	任意	数字	Amount	11		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の値引額。			
64	POS37	金額					割引額	任意	数字	Amount	11		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の割引額。			
65	POS38	各種区分					小売/取引先負担フラグ (区分)	任意	数字	Code	2		POS36「値引額」、POS37「割引額」が小売負担か取引先負担か、小売・取引先双方の負担かを示す区分。 01 小売負担 02 取引先負担 03 小売/取引先双方負担	○		
66	POS39	数量					売上数量	任意	数字	Quantity	MAX10		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の売上数量			
67	POS40	金額					売上金額	任意	数字	Amount	MAX10		POS34「販売形態区分」で選択された販売形態に対する商品の売上金額			
						<取引実績情報>										
68	POS41	各種区分					取引実績区分	任意	数字	Code	2		商品の取引実績を表す区分。 01 発注 02 仕入 03 期首在庫 04 期末在庫 05 棚卸在庫 06 移動 07 取引先返品 08 廃棄 09 売価変更 NN 相対	○		
							<金額/数量>									
69	POS42	数量					数量	任意	数字	Quantity	MAX10		POS41「取引実績区分」で選択された情報に対する商品の数量。			
70	POS43	金額					金額	任意	数字	Amount	MAX10		POS41「取引実績区分」で選択された情報に対する商品の金額。			
						<分析情報>										
71	POS44	各種区分					分析情報区分	任意	数字	Code	2		商品に対する各種データの分析結果を表す区分。 01 客数 02 構成比 03 粗利益率 04 粗利益高 05 期間内商品順位 06 期間内商品ランク NN 相対	○		
							<分析数値>									
72	POS45	数値					数値	任意	数字	Numeric	MAX10		POS44「分析情報区分」で選択された情報に対する商品の分析値。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(23)在庫補充勧告メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ※2	コード リスト	商材 ※4
SBDH																
1	1	データ整合性	送信者ID					必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元					必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID					必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元					必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン					必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID					必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種					必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時					必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID					任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID					任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			
メッセージ情報																
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID					必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数					任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<取引先>													
16	55	登場人物： 卸／メーカー	取引先コード					必須	数字	Identifier	MAX13		センターに入庫を行う（センターと取引を行っている）卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決めに より、卸／メーカーまたはセンターが指定。			
17	56	登場人物： 卸／メーカー	取引先GLN					必須	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合 は「0」を固定。			
18	57	登場人物： 卸／メーカー	取引先名称					任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	58	登場人物： 卸／メーカー	取引先名称カナ					任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
			<取引>													
20	預り在庫1	番号		取引番号				必須	数字	Identifier	MAX10		センターが卸・メーカーに行う在庫補充勧告の単位。（代行発注をおこなっている場合は発注番号と同じ）			
				<小売>												
21	預り在庫2	登場人物：小売		小売コード				必須	数字	Identifier	MAX13		センター在庫の出荷先を識別するための小売企業を表す独自コード。			
22	預り在庫3	登場人物：小売		小売GLN				必須	数字	Identifier	MAX13		小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
23	預り在庫4	登場人物：小売		小売名称				任意	文字	Text	MAX20		預り在庫2「小売コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
24	預り在庫5	登場人物：小売		小売名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		預り在庫2「小売コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、あるい は社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
				<センター>												
25	預り在庫6	登場人物：センター		センターコード				必須	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカが商品を入庫する（卸／メーカーと取引を行っている）センターを表す独自コード。事前の取決めに より卸／メーカーまたはセンターが指定。			
26	預り在庫7	登場人物：センター		センターGLN				必須	数字	Identifier	MAX13		センターを表すGLN。センター側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
27	預り在庫8	登場人物：センター		センター名称				任意	文字	Text	MAX20		預り在庫6「センターコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
28	預り在庫9	登場人物：センター		センター名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		預り在庫6「センターコード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用す る。			
				<入庫経路／商品区分>												
29	預り在庫10	各種区分（物流）		入庫経路				任意	数字	Code	2		センター入庫において、直接の取引関係のないメーカーからの入庫か、卸からの入庫かを指定する区分。 （区分：01、メーカー入庫、02、卸入庫）		○	
30	171	各種区分（商品）		商品区分				任意	数字	Code	2		定番OR特売を表す区分。（区分：01、定番、02、準特価、03、特売（チラシ））		○	
				<メーカー>												
31	預り在庫11	登場人物：メーカー		メーカーコード				任意	数字	Identifier	MAX13		メーカー企業を表す独自コード。メーカーがセンターに直接入庫をおこなう場合にこの項目を使用する。			
32	預り在庫12	登場人物：メーカー		メーカーGLN				任意	数字	Identifier	MAX13		メーカー企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
33	預り在庫13	登場人物：メーカー		メーカー名称				任意	文字	Text	MAX20		預り在庫11「メーカーコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	預り在庫14	登場人物：メーカー		メーカー名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		預り在庫11「メーカーコード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、ある いは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
				<入庫予定日／受付期限>												
35	預り在庫15	日付関連		センター入庫予定日				必須	数字	Date	8		預り在庫6「センターコード」または預り在庫7「センターGLN」に対しての、入庫予定日。			
36	預り在庫16	日付関連		センター入庫受付期限				任意	英数	Text	MAX8		預り在庫6「センターコード」または預り在庫7「センターGLN」において入庫を受け付ける日付あるいは入庫 を受け付ける期間。センターが入庫予定メッセージを保持する期限として設定。			
				<取引明細>												
37	預り在庫17	番号			取引明細番号			必須	数字	Identifier	MAX4		預り在庫1「取引番号」の中の商品単位の明細番号。			
					<商品>											
38	72	商品関連			商品コード（GTIN）			必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単 位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定。			
39	73	商品関連			商品コード（発注用）			必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで入庫される商品が特定される。			
40	74	商品関連			商品コード（取引先）			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。			
41	75	商品関連			商品コード区分			必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		○	
42	77	商品関連			商品名			任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。帳票作成等に使用する。			
43	78	商品関連			商品名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場 合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>											
44	79	商品関連			規格			任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
45	80	商品関連			規格カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示 に使用する。			
					<在庫関連指標>											
46	預り在庫18	数量			上限在庫数			任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX10		センターが在庫を行う上限数量（商品コード（発注用）に対する数量）			
47	預り在庫19	数量			発注点数			任意	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX10		センターが補充勧告を行う場合の在庫基準数（商品コード（発注用）に対する数量）			
48	預り在庫 20	日付関連			入庫許容日			任意	英数	Text	MAX8		小売側との商品単位の取決めによって定められた入庫の許容日（製造年月日から〇ヶ月・賞味期限〇週間以内 など）に使われる年月日			

※1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
※2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
※3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
※4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

(23)在庫補充勧告メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ＊2	コード リスト	商材 ＊4
					<補充勧告数量>											
49	預り在庫 21	数量			補充勧告数量（バラ）			必須	数字 （小数点以下 1 桁有り）	Quantity	MAX7		卸・メーカーからセンターに対する1取引番号・商品コード単位の補充勧告数。バラ数量。			
					<入庫荷姿情報>											
50	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)		任意	数字	Identifier	MAX16		集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。センター側の入庫検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
51	214	数量				I T F 入数（集合包装G T I N入数）		任意	数字	Quantity	MA X4		この正欄内に商品コードがいくつあるかということ。商品コード（発注用）がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			
52	預り在庫 22	数量				補充勧告数量（入庫荷姿数）		任意*3	数字	Quantity	MA X6		1取引明細単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。			

預り在庫22(連番52)「補充勧告数量(入庫荷姿)」は選択必須。214(連番51)「ITFコード(集合包装GTIN)」をセットした場合、合わせて「補充勧告数量(入庫荷姿)」もセットする。

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(24) 入庫予定メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	実行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ※2	コード リスト	商材 ※4
SBDH																
1	1	データ整合性	送信者ID					必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元					必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
3	3	データ整合性	受信者ID					必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元					必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン					必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID					必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種					必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時					必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID					任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID					任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報																
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID					必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数					任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<取引先>													
16	55	登場人物： 卸／メーカー	取引先コード					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	センターに入庫を行う（センターと取引を行っている）卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決めに より、卸／メーカーまたはセンターが指定。			
17	56	登場人物： 卸／メーカー	取引先GLN					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合 は「0」を固定。			
18	57	登場人物： 卸／メーカー	取引先名称					任意	文字	Text	MAX20	予定	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	58	登場人物： 卸／メーカー	取引先名称カナ					任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	予定	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
			<入庫／引取区分>													
20	預り在庫23	各種区分	入庫／引取区分					必須	数字	Code	2	予定	このメッセージが入庫か、不良在庫の引取かを表す区分。卸・メーカーがこの項目をセットする。 （区分：01、入庫、02、引取）		○	
			<取引>													
21	預り在庫1	番号		取引番号				必須	数字	Identifier	MAX10	予定	卸・メーカーがセンターに行う入庫の単位。（卸がメーカーに発注する番号と同じ）			
22	125	番号		センター納品書番号				任意	数字	Identifier	MAX10	予定	卸／メーカーがセンターに入庫する際に使用する納品書の番号。			
			<小売>													
23	預り在庫2	登場人物：小売		小売コード				必須	数字	Identifier	MAX13	予定	センター在庫の出荷先を識別するための小売企業を表す独自コード。			
24	預り在庫3	登場人物：小売		小売GLN				必須	数字	Identifier	MAX13	予定	小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
25	預り在庫4	登場人物：小売		小売名称				任意	文字	Text	MAX20	予定	預り在庫2「小売コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
26	預り在庫5	登場人物：小売		小売名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	予定	預り在庫2「小売コード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは 社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
			<センター>													
27	預り在庫6	登場人物：センター		センターコード				必須	数字	Identifier	MAX13	予定	卸／メーカが商品を入庫する（卸／メーカーと取引を行っている）センターを表す独自コード。事前の取決めに より卸／メーカーまたはセンターが指定。			
28	預り在庫7	登場人物：センター		センターGLN				必須	数字	Identifier	MAX13	予定	センターを表すGLN。センター側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
29	預り在庫8	登場人物：センター		センター名称				任意	文字	Text	MAX20	予定	預り在庫6「センターコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
30	預り在庫9	登場人物：センター		センター名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	予定	預り在庫6「センターコード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用する。			
			<入庫経路／商品区分>													
31	預り在庫10	各種区分（物流）		入庫経路				任意	数字	Code	2	予定	センター入庫において、直接の取引関係のないメーカーからの入庫か、卸からの入庫かを指定する区分。 （区分：01、メーカー入庫、02、卸入庫）		○	
32	171	各種区分（商品）		商品区分				任意	数字	Code	2	予定	定番OR特売を表す区分。（区分：01、定番、02、準特価、03、特売（チラシ））		○	
			<メーカー>													
33	預り在庫11	登場人物：メーカー		メーカーコード				任意	数字	Identifier	MAX13	予定	メーカー企業を表す独自コード。メーカーがセンターに直接入庫をおこなう場合にこの項目を使用する。			
34	預り在庫12	登場人物：メーカー		メーカーGLN				任意	数字	Identifier	MAX13	予定	メーカー企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
35	預り在庫13	登場人物：メーカー		メーカー名称				任意	文字	Text	MAX20	予定	預り在庫11「メーカーコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
36	預り在庫14	登場人物：メーカー		メーカー名称カナ				任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	予定	預り在庫11「メーカーコード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、ある いは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
			<メーカー出荷拠点>													
37	59	登場人物：メーカー（物流関連）		枝番				任意	英数	Identifier	MAX2	予定	一つのメーカーコードの中で、取引明細データの括りを分ける場合にメーカーコードの下階層の区分けコード として使用する。事前の当事者間の合意のもとに、メーカー側が設定する。			
38	60	登場人物：メーカー（物流関連）		出荷先コード				任意	英数	Identifier	MAX4	予定	預り在庫11「メーカーコード」＋59「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要が ある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、メーカー側が設 定する。			
39	63	登場人物：メーカー（物流関連）		出荷場所GLN				任意	数字	Identifier	MAX13	予定	メーカーの出荷拠点を表す、メーカー側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター 納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）によりメーカー側が指定。			
			<入庫予定日>													
40	預り在庫15	日付関連		センター入庫予定日				必須	数字	Date	8	予定	預り在庫6「センターコード」または預り在庫7「センターGLN」に対してのみ、入庫予定日または引取予定 日			
41	預り在庫17	番号			取引明細番号			必須	数字	Identifier	MAX4	予定	預り在庫1「取引番号」の中の商品単位の明細番号。			
			<商品>													
42	72	商品関連			商品コード（GTIN）			必須	数字	Identifier	MAX14	予定	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単 位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定。			
43	73	商品関連			商品コード（発注用）			必須	数字	Identifier	MAX14	予定	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
44	74	商品関連			商品コード（取引先）			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14	予定	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。			
45	75	商品関連			商品コード区分			必須	数字	Code	3	予定	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		○	
46	77	商品関連			商品名			任意	文字	Text	MAX25	予定	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。帳票作成 等に使用する。			
47	78	商品関連			商品名カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	予定	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場 合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
			<商品規格>													
48	79	商品関連			規格			任意	文字	Text	MAX25	予定	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
49	80	商品関連			規格カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	予定	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示 に使用する。			
			<入庫予定数量>													
50	預り在庫24	数量			入庫予定数量（バラ）			必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX7	予定	卸・メーカーからセンターに対する1取引番号・商品コード単位の入庫予定数。バラ数量。引取の場合は卸・ メーカーからセンターに対する引取予定数。			
			<賞味期限日別予定数量>													
51	112	日付関連			賞味期限日			任意	数字	Date	8	予定	入庫が予定されている商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限日。			

\*1: XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2: 小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3: 任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4: 新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(24)入庫予定メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ＊2	コード リスト	商材 ＊4
52	預り在庫25	数量				賞味期限日別入庫予定数量		任意 ＊3	数字 （小数点以下 1 桁有り）	Quantity	MAX7	予定	入庫が予定されている商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限別の数量。			
					<入庫予定荷姿情報>											
53	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)		任意	数字	Identifier	MAX16	予定	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。センター側の入庫検品に使用。ITF-14,ITF-16,あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
54	214	数量				I T F 入数（集合包装G T I N入数）		任意	数字	Quantity	MA X 4	予定	この正橋内に商品コードがいくつあるかということ。商品コード（発注用）がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			
55	預り在庫26	数量				入庫予定数量（入庫予定荷姿数）		任意 ＊3	数字	Quantity	MA X 6	予定	1取引明細単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。卸／メーカー側がセット。入庫または引取の予定数。			

預り在庫25(連番52)「賞味期限日別入庫予定数量」は選択必須。112(連番51)「賞味期限日」をセットした場合、合わせて「賞味期限日別入庫予定数量」もセットする。  
預り在庫26(連番55)は「入庫予定数量（入庫予定荷姿数）」選択必須。76(連番53)「ITFコード(集合包装GTIN)」をセットした場合、合わせて「入庫予定数量（入庫予定荷姿数）」もセットする。

＊1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
＊2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
＊3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
＊4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(25) 入庫確定メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ※1	桁数	引継 項目	項目の意味	実行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ※2	コード リスト	商材 ※4
SBDH																
1	1	データ整合性	送信者ID					必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元					必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
3	3	データ整合性	受信者ID					必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元					必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン					必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID					必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い140文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種					必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時					必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID					任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID					任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			
メッセージ情報																
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID					必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数					任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<取引先>													
16	55	登場人物： 卸／メーカー	取引先コード					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	センターに入庫を行う（センターと取引を行っている）卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決めに より、卸／メーカーまたはセンターが指定。			
17	56	登場人物： 卸／メーカー	取引先GLN					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合 は「0」を固定。			
18	57	登場人物： 卸／メーカー	取引先名称					任意	文字	Text	MAX20	予定	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	58	登場人物： 卸／メーカー	取引先名称カナ					任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX20	予定	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。			
			<入庫／引取区分>													
20	預り在庫23	各種区分	入庫／引取区分					必須	数字	Code	2	予定	このメッセージが入庫か、不良在庫の引取かを表す区分。卸・メーカーがこの項目をセットする。 （区分：01、入庫、02、引取）		○	
			<取引>													
				<小売>												
21	預り在庫2	登場人物：小売	小売コード					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	センター在庫の出荷先を識別するための小売企業を表す独自コード。			
22	預り在庫3	登場人物：小売	小売GLN					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
23	預り在庫4	登場人物：小売	小売名称					任意	文字	Text	MAX20	予定	預り在庫2「小売コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
24	預り在庫5	登場人物：小売	小売名称カナ					任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX20	予定	預り在庫2「小売コード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは 社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
			<センター>													
25	預り在庫6	登場人物：センター	センターコード					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	卸／メーカが商品を入庫する（卸／メーカーと取引を行っている）センターを表す独自コード。事前の取決めに より卸／メーカーまたはセンターが指定。			
26	預り在庫7	登場人物：センター	センターGLN					必須	数字	Identifier	MAX13	予定	センターを表すGLN。センター側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
27	預り在庫8	登場人物：センター	センター名称					任意	文字	Text	MAX20	予定	預り在庫6「センターコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
28	預り在庫9	登場人物：センター	センター名称カナ					任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX20	予定	預り在庫6「センターコード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SCMラベル印字に使用す る。			
			<入庫確定日>													
29	預り在庫27	日付関連	センター入庫確定日					必須	数字	Date	8	確定	預り在庫6「センターコード」または預り在庫7「センターGLN」に対する実際の入庫日付または引取日付を セット。			
			<入庫経路／商品区分>													
30	預り在庫10	各種区分（物流）	入庫経路					任意	数字	Code	2	予定	センター入庫において、直接の取引関係のないメーカーからの入庫か、卸からの入庫かを指定する区分。 （区分：01、メーカー入庫、02、卸入庫）		○	
31	171	各種区分（商品）	商品区分					任意	数字	Code	2	予定	定番OR特売を表す区分。（区分：01、定番、02、準特価、03、特売（チラシ））		○	
			<メーカー>													
32	預り在庫11	登場人物：メーカー	メーカーコード					任意	数字	Identifier	MAX13	予定	メーカー企業を表す独自コード。メーカーがセンターに直接入庫をおこなう場合にこの項目を使用する。			
33	預り在庫12	登場人物：メーカー	メーカーGLN					任意	数字	Identifier	MAX13	予定	メーカー企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
34	預り在庫13	登場人物：メーカー	メーカー名称					任意	文字	Text	MAX20	予定	預り在庫11「メーカーコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
35	預り在庫14	登場人物：メーカー	メーカー名称カナ					任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX20	予定	預り在庫11「メーカーコード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、ある いは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
			<メーカー出荷拠点>													
36	59	登場人物：メーカー（物流関連）	枝番					任意	英数	Identifier	MAX2	予定	一つのメーカーコードの中で、取引明細データの括り分けける場合にメーカーコードの下階層の区分けコード として使用する。事前の当事者間の合意のもとに、メーカー側が設定する。			
37	60	登場人物：メーカー（物流関連）	出荷先コード					任意	英数	Identifier	MAX4	予定	預り在庫11「メーカーコード」または「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括り分けける必要が ある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、メーカー側が設 定する。			
38	63	登場人物：メーカー（物流関連）	出荷場所GLN					任意	数字	Identifier	MAX13	予定	メーカーの出荷拠点を表す、メーカー側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター 納品番番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め（契約）によりメーカー側が指定。			
			<取引明細>													
39	預り在庫1	番号			取引番号			必須	数字	Identifier	MAX10	予定	卸・メーカーがセンターに行う入庫の単位。（卸がメーカーに発注する番号と同じ）			
40	125	番号			センター納品番番号			任意	数字	Identifier	MAX10	再セット	卸／メーカーがセンターに入庫する際に使用する納品書の番号。			
41	預り在庫15	日付関連			センター入庫予定日			必須	数字	Date	8	予定	預り在庫6「センターコード」または預り在庫7「センターGLN」に対しての、入庫予定日または引取予定 日。			
42	預り在庫16	日付関連			センター入庫受付期限			任意	英数	Text	MA X8	確定	預り在庫6「センターコード」または預り在庫7「センターGLN」において入庫を交付ける日付あるいは入庫 を受け付ける期間。センターが入庫予定メッセージを保持する期限として設定。			
43	預り在庫17	番号			取引明細番号			必須	数字	Identifier	MAX4	予定	預り在庫1「取引番号」の中の商品単位の明細番号。			
					<商品>											
44	72	商品関連			商品コード（GTIN）			必須	数字	Identifier	MAX14	予定	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単 位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定。			
45	73	商品関連			商品コード（発注用）			必須	数字	Identifier	MAX14	予定	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
46	74	商品関連			商品コード（取引先）			任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX14	予定	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。			
47	75	商品関連			商品コード区分			必須	数字	Code	3	予定	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		○	
48	77	商品関連			商品名			任意	文字	Text	MAX25	予定	73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。帳票作成 等に使用する。			
49	78	商品関連			商品名カナ			任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25	予定	73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場 合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
					<商品規格>											
50	79	商品関連			規格			任意	文字	Text	MAX25	予定	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
51	80	商品関連			規格カナ			任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25	予定	商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示 に使用する。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



(25)入庫確定メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） ＊2	コード リスト	商材 ＊4
					<確定完了区分>											
52	預り在庫28	各種区分（確定完了）			入庫／引取確定完了区分			必須	数字	Code	2	確定	入庫又は引取の確定完了を表す区分。（区分：O1、確定完了、O2、未確定） 入庫／引取確定完了区分で「O1、確定完了」をセットするケースは以下のとおり。 ・入庫受付期限までに入庫予定数量とおりに入庫された場合は、入庫予定数量とおりに入庫された日に「O1、確定完了」をセットする。 ・入庫受付期限までに入庫予定数量とおりに達しなかった場合、入庫受付期限の最終日に「O1、確定完了」をセットする。		○	
					<入庫予定数量>											
53	預り在庫24	数量			入庫予定数量（バラ）			必須	数字 （小数点以下 1桁有り）	Quantity	MAX7	予定	卸・メーカーからセンターに対する1取引番号・商品コード単位の入庫予定数。バラ数量。不良在庫の引取の場合は卸・メーカーからセンターに対する引取予定数。			
54	112	日付関連			<賞味期限日別予定数量>			任意	数字	Date	8	予定	入庫が予定されている商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限日。			
55	預り在庫25	数量				賞味期限日別入庫予定数量		任意＊3	数字 （小数点以下 1桁有り）	Quantity	MAX7	予定	入庫が予定されている商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限別の数量。			
					<入庫予定荷姿情報>											
56	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)		任意	数字	Identifier	MAX16	予定	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。入荷検品に使用。ITF-14,ITF-16あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
57	214	数量				I T F入数（集合包装G T I N入数）		任意	数字	Quantity	MA X4	予定	この正棚内に商品コードがいくつあるかということ。商品コード（発注用）がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			
58	預り在庫26	数量				入庫予定数量（入庫予定荷姿数）		任意＊3	数字	Quantity	MA X6	予定	1取引明細単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。卸／メーカー側がセット。入庫または引取の予定数。			
					<入庫確定数量>											
59	預り在庫29	数量			入庫確定数量（バラ）			必須	数字 （小数点以下 1桁有り）	Quantity	MAX7	確定	卸・メーカーからセンターに対する1取引番号・商品コード単位の入庫数。バラ数量。引取の場合は卸・メーカーからセンターに対する引取数。			
					<賞味期限日別確定数量>											
60	112	日付関連				賞味期限日		任意	数字	Date	8	確定	入庫された商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限日。			
61	預り在庫30	数量				賞味期限日別入庫確定数量		任意＊3	数字 （小数点以下 1桁有り）	Quantity	MAX7	確定	入庫された商品（またはその外箱）に印字されている賞味期限別の数量。			
					<入庫確定荷姿情報>											
62	76	商品関連				ITFコード(集合包装GTIN)		任意	数字	Identifier	MAX16	確定	集合包装に印刷表示するバーコードシンボルのコード。入荷検品後に使用。ITF-14,ITF-16あるいは納品荷姿に応じた集合包装用GTIN。			
63	214	数量				I T F入数（集合包装G T I N入数）		任意	数字	Quantity	MA X4	確定	この正棚内に商品コードがいくつあるかということ。商品コード（発注用）がボールであればケース内ボール数、バラであればケース内バラ数。			
64	預り在庫31	数量				入庫確定数量（入庫確定荷姿数）		任意＊3	数字	Quantity	MA X6	確定	1取引明細単位の商品出荷の出荷荷姿の換算数。センター側がセット。入庫または引取の確定数。			

預り在庫25（連番55）「賞味期限日別入庫予定数量」は選択必須。112（連番54）「賞味期限日」をセットした場合、合わせて「賞味期限日別入庫予定数量」もセットする。（入庫予定メッセージからの引継ぎ項目）  
預り在庫26（連番58）「入庫予定数量（入庫予定荷姿数）」は選択必須。76（連番56）「ITFコード(集合包装GTIN)」をセットした場合、合わせて「入庫予定数量（入庫予定荷姿数）」もセットする。（入庫予定メッセージからの引継ぎ項目）  
預り在庫30（連番61）「賞味期限日別確定予定数量」は選択必須。112（連番60）「賞味期限日」をセットした場合、合わせて「賞味期限日別確定予定数量」もセットする。  
預り在庫31（連番64）「入庫確定数量（入庫確定荷姿数）」は選択必須。76（連番62）「ITFコード(集合包装GTIN)」をセットした場合、合わせて「入庫確定数量（入庫確定荷姿数）」もセットする。

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

#### IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(26)在庫報告メッセージ (預り在庫型センター納品プロセス)

連番	メッセージ項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	項目名 4	項目名 5	必須 任意	タイプ	XM データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
SBDH																
1	1	データ整合性	送信者ID					必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元					必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID					必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元					必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、「CODE」、GLNの場合は「GLN」と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン					必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID					必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種					必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時					必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID					任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用のかを判別する。テストデータの場合、テストのスコープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID					任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスコープを作成する。			
メッセージ情報																
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID					必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に「MSG-」を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位を送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位を送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス					任意	英数	Identifier	8		現行JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位を送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数					任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
16	55	登録人物：卸／メーカー	取引先コード					必須	数字	Identifier	MAX13		センターに入庫を行う（センターと取引を行っている）卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決めに より、卸／メーカーまたはセンターが指定。			
17	56	登録人物：卸／メーカー	取引先GLN					必須	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は 「0」を固定。			
18	57	登録人物：卸／メーカー	取引先名称					任意	文字	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
19	58	登録人物：卸／メーカー	取引先名称カナ					任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
20	預り在庫2	登録人物：小売						必須	数字	Identifier	MAX13		センター在庫の出荷先を識別するための小売企業を表す独自コード。			
21	預り在庫3	登録人物：小売						必須	数字	Identifier	MAX13		小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
22	預り在庫4	登録人物：小売						任意	文字	Text	MAX20		預り在庫2「小売コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
23	預り在庫5	登録人物：小売						任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		預り在庫2「小売コード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは 社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
24	預り在庫6	登録人物：センター						必須	数字	Identifier	MAX13		卸／メーカが商品を入庫する（卸／メーカーと取引を行っている）センターを表す独自コード。事前の取決めに より卸／メーカーまたはセンターが指定。			
25	預り在庫7	登録人物：センター						必須	数字	Identifier	MAX13		センターを表すGLN。センター側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
26	預り在庫8	登録人物：センター						任意	文字	Text	MAX20		預り在庫6「センターコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
27	預り在庫9	登録人物：センター						任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		預り在庫6「センターコード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成、SOMラベル印字に使用する。			
28	預り在庫32	各種区分						必須	数字	Code	2		在庫報告メッセージの日次、月次区分を表す。 (区分：01、日次、02、月次)		○	
29	預り在庫33	日付関連						必須	数字	Date	8		当日の入出庫作業完了後の締日。			
30	預り在庫34	日付関連						任意	数字	Time	6		当日の入出庫作業完了後の締時間。締時間のタイミングはセンター個別に取り決めることとする。			
31	預り在庫11	登録人物：メーカー						任意	数字	Identifier	MAX13		メーカー企業を表す独自コード。			
32	預り在庫12	登録人物：メーカー						任意	数字	Identifier	MAX13		メーカー企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。			
33	預り在庫13	登録人物：メーカー						任意	文字	Text	MAX20		預り在庫11「メーカーコード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
34	預り在庫14	登録人物：メーカー						任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		預り在庫11「メーカーコード」名称（半角カナ）。卸／メーカーで仕入伝票を作成する必要がある場合、ある いは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
35	72	商品関連						必須	数字	Identifier	MAX14		共通商品コード。現状はJAN/EAN/UPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単 位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定。			
36	73	商品関連						必須	数字	Identifier	MAX14		小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。			
37	74	商品関連						任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX14		卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。			
38	75	商品関連						必須	数字	Code	3		73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。		○	
39	77	商品関連						任意	文字	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する商品の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用す る。帳票作成 等に使用する。			
40	78	商品関連						任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		73「商品コード（発注用）」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場 合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。			
41	79	商品関連						任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
42	80	商品関連						任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示 に使用する。			
43	87	商品関連						任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ラ イン、群番 など）			
44	88	商品関連						任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ラ イン、群番 など）			
45	89	商品関連						任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ラ イン、群番 など）			
46	90	商品関連						任意	英数	Identifier	MAX10		小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ラ イン、群番 など）			
47	預り在庫35	各種区分						任意	数字	Code	2		小売での終売、メーカーでの製造中止などによる、商品の出庫止めを表す区分。 (区分：01、通常出庫、02、出庫止め)		○	
48	預り在庫36	数量						必須	数字 (小数点以下 1桁有り)	Quantity	MAX10		■センターにて確認された引当可能な在庫（良品在庫） 出荷予定数を含めない。当日の出荷・入庫等の合計を計算後の当日確定在庫数とする。また、総在庫数から預 り在庫42「不良在庫数量（総計）」と預り在庫52「棚卸差異数量」を引いた『良品在庫数量』を表す。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。

\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。

\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。

\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(26)在庫報告メッセージ (預り在庫型センター納品プロセス)

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3		項目名 4	項目名 5	必須 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (構成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
						<良品在庫内の定番/特売数量>											
49	預り在庫37	数量				定番数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■良品在庫内の定番商品の数量 良品在庫数の中の定番商品の数量を表す。			
50	預り在庫38	数量				特売数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■良品在庫内の特売商品の数量 良品在庫数の中の特売商品の数量を表す。			
						<良品在庫内の最古賞味期限日の数量>											
51	預り在庫39	日付関連				最古賞味期限日			任意	数字	Date	8		■良品在庫内の最古賞味期限日 良品在庫数の中の最古の賞味期限日を表す。			
52	預り在庫40	数量				最古賞味期限日在庫数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■良品在庫内の最古賞味期限日の数量 良品在庫数の中の最古の賞味期限日を有する在庫の数量を表す。			
						<良品在庫内の賞味期限日別良品在庫数量>											
53	112	日付関連					賞味期限日		任意	数字	Date	8		■良品在庫内の賞味期限日 良品在庫数の中の賞味期限日を表す。			
54	預り在庫41	数量					賞味期限日別在庫数量		任意 *3	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■良品在庫内の賞味期限日別の数量 賞味期限日別の良品在庫の数量を表す。			
						<不良在庫>											
55	預り在庫42	数量				不良在庫数量 (総計)			必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■センター内にて確認された不良在庫の総計 在庫日時時点の預り在庫42「不良在庫数量 (総計)」。不良在庫としてモノが存在することを前提とする。 預り在庫42「不良在庫数量 (総計)」＝預り在庫43「引取予定数量 (合計)」＋預り在庫49「汚破損等数量」＋預り在庫50「保留在庫数量」			
						<卸/メーカー責不良在庫数量>											
56	預り在庫43	数量				引取予定数量 (合計)			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■センター内引取品によるベンダー回収用在庫数量 保管中に在庫期限が切れた商品、廃番カット商品、過剰在庫などの不良在庫において、卸が引き取る在庫が発生した合計数量を報告する。卸が引き取るまで、その預り在庫43「引取予定数量 (合計)」は次の日も維持される。			
						<引取予定の内訳>											
57	預り在庫44	数量				出庫期限切れ			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		引取予定の内訳で「出庫期限切れ」数量			
58	預り在庫45	数量				廃番			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		引取予定の内訳で「廃番」数量			
59	預り在庫46	数量				過剰在庫			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		引取予定の内訳で「在庫過剰」数量。			
60	預り在庫47	数量				入庫不良			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		引取予定の内訳で「入庫不良」数量。			
61	預り在庫48	数量				その他			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		上記以外の理由での引取予定数量			
						<センター責不良在庫数量>											
62	預り在庫49	数量				汚破損等数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■センター責の不良在庫数量 汚破損等センター責の在庫が発生した数量を報告する。 センター側と卸側とで協議の上、その在庫が精算されるまで「汚破損数量」は次の日も維持される。			
						<保留在庫数量>											
63	預り在庫50	数量				保留在庫数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■不良在庫を一時的に保留する 不良在庫が発生した場合、不良在庫の処分方法が決まるまでの間、一時的に保留在庫に移行する。保留在庫の内容・清算タイミングは、卸・メーカーとの協議・確認のうえ決定し、在庫清算時までに預り在庫43「引取予定数量 (合計)」が預り在庫49「汚破損等数量」に移行するものとする。			
						<棚卸差異数量>											
64	預り在庫51	数量符号				棚卸差異数量符号			必須	文字	Code	1		棚卸差異数量の正負。(例：帳簿在庫>実棚数量は一、帳簿在庫≤実棚数量は十、)			
65	預り在庫52	数量				棚卸差異数量			必須	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■実棚数量－帳簿在庫＝棚卸差異数量 在庫日時時点での帳簿在庫と実棚数量との差異数。調査・精算が完了するまで、この「棚卸差異数量」として管理を行う。処理方法については、別途契約で取り決めた方法に従う。			
						<在庫トランザクション情報>											
						<入出庫等数量>											
						<当日良品入庫数量>											
66	預り在庫53	数量符号				当日良品入庫数量符号			任意 *3	文字	Code	1		当日良品入庫数量の正負。			
67	預り在庫54	数量				当日良品入庫数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7		■当日卸・メーカーからセンターに補充された数量 「入庫確定メッセージ」にて卸・メーカーに連絡したときの入庫確定数量を示す。			
						<当日良品出庫数量>											
68	預り在庫55	数量符号				当日良品出庫数量符号			任意 *3	文字	Code	1		当日良品出庫数量の正負。			
69	預り在庫56	数量				当日良品出庫数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7		■当日センターから出荷した数量 当日センターから小売に出荷した数量を示す。			
						<良品入庫数量訂正>											
70	預り在庫57	数量符号				良品入庫数量訂正符号			任意 *3	文字	Code	1		良品入庫数量訂正の正負。			
71	預り在庫58	数量				良品入庫数量訂正			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7		■入庫数量の訂正数 前回送信時から、何かの要因で入庫された数量に誤りがあった場合、この項目に訂正数をセットする。			
						<引取数量>											
72	預り在庫59	数量符号				引取数量符号			任意 *3	文字	Code	1		引取数量の正負。			
73	預り在庫60	数量				引取数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX7		■不良在庫として卸・メーカーに引き取ってもらった数量 センター内の卸・メーカー責の不良在庫（不良品、廃番品、過剰在庫、入庫不良など）を卸・メーカーに引き取ってもらった数量を示す。 なお、引取数量は「入庫確定メッセージ」を使って、引取が確定した旨を卸・メーカーに連絡した数量と同じ。			
						<汚破損精算数量>											
74	預り在庫61	数量符号				汚破損精算数量符号			任意 *3	文字	Code	1		汚破損精算数量の正負。			
75	預り在庫62	数量				汚破損精算数量			任意	数字 (小数点以下 1 桁有り)	Quantity	MAX10		■汚破損として卸・メーカーに精算した数量 センター責の不良在庫として、卸・メーカーに精算した数量を示す。			
						<棚卸差異精算数量>											
76	預り在庫63	数量符号				棚卸差異精算数量符号			任意 *3	文字	Code	1		棚卸差異精算数量の正負。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(26)在庫報告メッセージ（預り在庫型センター納品プロセス）

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3		項目名 4	項目名 5	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 （構成要素整理資料から転記） *2	コード リスト	商材 *4
77	預り在庫64	数量				棚卸差異精算数量			任意	数字 （小数点以下 1 桁有り）	Quantity	MAX10		■増卸差異として卸・メーカーに精算した数量 帳簿上の良品在庫の不足分（紛失）として、卸・メーカーに精算した数量を示す。			
					<センター内在庫移動数量>												
78	預り在庫65	コード					在庫移動元コード		任意	数字	Code	2		良品在庫から不良在庫、不良在庫内の移動数量をセットするための移動元コードを表す。 （区分 01.良品在庫数量 02.保留在庫数量 03.引取予定数量 04.汚破損数量 05.引取数量 06.汚破損精算数量）		○	
							<移動先情報>										
79	預り在庫66	コード						在庫移動先コード	任意	数字	Code	2		良品在庫から不良在庫、不良在庫内の移動数量をセットするための移動先コードを表す。 （区分 01.良品在庫数量 02.保留在庫数量 03.引取予定数量 04.汚破損数量 05.引取数量 06.汚破損精算数量）		○	
							<移動数量>										
80	預り在庫67	数量符号					移動数量符号	任意 *3		文字	Code	1		移動数量符号の正負。			
81	預り在庫68	数量					移動数量	任意	数字 （小数点以下 1 桁有り）	Quantity	MAX10			在庫移動先コード、在庫移動元コードに従って、移動先から移動元に移動した在庫数量をセットする。			
					<指標等設定情報>												
82	預り在庫69	指標等設定情報				指標等設定欄			任意	文字	Text	MAX10		在庫管理に関わる指標等を設定する(設定は10項目まで)。			

預り在庫41（連番54）「賞味期限日別在庫数量」は選択必須。112（連番53）「賞味期限日」をセットした場合、合わせて「賞味期限日別在庫数量」もセットする。  
符号付きの数量項目については、該当する数量項目をセットした場合、それに対応する符号項目もセットする。

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。

IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(27) 請求鑑メッセージ

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 (補成要素整理資料から転記) *2	コード リスト	商材 *4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“ GLN”と入力する			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は、“CODE”、GLNの場合は“ GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一書識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクープを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクープを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“ MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手続との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	親続受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手続との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行JCA手続との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数値	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数値	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード、支払法人コード、チェーンストアコード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数値	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
			<発注者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数値	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	社コード、法人コード、チェーンストアコード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数値	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	社名称、法人名称、加盟企業名称		
22	127	番号		請求書番号		任意	数値	Identifier	10		請求者（卸／メーカー）が小売に行う請求の単位。番号付番の体系は当事者間で任意に決定。	請求書番号		
23	338	番号		適格請求書発行事業者登録番号1		任意	英数	Identifier	MAX14		適格請求書の発行が認められた事業者に与えられる登録番号。 店代等の売り手の請求者（卸／メーカー）の事業者登録番号などを格納する。			
24	346	番号		適格請求書発行事業者登録番号2		任意	英数	Identifier	MAX14		適格請求書の発行が認められた事業者に与えられる登録番号。 一つの請求書番号で「適格請求書発行事業者登録番号1」とは異なる売り手（役務の提供等）を含む場合の事業者登録番号などを格納する。			
			<請求取引先>											
25	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数値	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。	取引先コード		
26	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数値	Identifier	MAX13		商品代金の請求支払いを行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。GLNを使用しない場合は「0」固定			
27	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。			
28	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称		
			<請求期間>											
29	114	日付関連		対象期間開始		任意	数値	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間開始日。	買掛締期間（開始日）、対象期間・白		
30	115	日付関連		対象期間終了		必須	数値	Date	8		請求支払いの対象となる仕入の期間終了日。 締め日。	買掛締期間（終了日）、対象期間・至		
			<今回請求金額>											
31	339	金額		今回請求金額符号		必須	文字	Code	1		請求書に表記する請求金額合計の正負。			
32	340	金額		今回請求金額		必須	数値	Amount	MAX11		請求書に表記する請求金額合計。			
			<税情報>											
33	201	税			税区分	必須	数値	Code	2		消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等。 請求鑑メッセージで内税・外税を表す場合は、内税：01 外税：02または05 を使用する。	税区分		
34	202	税			税率	必須	数値 (小数点以下 1桁有り)	Numeric	3		消費税率を表す。	税率		
35	345	税			標準・軽減区分	必須	数値	Code	2		標準税率・軽減税率を判断する区分 01：標準税率、02：軽減税率			
			<鑑金額合計>											
36	341	金額		鑑請求金額符号		必須	文字	Code	1		鑑請求金額の正負。			
37	342	金額		鑑請求金額		必須	数値	Amount	MAX11		請求者（卸／メーカー）が小売に対して行う、請求期間内の商品代金請求合計金額。			
			<鑑消費税額合計>											
38	343	金額		鑑税額合計金額符号		必須	文字	Code	1		請求期間内の消費税額額の正負。			
39	344	金額		鑑税額合計金額		必須	数値	Amount	MAX11		請求期間内の消費税総額			
40	347	コメント		鑑請求内容（備考）		任意	文字	Text	MAX60		税区分、税率、鑑請求金額に対する内容補足するための項目。			

Ⅳ. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(28)値引／値引依頼メッセージ ※返還インボイス対象取引

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 ＊1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 ＊2	コード リスト	商材 ＊4
SBDH														
1	1	データ整合性	送信者ID			必須	文字	string			送信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
2	2	データ整合性	送信者ID発行元			必須	文字	string			送信者IDの種別。送信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
3	3	データ整合性	受信者ID			必須	文字	string			受信者を示すID。取引先と相談のうえ、独自コードあるいはGLNを使って送信者IDを決定し入力する。			
4	4	データ整合性	受信者ID発行元			必須	文字	string			受信者IDの種別。受信者IDが独自コードの場合は“CODE”、GLNの場合は“GLN”と入力する。			
5	5	データ整合性	バージョン			必須	文字	string			ビジネスメッセージのメジャーバージョン。			
6	6	データ整合性	インスタンスID			必須	文字	string			ビジネスメッセージの一意識別。英数字を使い40文字程度のユニークIDを生成し入力する。			
7	7	データ整合性	メッセージ種			必須	文字	string			ビジネスメッセージの種別。メッセージのタイプを示す名称を入力する。			
8	8	データ整合性	作成日時			必須	日時	dateTime			メッセージ全体の作成日・時間			
9	9	データ整合性	テスト区分ID			任意	文字	string			テスト区分。このメッセージのデータが本番用なのかテスト用なのかを判別する。テストデータの場合、テストのスクリーンを作成する。			
10	10	データ整合性	最終送信先ID			任意	文字	string			最終送信先を示すID。最終送信先IDを使用する場合、最終送信先のスクリーンを作成する。			
メッセージ情報														
11	11	データ整合性	メッセージ識別ID			必須	文字	string			メッセージ識別。SBDHのビジネス文書識別のインスタンスIDに入れた値の先頭に“MSG-”を足したものを入力する。			
12	12	データ整合性	送信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行旧JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
13	13	データ整合性	最終受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行旧JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
14	14	データ整合性	直接受信者ステーションアドレス			任意	英数	Identifier	8		現行旧JCA手順との併用期間中、宛先（ステーションアドレス）単位の送受信件数の集計を行う場合に使用する。			
15	15	データ整合性	取引数			任意	数字	Numeric	7		ビジネスメッセージにある取引件数。			
			<支払企業>											
16	21	登場人物：小売	支払法人コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業(会社)を表す独自コード。通常は23「発注者コード」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なる会社コードが入る。	法人コード		
17	22	登場人物：小売	支払法人GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の支払を行う小売企業を表すGLN。通常は24「発注者GLN」と同じ値が入るが、小売側がグループ内に複数事業会社を持ち、仕入会社と支払会社が異なる場合には、それぞれ異なるGLNが入る。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
			<値引対象者>											
18	23	登場人物：小売	発注者コード			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表す独自コード。	法人コード		
19	24	登場人物：小売	発注者GLN			必須	数字	Identifier	MAX13		商品の発注を行う小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」固定。			
20	25	登場人物：小売	発注者名称			任意	文字	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称		
21	26	登場人物：小売	発注者名称カナ			任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		23「発注者コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入帳票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。	法人名称カナ		
			<取引>											
22	121	番号		取引番号（値引）		必須	数字	Identifier	MAX10		取引先側が小売を行う値引の単位。 伝票番号と同じ意味	値引伝票番号		
23	122	番号		取引付属番号		任意	数字	Identifier	MAX10		取引番号のほかに特定の意味を持たせる必要がある場合、1取引番号ごとに取引先側が付番。			
			<計上部署>											
33	35	登場人物：小売		計上部署コード		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表す独自コード 27「直接納品先コード」または31「最終納品先コード」のいずれか。	物流センタコード、店舗コード		
34	36	登場人物：小売		計上部署GLN		任意	数字	Identifier	MAX13	発注	商品が納品されることにより債権・債務関係が発生する場所（小売の物流センター、または店舗）を表すGLN。28「直接納品先GLN」または32「最終納品先GLN」のいずれか。 GLNを使用しない場合は「0」固定			
35	37	登場人物：小売		計上部署名称（カナ）		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	35「計上部署コード」の名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票作成の際に名称表示に使用する。	物流センター名称、店舗名称		
			<請求取引先>											
36	51	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の値引を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。ここにセットされた企業コードに対して請求支払い業務が行われる。通常は55「取引先コード」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先コードを使用し、受注～出荷～納品を行うことがある。	取引先コード、仕入先コード		
37	52	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13		商品代金の値引を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。ここにセットされたGLNに対して請求支払い業務が行われる。通常は56「取引先GLN」と同じ値をセットするが、卸／メーカー側で、1企業で複数の取引先GLNを使用して受注～出荷～納品を行うことがある場合、それらの請求支払いを1つの取引先GLNで行うときに使用する。 GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は0をセットする		
38	53	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名		任意	文字	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
39	54	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		請求取引先名カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20		51「請求取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引先>											
40	55	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先コード		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決め（契約）により小売側が指定。	取引先コード、仕入先コード		
41	56	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先GLN		必須	数字	Identifier	MAX13	発注	受注～出荷～納品を行う卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め（契約）により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定	必須なのでGLN未取得の場合は0をセットする		
42	57	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称		任意	文字	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称、仕入先名称		
43	58	登場人物：卸／メーカー <請求支払関連>		取引先名称カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	発注	55「取引先コード」に対する名称（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。	取引先名称カナ、仕入先名称カナ		
			<取引内容>											
47	87	商品関連		商品分類（大）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	大分類、部門コード（03:青果、04:水産、05:食肉 等）		
48	88	商品関連		商品分類（中）		任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	中分類（301：野菜、302：果実、501：生肉、502：加工肉 等）、仕分分類		
49	106	日付関連		計上日		必須	数字	Date	8		取引先側が値引処理を実施する日			
52	171	各種区分（発注）		商品区分		任意	数字	Code	2	発注	定番(プロパ)発注or特売(中目玉)発注を表す区分。	商品区分、発注形態（01:定番、02:準特価、03:特売（チラシ））	○	
53	336	各種区分（商品）		バック区分		任意	数字	Code	2	発注	食肉の加工センター等に発注する場合のデータ判別を行う区分。01：バック。		○	生鮮
54	334	各種区分（商品）		不定費区分		任意	数字	Code	2	発注	定費・不定費を表す区分		○	生鮮
58	201	税		税区分		任意＊3	数字	Code	2	発注	消費税の区分（込み、抜き、非課税）を表す区分。非課税：切手、ビール券等	00:無指定、01:原価内税、02:原価外税売価内税、03:非課税、04:不課税	○	
59	202	税		税率		任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Numeric	3	発注	消費税率を表す。			
61	231	コメント		自由使用欄		任意	文字	Text	MAX60	値引	伝票に表記する各種付加情報など、相手先に伝達したい項目。別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
62	232	コメント		自由使用欄半角カナ		任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX60	値引	伝票に表記する各種付加情報など、相手先に伝達したい項目。（半角カナ）別項目でメッセージとして使用。そのまま出力するメモでの使用に限定し、この項目でシステムの処理を制御する使い方は不可。			
			<取引合計>											
63	450	金額		値引金額合計		必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（値引）単位の値引金額の合計。1取引明細の132「値引金額」の足し上げ。伝票レス対応のため、確定した数値を入力する。			
65	138	金額		税額合計金額		任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1取引番号（値引）の消費税額の合計。137「税額」の足し上げ			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せて作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。



IV. メッセージ別説明 1. メッセージ別項目一覧

(28)値引／値引依頼メッセージ ※返還インボイス対象取引

連番	メッセージ 項目番号	分類	項目名 1	項目名 2	項目名 3	必須 ／ 任意	タイプ	XML データ型 *1	桁数	引継 項目	項目の意味	現行入力しているデータ項目 *2	コード リスト	商材 *4
				<取引明細>							※インボイス要件として、取引明細（取引内容となる商品特定する）情報は必須！			
68	123	番号			取引明細番号（値引）	必須	英数	Identifier	MAX4		121「取引番号（値引）」の中の商品単位の明細番号。伝票行番号と同じ意味 値引総額を記載する場合「O」固定	伝票行No.、行番号、発注伝票行番号		
70	322	番号			元取引番号	任意	英数	Identifier	MAX10		特定の発注又は出荷に対する値引の場合、該当する元の取引番号			生鮮
71	323	番号			元取引明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4		特定の発注又は出荷に対する値引の場合、該当する場合の元の取引明細番号			生鮮
73	89	商品関連			商品分類（小）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	売場分類		
74	90	商品関連			商品分類（細）	任意	英数	Identifier	MAX10	発注	小売側の商品分類を表す独自コード。コード体系は小売が決定。（DPT、クラス、グループ、カテゴリ、ライン、群番 など）	品揃分類		
75	451	各種区分（決済）			値引理由コード	必須	数字	Identifier	3	値引	値引の理由。自社独自コードを設定可能。			
				<商品>										
76	71	商品関連			メーカーコード	任意	数字	Identifier	MAX13	発注	JANメーカーコード。小売側が、メーカー別納品実績を把握する場合（リポート管理等）に使用。			
77	72	商品関連			商品コード（GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	共通商品コード。現状はJANEANUPCを使用（前ゼロ）。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「O」固定	必須なので未使用の場合は'0'をセットする		
78	73	商品関連			商品コード（発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	発注	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで値引納品される商品が特定される。 値引総額を記載する場合は、あらかじめ取り決めたコードをセットする。			
79	74	商品関連			商品コード（取引先）	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX14	発注	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。アパレル品番など。使用する場合は、卸／メーカーが指定する商品コードを入力する。			
80	301	商品関連			商品コード（出荷元）	任意	数字	Identifier	MAX14	出荷	ソースマーキングされた生産者コード			生鮮
81	75	商品関連			商品コード区分	必須	数字	Code	3	発注	73「商品コード（発注用）」のコード種を判断する際に使用。	005EAN/JAN/UCC13桁、999自社コード 等	○	
82	77	商品関連			商品名	任意	文字	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品（合計金額のみ送付する場合は、セットしたコードの対象となる情報）の名称。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。帳票作成 等に使用する。 値引総額を記載する場合は、あらかじめ取り決めた名称をセットする。			
83	78	商品関連			商品名カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25	発注	73「商品コード（発注用）」に対する商品（合計金額のみ送付する場合は、セットしたコードの対象となる情報）の名称（半角カナ）。卸／メーカーで、仕入伝票を作成する必要がある場合、あるいは社内帳票を作成する際の名称表示に使用。 値引総額を記載する場合は、あらかじめ取り決めた名称（半角カナ）をセットする。			
				<商品規格>										
84	79	商品関連			規格	任意	文字	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。 値引総額を記載する場合は、セット不要とする。			
85	80	商品関連			規格カナ	任意	文字 （半角カナ）	Text	MAX25		商品の規格（内容量、重量 等）をあらわす（半角カナ）。卸／メーカーで社内帳票を作成する際の名称表示に使用する。 値引総額を記載する場合は、セット不要とする。			
86	315	商品関連			入数	任意	数字	Quantity	MAX4		出荷単位の荷姿に入っている数量。入数が可変でありセットできないような場合はセットしない。 2007/10/5 型番変更。 値引総額を記載する場合は、セット不要とする。			生鮮
				<法定管理区分>										
104	337	各種区分（商品）			法定管理義務商材区分	任意	数字	Code	2	出荷	当該商品が、法定管理の必要な項目かどうか、またその種類を表す区分。		○	
				<値引金額>		任意					値引総額をのみ記載する場合は記載不要、商品明細を記載する場合は必須。			
111	452	金額			値引単価	必須	数字 （小数点以下 2桁有り）	Amount	MAX10		1 取引明細の1 商品あたりの値引額			
112	453	金額			値引金額	必須	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引明細の商品の値引金額合計（131「値引額（単品）原単価」×164「値引数量（バラ）」）。小数以下のまめめ方法は当事者間で決定（四捨五入、切捨て、切上げ）			
				<税額>		任意					値引総額をのみ記載する場合は記載不要、商品明細を記載する場合は必須。			
115	137	金額			税額	任意	数字	Amount	MAX10	再計算	1 取引明細の132「値引金額」の消費税額。			
				<値引数量>		任意					値引総額をのみ記載する場合は記載不要、商品明細を記載する場合は必須。			
116	454	数量			値引数量（バラ）	必須	数字 （小数点以下 1 桁有り）	Quantity	MAX7		1 値引明細での73「商品コード（発注用）」の商品バラ数。			
117	313	商品関連			単価登録単位	任意	数字	Code	2	発注	不定貴の場合の単価登録の単位を表す。100g当たり、1Kg当たりなど。		○	生鮮
119	455	重量			値引商品重量	任意	数字 （小数点以下 3桁有り）	Measure	MAX10		不定貴商品の場合に使用する。値引時の確定重量。			生鮮
				<譲渡年月>										
120	348	日付関連			譲渡年月1	任意	数字	Date(年月)	6		売上に係る対価の返還を行う場合の基となった課税資産の譲渡等を行った年月（1）。期間指定開始年月などを格納する。			
121	349	日付関連			譲渡年月2	任意	数字	Date(年月)	6		売上に係る対価の返還を行う場合の基となった課税資産の譲渡等を行った年月（2）。期間指定終了年月などを格納する。			

\*1:XMLデータ型に関するセット方法は「XMLテクニカルガイドライン」第5章2項をご参照ください。  
\*2:小売各社のJCAでの入力項目を名寄せして作成。どのような意味合いの項目がセットされるか、参考のために付けています。  
\*3:任意項目は、使用する時の条件によって、「必須」となります。詳細は、「XMLメッセージシート」及び「XMLテクニカルガイドライン」第5章3項をご参照ください。  
\*4:新規に追加された項目が商材特有の場合、その対象商材が何かを示すものです。